

デジタルタイムラプス
ビデオカセットレコーダー

Panasonic®

TL

AG-DTL1

取扱説明書



保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店よりお受け取りください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

- 本機は、当社タイムラプスビデオとは互換性がありません。
- 本機は、デジタル方式ビデオです。
S-VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は、使用できません。
- 本機は、監視・保安・観察など、高信頼性を要求される商品として設計されています。
録画の信頼性を確保するため、下記のパナソニックビデオテープを使用されることをおすすめします。
S-VHSテープ：ST-120 シリーズ（120分テープ）

目次

安全上のご注意	3	メニューP2	46
特長	9	[DISPLAY] 画面	46
各部の名称と機能	10	[REC LOSS INDICATOR] 画面	46
フロントパネル部	10	メニューP3	47
後面パネル部	15	[RECORDING T-MODE & CAMERA]	
最初に設定してください	16	画面	47
日付と時刻の設定	16	メニューP4	47
時刻の簡易調整	17	[RECORDING MODE] 画面	47
日付と時刻の簡易調整	18	[ALARM/SENSOR REC] 画面	48
記録時間モードとカメラ台数の設定	19	メニューP5	49
記録モードの設定	20	[VTR MODE SELECT] 画面	49
フレーム記録とフィールド記録	22	[AC OUTLET] 画面 (国内仕様)	49
接続	23	メニューP6	50
記録	25	[TAPE REMAIN] 画面	50
再生	26	[REC REVIEW] 画面	50
通常再生	26	[ERROR WARN BUZZER] 画面	51
静止画再生	26	[REC WARNING] 画面	51
画面表示の切り替え	27	メニューP7	52
再生中の画面切り替え	27	[TERMINAL INPUT SELECT] 画面	52
1画面表示と4画面表示の切り替え	27	[TERMINAL OUTPUT SELECT] 画面	52
カメラの切り替え	27	[VIDEO OUT SEQUENCE] 画面	53
便利な機能	28	[EXT SWITCHER] 画面	53
メモリーストップ	28	メニューP8	54
アラーム録画とセンサー (エマージェンシー)		[PROGRAM TIMER] 画面	54
録画	29	[INTERNAL WEEKLY TIMER] 画面	54
アラームメモリーリコールとパワーロスメモリー		メニューP9	55
リコール	31	[FREE SET TIMER] 画面	55
サーチ再生 (早送り再生/巻戻し再生)	32	メニューP10	56
アラームサーチ (アラーム録画部分の検索)	32	[RS-232C PARAMETERS] 画面	56
タイムデートサーチ	33	[USER ID REC] 画面	56
内部タイマー録画	34	RS-232C	57
外部タイマー録画	38	1. ハードウェア仕様	57
ターミナルの接続	40	(1) インターフェイス仕様	57
アラーム録画の接続	40	(2) 通信条件について	58
テープ終端出力の接続	41	2. ソフトウェア仕様	58
オートオフ出力の接続と録画出力の接続	41	(1) 外部インターフェイス仕様	58
外部タイマー入力の接続	41	(2) 送信フォーマット (パソコン → 本機)	58
時刻合わせの接続	42	(3) 受信フォーマット (本機 → パソコン)	59
外部タイマー入力の接続	42	(4) コマンドリスト	60
ターミナルの信号レベル	43	エラーメッセージ	105
設定メニュー	44	ビデオヘッドクリーニング	106
設定方法	44	結露	106
メニューP1	45	お手入れについて	106
[TIME/DATE PRESET] 画面	45	アフターサービス	107
[REC LOCK] 画面	45	定格	108
[HOUR METER] 画面	45		

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について

警告

■コンセントや配線機器の定格を越える使い方や、交流100V以外での使用はしない！



禁止

たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

■電源コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

■コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！



禁止

感電の原因となります。

■不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

■水場に設置しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■付属品・オプションは、指定の製品を使用する！



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

使用方法について

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！



本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。

禁止

■表示された電源電圧以外は、使用しない！



火災・感電のおそれがあります。

禁止

■電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。

■機器が濡れたり、水が入らないようにする！



火災・感電のおそれがあります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

禁止

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



火災・感電のおそれがあります。

禁止

■水場で使用しない！



火災・感電の原因となります。

水場使用禁止

■電源プラグは、根元まで確実に差し込む！



感電の原因になります。

■本機を改造しない！



火災・感電の原因となります。

分解禁止

■本機の裏ぶた・キャビネット・カバーなどを外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

■指定のカバー以外は、外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

異常時の処理 について

警告

■本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

■煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ
を抜く

火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

■電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

お手入れについて

警告

■電源プラグのほこりなどは、定期的にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。







- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

注意

設置について






<p>■電源コードを熱器具に近づけない！</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>■油煙や湯気が当たる場所に置かない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>■本機の通風孔をふさがない！</p> <p> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>次のような使い方は、しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">●本機を風通しの悪い所に押し込む。●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
<p>■湿気やほこりの多い場所に置かない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>■ぬれた手でコネクターを抜き差ししない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	
<p>■プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●必ずプラグを持って抜いてください。		

安全上のご注意

必ずお守りください



使用方法について

⚠ 注意

<p>■本機の上に重い物を置かない！</p> <p> バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>■本機に乗らない！</p> <p> 倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>■カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！</p> <p> けがの原因となります。</p> <p>指に注意</p>
<p>■長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>■移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	

お手入れについて

⚠ 注意

<p>■お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>■1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったら、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。</p>	
---	---	--

特長

16台のカメラに対応するフレームスイッチャー内蔵

- 非同期カメラにも対応します。
- 記録時間モードに合わせて、自動的にカメラを切り替えて記録ができます。
- 記録時には、設定されている記録タイミングとは別に、カメラに切り替えて、モニターテレビで見ることができます。

デジタル高画質記録

S-VHS テープへのデジタル高画質記録が可能です。高性能 A/D、D/A 回路の採用により、カメラを切り替えて記録を行った場合でも、デジタル高画質記録が実現できます。

- 高画質モード：水平解像度 520 本、S/N 50dB
- 標準画質モード：水平解像度 380 本、S/N 50dB

多彩な記録時間モード

- 14種類の記録時間モードが選択できます。

3時間、9時間、12時間、18時間、24時間、48時間、72時間、96時間、120時間、180時間、240時間、360時間、480時間、960時間、

- フレーム記録とフィールド記録の切り替えが可能です。

カメラ選択再生

再生時に、任意のカメラを選んで再生ができます。早送り再生や巻き戻し再生のときも、任意のカメラを選んで再生ができます。

4画面分割再生可能

記録されたカメラ映像の中から4つのカメラ映像を選択し、モニターテレビの映像を4分割して同時に再生することができます。

日時検索機能

記録された日時（月/日/時/分）を指定し、記録データを検索することができます。

アラーム検索機能

アラーム録画された記録データを検索することができます。

高信頼性・高耐久性

- 信頼性・耐久性に優れた IQ メカ搭載
- 2DD リールモータと大口径インピーダンスローラによる安定したテープ走行
- テープローディングごとにヘッドシリンダーをクリーニングする、自動ヘッドクリーニング機能搭載

幅 38cm の省スペース設計、縦置きも可能

設置は左側を下にして、専用の取り付け金具（別売品 STEN-B6730）で固定してください。

- 右側を下にしないでください。故障の原因になる場合があります。

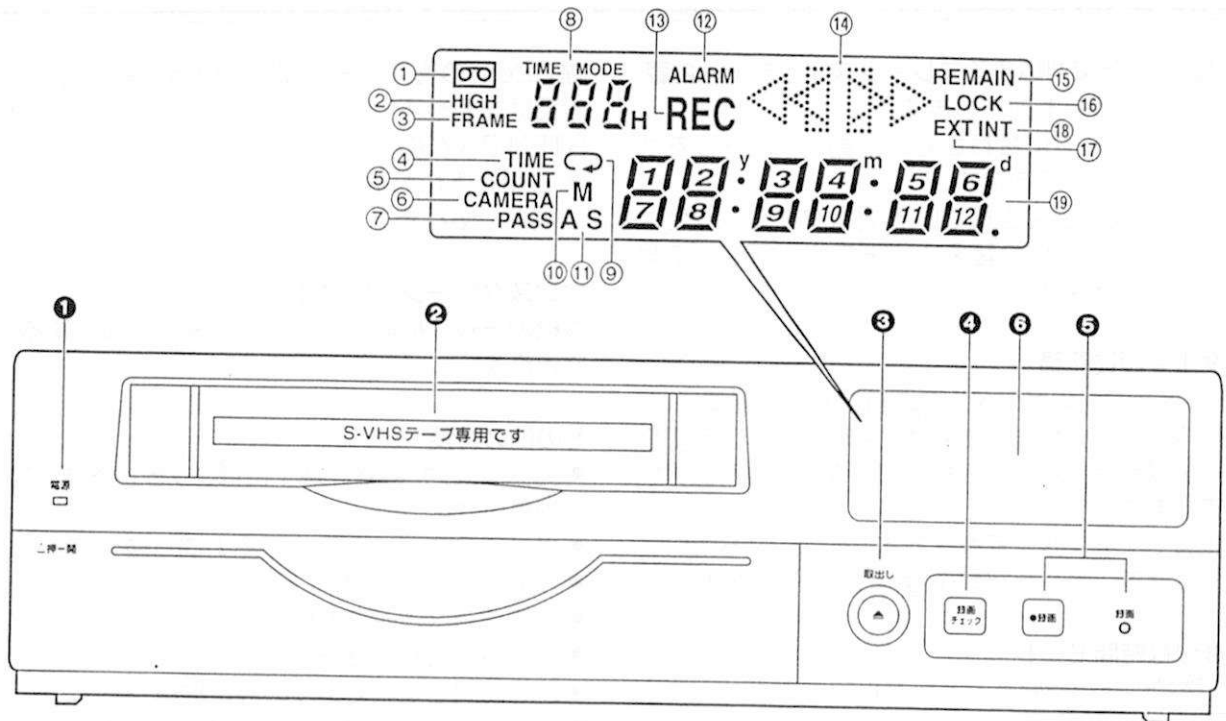
オンスクリーン設定機能

本機の多彩な機能をモニター画面上で設定することができます。

その他の特長

- カメラ入力（16）端子には、75 Ω 終端 ON/OFF 機能付き。
- カメラ 8 入力、8 スルー出力切り替え可能
- RS-232C 制御可能
- 音声記録（3～24 時間モード）
- 簡易時刻合わせ機能
- 記録時間と使用カメラの設定機能
- 豊富な内部タイマー／外部タイマー機能

フロントパネル部



①電源ランプ

電源を入れると点灯します。

②カセット挿入口

カセットテープは、S-VHSテープを使用してください。VHSテープを入れた場合、録画ボタンを押すとカセットテープが自動的に排出されます。また、カセットテープの誤消去防止用の爪が折れている場合も、録画ボタンを押すとカセットテープが排出されます。

本機は、監視・保安・観察など、高信頼性を要求される商品として設計されています。
録画の信頼性を確保するため、下記のパナソニックビデオテープを使用されることをおすすめします。
S-VHSテープ：ST-120シリーズ（120分テープ）

③取出しボタン

カセットテープを取り出すときに押します。
しっかり押さないと動作しません。

④録画チェックボタン

録画中に押すと録画内容を確認できます。
録画チェックボタンを押した寸前の画像を一部再生し、再度録画モードに戻ります。
再生画像が現れるまで、10秒ほどかかります。

⑤録画ボタン／録画ランプ

録画ボタンを押すと、録画を開始します。
録画が開始されると、録画ランプが点灯します。

各部の名称と機能

⑥ 表示管

①

カセットテープが挿入されると、点灯します。
録画チェック後、エラーが検出されると点滅します。

② HIGH

高画質モードで記録されたテープを再生しているときや、高画質モードで録画を行っているときに点灯します。

③ FRAME

フレームモードで記録されたテープを再生しているときや、フレームモードで録画を行っているときに点灯します。

④ TIME

時刻を表示しているときに点灯します。

⑤ COUNT

テープカウンター値を表示しているときに点灯します。

⑥ CAMERA

カメラ番号を表示しているときに点灯します。

⑦ PASS

テープの繰り返し記録回数を表示しているときに点灯します。

⑧ TIME MODE

記録時間モードを表示します。

⑨

リピート録画が設定されているときに点灯します。

⑩ M

メモリーストップモードが設定されているときに点灯します。

⑪ AS (S)

AS：アラーム検索モードが設定されているときに点灯します。

S：時刻検索モードが設定されているときに点灯します。検索中は点滅します。

⑫ ALARM

アラーム録画を行っているときに点灯します。
アラーム録画が終了すると点滅します。

⑬ REC

録画中や記録一時停止のときに点灯します。

⑭ ビデオの動作モード表示

▷：再生

◁：逆再生

REC▷：録画、録画確認

REC◻◻：録画一時停止

◻◻：静止画（フレーム再生しているときは点滅します。）、コマ送り

▷▷：早送り、早送り再生

◁◁：巻戻し、巻戻し再生

⑮ REMAIN

録画中に、テープの終端が近づいたときに点滅します。（テープ残量警告モードを設定時）

⑯ LOCK

ロックスイッチや設定メニューのREC LOCKの項目で、ロックモードが設定されているときに点灯します。

⑰ EXT

外部タイマーモードが設定されているときに点灯します。

⑱ INT

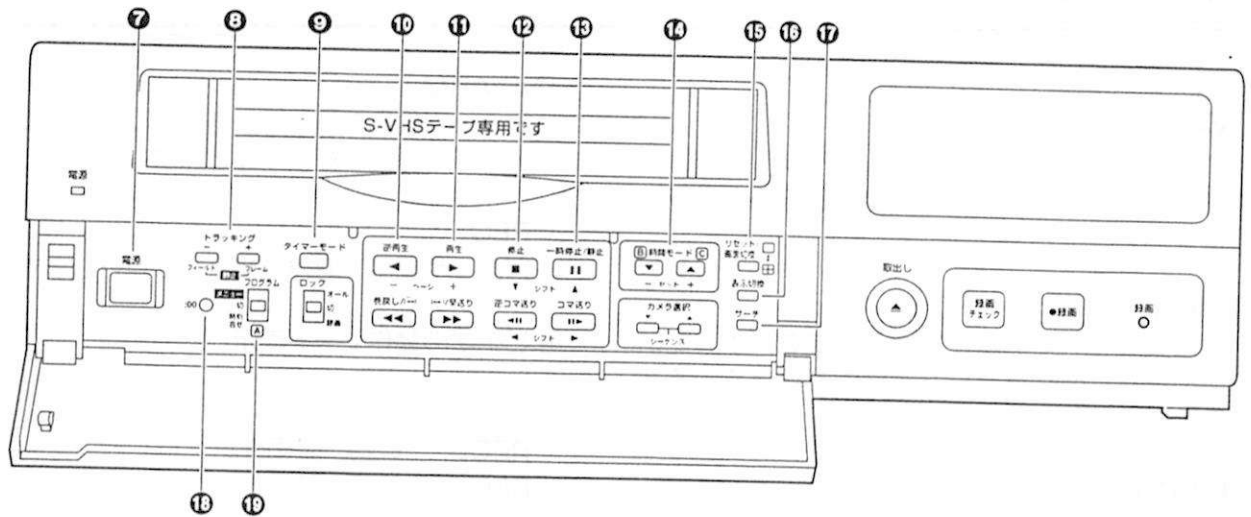
内部タイマーモードが設定されているときに点灯します。

⑲ カウンター表示部

時刻やテープカウンター値を表示します。

エラー発生時には、エラーコードを表示します。
また、カメラ入力端子に接続されたケーブルの抜けやゆるみなどにより、設定されているカメラの台数と接続されているカメラの台数が違っているときは、そのカメラ番号を点滅させて警告します。

フロントパネル部 (サブパネル)



⑦電源スイッチ

本機電源のON/OFFを行います。
電源が入ると、電源ランプが点灯し、ブザーが1回鳴ります。

⑧トラッキングボタン

通常再生中に押すと、トラッキング調整を行います。
静止画再生中に押すと、フィールド静止画モードやフレーム静止画モードになります。
ただし、フィールド記録されたテープの場合、フレーム静止画モードにはなりません。

⑨タイマーモードボタン

タイマーモードを選択します。タイマーモードボタンを押す毎に、モードが切り替わり、表示管に下記のモードランプが点灯します。

無表示：通常録画
EXT：外部タイマー録画
INT：内部タイマー録画

⑩逆再生ボタン

テープを逆方向へ再生するときに押します。
プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、ページ(-)ボタンとして動作し、設定メニュー画面を切り替えます。
プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、日付の表示と時刻の表示を切り替えます。

⑪再生ボタン

テープを正方向へ再生するときに押します。
プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、ページ(+)ボタンとして動作し、設定メニュー画面を切り替えます。
プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、日付の表示と時刻の表示を切り替えます。

⑫停止ボタン

動作モードを停止するときに押します。
プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、シフト(▼)ボタンとして動作し、設定メニュー画面の項目を切り替えます。
プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、画面表示の位置を下方向に移動させます。

各部の名称と機能

⑩ 一時停止/静止ボタン

録画の一時停止や静止画再生に使用します。
一時停止、静止画再生状態は、テープ保護のため、一定時間がすぎると、自動的に停止モードになります。
プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、シフト(▲)ボタンとして動作し、設定メニュー画面の項目を切り替えます。
プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、画面表示の位置を上方向に移動させます。

⑪ 時間モードボタン

記録時間モードを選択します。

- 3H : 3時間記録モード
- 9H : 9時間記録モード
- 12H : 12時間記録モード
- 18H : 18時間記録モード
- 24H : 24時間記録モード
- 48H : 48時間記録モード
- 72H : 72時間記録モード
- 96H : 96時間記録モード
- 120H : 120時間記録モード
- 180H : 180時間記録モード
- 240H : 240時間記録モード
- 360H : 360時間記録モード
- 480H : 480時間記録モード
- 960H : 960時間記録モード

プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、セット(+)(-)ボタンとして動作し、設定メニュー項目の設定値を変更します。

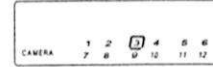
⑫ リセット/画面切換ボタン

表示切換ボタンで、表示管にカウンター値を表示しているときにこのボタンを押すと、CTLカウンターをリセットします。
再生中、表示切換ボタンで、表示管にカメラ番号を表示しているときは、モニター画面への1画面再生と4画面再生をこのボタンで切り替えます。

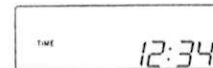
⑬ 表示切換ボタン

表示管の表示モードを切り替えます。
表示切換ボタンを押す毎に、下記のモードが切り替わります。

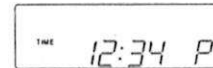
カメラ番号表示 : 現在のカメラ番号を表示します。



時計表示 : 現在の時刻を表示します。

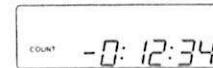


24時間表示

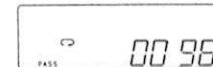


12時間表示

カウンター表示 : テープカウンターを表示します。



パス表示 : リpeat録画が設定されているときに、リpeat録画を行った回数を表示します。



⑭ サーチボタン

検索モードを選択します。
カウンター表示モード時、サーチボタンを押す毎に検索モードが切り替わり、表示管に下記のモードランプが点灯します。

M : メモリストップモード

AS : アラーム検索モード

表示切換ボタンで、表示管に時刻を表示しているときにサーチボタンを押すと、時刻検索モードになり、表示管の「S」が点灯します。

⑮ :00ボタン

押すと時刻の秒の位を「00」にします。
0~29秒の間に押すと、「00」に戻ります。
30~59秒の間に押すと、1分繰り上げて「00」にします。

⑯ プログラムスイッチ

メニュー表示や時刻合わせを行うとき使用します。
通常は、「切」の位置で使用してください。

メニュー :

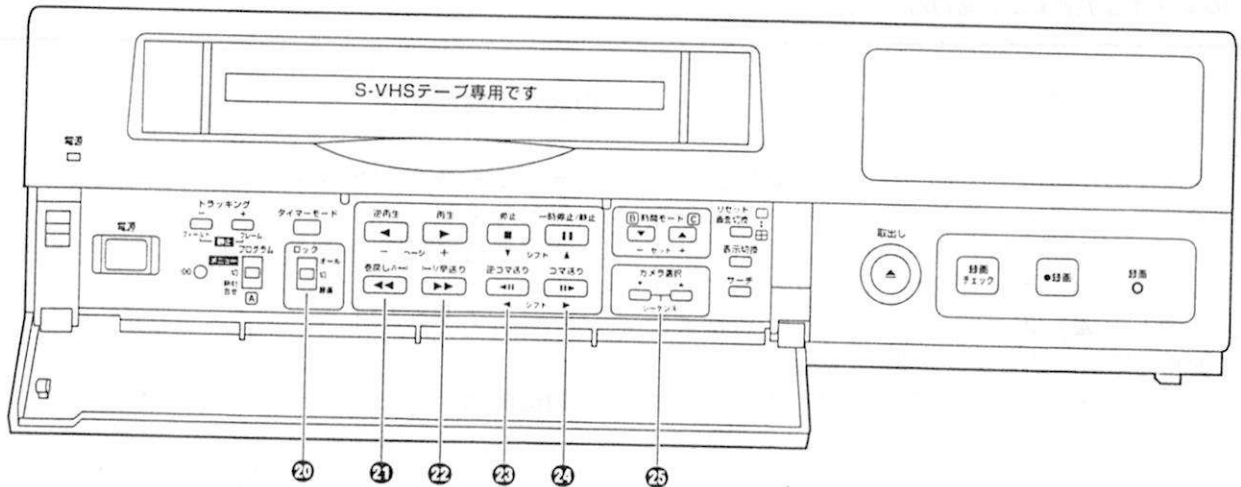
設定メニュー画面を表示します。

停止ボタンを押しながら「メニュー」の位置にすると、アラーム画面やパワーロス画面が表示されます。

時刻合わせ :

時刻を合わせるときや、画面表示の位置を調整するとき「時刻合わせ」の位置にします。

フロントパネル部 (サブパネル)



⑳ ロックスイッチ

ロックモードを設定します。

オール：全ての通常の操作が行えなくなり、表示管のLOCKが点灯します。

切：通常の操作が行えます。

録画：録画開始後、通常の操作が行えなくなり、表示管のLOCKが点灯します。
(録画チェックボタンの操作は、受け付けません。)

㉑ 巻戻し/◀ ボタン

停止中に押すと、テープを巻き戻します。

再生中や静止画再生中に押すと、巻き戻し再生を行います。

㉒ ▶/早送りボタン

停止中に押すと、テープを早送りします。

再生中や静止画再生中に押すと、早送り再生を行います。

㉓ 逆コマ送りボタン

静止画再生中に、テープを逆方向へコマ送りするときに押します。

プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、シフト(◀)ボタンとして動作し、設定メニュー画面の項目を切り替えます。

プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、画面表示の位置を左方向に移動させます。

㉔ コマ送りボタン

静止画再生中に、テープを正方向へコマ送りするときに押します。

プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、シフト(▶)ボタンとして動作し、設定メニュー画面の項目を切り替えます。

プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、画面表示の位置を右方向に移動させます。

㉕ カメラ選択ボタン

再生中：

再生中に押してカメラを選択し、選択したカメラで記録した映像を再生することができます。

再生中以外：

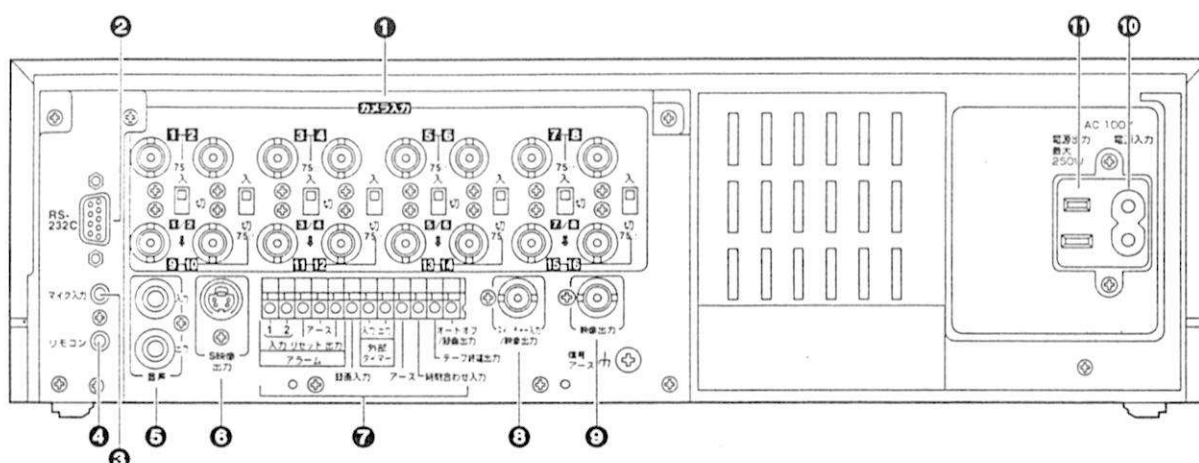
再生中以外に押すと、モニターするカメラを選択できます。

「▼」ボタンと「▲」ボタンを同時に押すと、オートシーケンスモードになります。

オートシーケンスモードのときに押すと、マニュアルシーケンスモードに切り替わります。

各部の名称と機能

後面パネル部



- ① カメラ入力端子 ①～⑬ (BNC)、
75 Ω 終端/ループスルー切り替えスイッチ ①～⑧、
75 Ω 終端スイッチ ⑨～⑬
カメラなどの外部映像入力信号を接続します。(最大 16 入力)

これらの端子を使用する場合は、メニュー画面 P3 [RECORDING T-MODE & CAMERA] の REC TYPE を設定します。

<ノート>

75 Ω 終端/ループスルー切り替えスイッチ ①～⑧ は、3 ポジションで構成されています。

⑨～⑬ は、75 Ω 終端入/切の 2 ポジションで構成されています。

② RS-232C 端子

パーソナルコンピュータなどを接続して、本機を制御する場合に使用します。

③ マイク入力端子 (M3)

マイクからの音声入力信号を接続します。(600 Ω インピーダンス)

④ リモコン端子

別売のリモートコントローラ AG-A11 を接続する端子です。

⑤ 音声入出力端子 (ピンジャック)

音声を入出力する端子です。

マイク入力端子にマイクを接続した場合は、マイク端子の音声が優先的に記録されます。

⑥ S 映像出力端子 (4P)

S 映像入力端子を持った機器と接続する場合に使用します。

⑦ ターミナル部

⑧ スイッチャー入力/映像出力端子 (BNC)

映像出力端子 ⑨ と同じ映像を出力します。

メニュー画面 P7 [EXT SWITCHER] の MODE を EXT SW IN に設定すると、外部スイッチャー用の入りに切り替えることができます。

⑨ 映像出力端子 (BNC)

録画中は、内蔵シーケンシャルスイッチャーによって切り替えられたカメラからの映像を出力します。

再生中は、記録されたテープの再生映像を出力します。

メニュー画面や時刻合わせ画面なども表示されます。

⑩ 電源入力端子

付属の電源コードを接続し、家庭用 AC100V 電源コンセントと接続します。

⑪ 電源出力端子

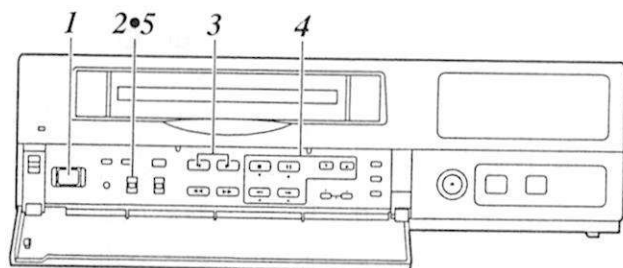
AC100V、最大 250W の電源を供給します。

本機電源との連動を、メニュー画面 P5 [AC OUTLET] の MODE で設定します。

最初に設定してください

本機をご使用になるとき、最初に次の内容を設定してください。

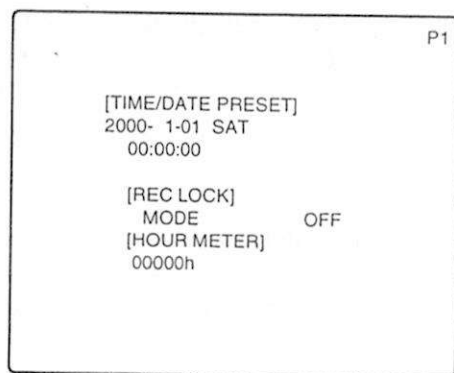
■ 日付と時刻の設定



1 電源スイッチをONにします。

2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されま
す。

3 ページ (+) ボタンまたは、ページ (-) ボタン
を押して、P1 [TIME/DATE PRESET] 画面を
表示させます。
設定できる項目が点滅します。



4 日付と時刻を、下記の操作で合わせます。

- シフトボタン (▼) (▲) で変更する項目に点滅部分を移動させます。
- シフトボタン (◀) (▶) で変更する桁に点滅部分を移動させます。
- セットボタン (+) と (-) を押して数値を合わせます。

5 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。

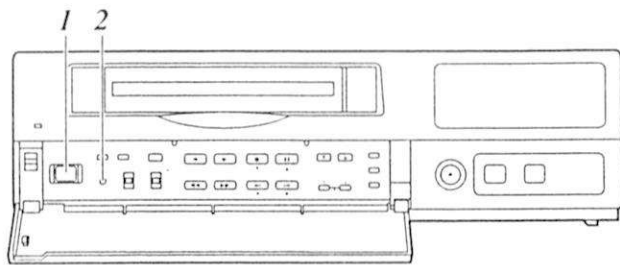
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常
のモードに戻ります。

最初に設定してください。

時刻がズれているときは、下記の方法で調整を行ってください。

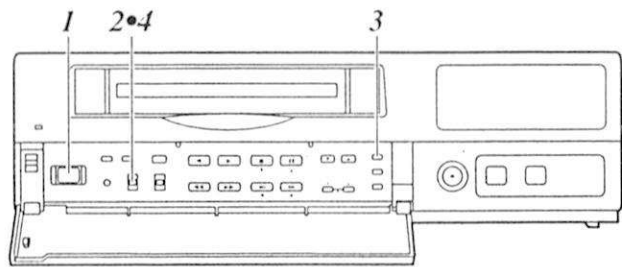
■時刻の簡易調整

時刻のズレが± 30 秒以内のとき



- 1 電源スイッチをONにします。
- 2 時報などに合わせて、00 : ボタンを押すと、時刻の秒の位を「00」にします。
0～29 秒の間に押すと、「00」に戻します。
30～59 秒の間に押すと、1 分繰り上げて「00」にします。

時刻のズレが± 15 分以内のとき

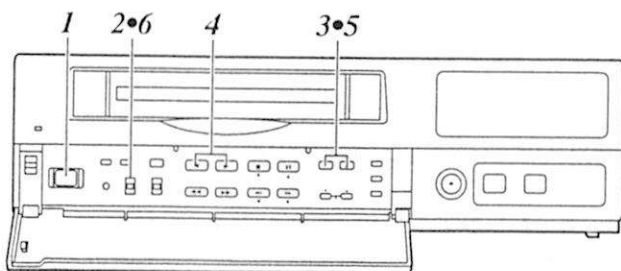


- 1 電源スイッチをONにします。
- 2 プログラムスイッチを「時刻合せ」の位置にします。
カウンター表示が現在の時刻を表示し、「分」の桁が点滅します。
- 3 時報などに合わせて、リセット/画面切換ボタンを押すと、時刻の分と秒の位を「00:00」にします。
0～14 分の間に押すと、「00:00」に戻します。
45～59 分の間に押すと、時の位を繰り上げて「00:00」にします。
- 4 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。

最初に設定してください

日付や時刻がズれているときは、下記の方法で調整を行ってください。

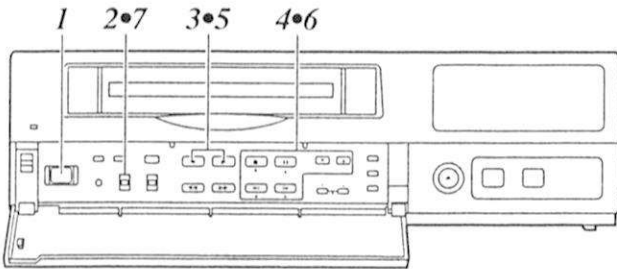
■ 日付と時刻の簡易調整



- 1 電源スイッチをONにします。
- 2 プログラムスイッチを「時刻合せ」の位置にします。
カウンター表示が現在の時刻を表示し、「分」の桁が点滅します。
- 3 セット（+）ボタンまたは、セット（-）ボタンを押して、「分」の数値を合わせます。
- 4 ページ（+）ボタンまたは、ページ（-）ボタンを押します。
現在の日付が表示され、「日」の桁が点滅します。
- 5 セット（+）ボタンまたは、セット（-）ボタンを押して、「日」の数値を合わせます。
- 6 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。

最初に設定してください

■ 記録時間モードとカメラ台数の設定



- 1 電源スイッチをONにします。
- 2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。
- 3 ページ (+) ボタンまたは、ページ (-) ボタンを押して、P3 [RECORDING T-MODE & CAMERA] 画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。

4 記録時間モードとカメラ台数を、下記の操作で合わせます。

- シフトボタン (▼) (▲) (◀) (▶) で変更する項目に点滅部分を移動させます。
- セットボタン (+) と (-) を押して、設定を変更します。

P3 [RECORDING T-MODE & CAMERA] 画面で、使用するカメラ台数と記録時間モードをあらかじめ REC TYPE の RT0 ~ RT7 に設定します。

通常録画やタイマー録画を行うときに、これらの設定を行うことにより、多彩な記録を行うことができます。

<ノート>

- RT0 では、T-MODE (記録時間モード) が OFF に固定されています。
- RT7 では、使用するカメラが C1 の 1 台に固定されています。

OFF に固定されています。

自動的に設定されたカメラ台数が表示されます。

[RECORDING T-MODE & CAMERA]		P3															
REC TYPE	T-MODE NO	(CAMERA SELECT)															
		C1	C3	C5	C7	C9	C11	C13	C15	C2	C4	C6	C8	C10	C12	C14	C16
RT0	OFF*16	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
RT1	3H*08	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
RT2	12H*04	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
RT3	24H*06	Y	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
RT4	240H*10	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
RT5	120H*16	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
RT6	480H*12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N
RT7	480H*01	C1															

Y: YES N: NO

01 C1 に固定されています。

記録時間モードを設定します。

使用するカメラを設定します。
C1-C2、C3-C4、・・・、C15-C16の2台1組で設定します。
使用するカメラを、Y: YES に設定します。
Y: YES に設定しても映像信号が入力されない場合は、ブラックバースト信号 (黒画面) が記録されます。

■記録モードの設定

- 5 ページ (+) ボタンまたは、ページ (-) ボタンを押して、P4 [RECORDING MODE] 画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。

[RECORDING MODE]		P4
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
REC-TYPE	RT0 (OFF・16)	
[ALARM/SENSOR REC]		
MODE	OFF	
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
DURATION	0.5min	
BUZZER	OFF	
REPEAT	OFF	
GROUP ALARM1	RT0 (OFF・16)	
GROUP ALARM2	RT0 (OFF・16)	

- 6 記録モードを、下記の操作で合わせます。
- シフトボタン (▼) (▲) で変更する項目に点滅部分を移動させます。
 - セットボタン (+) と (-) を押して、設定を変更します。
- 7 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

P4 [RECORDING MODE] 画面

- FIELD/FRAME の項目では、フィールド記録とフレーム記録を選択します。
- PICTURE QUALITY の項目では、高画質記録と標準画質記録を選択します。
- REC-TYPE の項目では、P3 [RECORDING T-MODE & CAMERA] 画面で設定した記録時間モードを選択します。
RT0 を選択すると、フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モードで記録します。
RT1 ~ RT7 を選択すると、RT1 ~ RT7 で設定した記録時間モードで記録します。

<ノート>

- REC-TYPE の項目で RT7 を選択した場合、FIELD/FRAME の項目設定に関わらず、強制的にフレーム記録を行います。
- REC-TYPE の項目で RT7 を選択した場合、PICTURE QUALITY の項目で NORMAL を選択して、記録時間モードを 3H にすると、60 フィールド/秒 (家庭用ビデオと同等) の記録を行うことができます。
- REC-TYPE の項目で RT7 以外を選択した場合、記録時間モードを 3H にすると、PICTURE QUALITY の項目設定に関わらず、自動的に高画質での記録を行います。

最初に設定してください

記録時間モードとカメラ台数の関係を下記の表に示します。(S-VHS 120分テープ使用時)
使用目的に応じて、各モードの設定を行ってください。

高画質モード (フィールド記録)

記録時間 モード	1秒間に記録 するフィールド 数	カメラが切り替 わる時間 (秒)	カメラの接続台数と、記録するタイミングが最初のカメラにローテーションし て戻ってくる時間 (秒)							
			2台	4台	6台	8台	10台	12台	14台	16台
3H	30.00	0.033	0.07	0.13	0.20	0.27	0.33	0.40	0.47	0.53
9H	10.00	0.100	0.20	0.40	0.60	0.80	1.00	1.20	1.40	1.60
12H	6.00	0.167	0.33	0.67	1.00	1.33	1.67	2.00	2.33	2.67
18H	4.29	0.233	0.47	0.93	1.40	1.87	2.33	2.80	3.27	3.73
24H	3.33	0.300	0.60	1.20	1.80	2.40	3.00	3.60	4.20	4.80
48H	1.76	0.567	1.13	2.27	3.40	4.53	5.67	6.80	7.93	9.07
72H	1.20	0.833	1.67	3.33	5.00	6.67	8.33	10.00	11.67	13.33
96H	0.91	1.100	2.20	4.40	6.60	8.80	11.00	13.20	15.40	17.60
120H	0.73	1.367	2.73	5.47	8.20	10.93	13.67	16.40	19.13	21.87
180H	0.49	2.033	4.07	8.13	12.20	16.27	20.33	24.40	28.47	32.53
240H	0.37	2.700	5.40	10.80	16.20	21.60	27.00	32.40	37.80	43.20
360H	0.25	4.033	8.07	16.13	24.20	32.27	40.33	48.40	56.47	64.53
480H	0.19	5.367	10.73	21.47	32.20	42.93	53.67	64.40	75.13	85.87
960H	0.09	10.700	21.40	42.80	64.20	85.60	107.00	128.40	149.80	171.20

標準画質モード (フィールド記録)

記録時間 モード	1秒間に記録 するフィールド 数	カメラが切り替 わる時間 (秒)	カメラの接続台数と、記録するタイミングが最初のカメラにローテーションし て戻ってくる時間 (秒)							
			2台	4台	6台	8台	10台	12台	14台	16台
3H	30.00	0.033	0.07	0.13	0.20	0.27	0.33	0.40	0.47	0.53
9H	20.00	0.050	0.10	0.20	0.30	0.40	0.50	0.60	0.70	0.80
12H	12.00	0.083	0.17	0.33	0.50	0.67	0.83	1.00	1.17	1.33
18H	8.57	0.117	0.23	0.47	0.70	0.93	1.17	1.40	1.63	1.87
24H	6.67	0.150	0.30	0.60	0.90	1.20	1.50	1.80	2.10	2.40
48H	3.53	0.283	0.57	1.13	1.70	2.27	2.83	3.40	3.97	4.53
72H	2.40	0.417	0.83	1.67	2.50	3.33	4.17	5.00	5.83	6.67
96H	1.82	0.550	1.10	2.20	3.30	4.40	5.50	6.60	7.70	8.80
120H	1.46	0.683	1.37	2.73	4.10	5.47	6.83	8.20	9.57	10.93
180H	0.98	1.017	2.03	4.07	6.10	8.13	10.17	12.20	14.23	16.27
240H	0.74	1.350	2.70	5.40	8.10	10.80	13.50	16.20	18.90	21.60
360H	0.50	2.017	4.03	8.07	12.10	16.13	20.17	24.20	28.23	32.27
480H	0.37	2.683	5.37	10.73	16.10	21.47	26.83	32.20	37.57	42.93
960H	0.19	5.350	10.70	21.40	32.10	42.80	53.50	64.20	74.90	85.60

<ノート>

- 実際に記録されている時間は、記録モードの数値よりも少し長めに記録されます。
- フレーム記録された場合は、カメラが切り替わる時間が2倍になります。
- 標準画質モードに設定しても、記録時間モードを3Hに設定すると、自動的に高画質モードで記録されます。

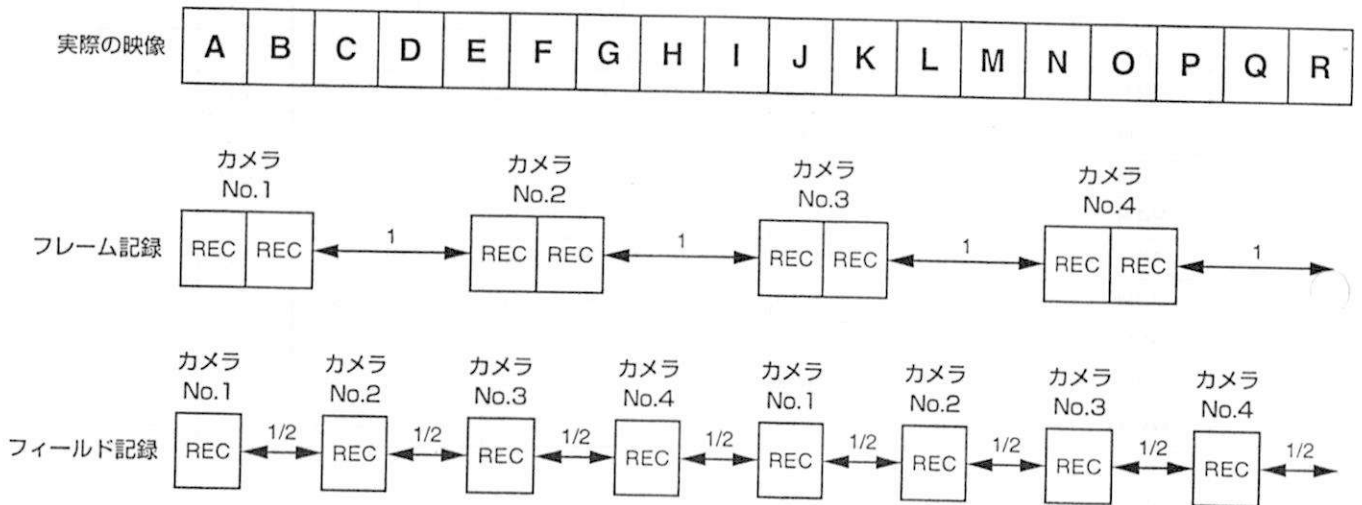
フレーム記録とフィールド記録

フレーム記録の場合は、映像を2フィールド記録して、一定のインターバルをとった後、次のカメラ映像を記録します。

フィールド記録の場合は、映像を1フィールド記録して、フレーム記録の1/2のインターバルで次のカメラ映像を記録します。

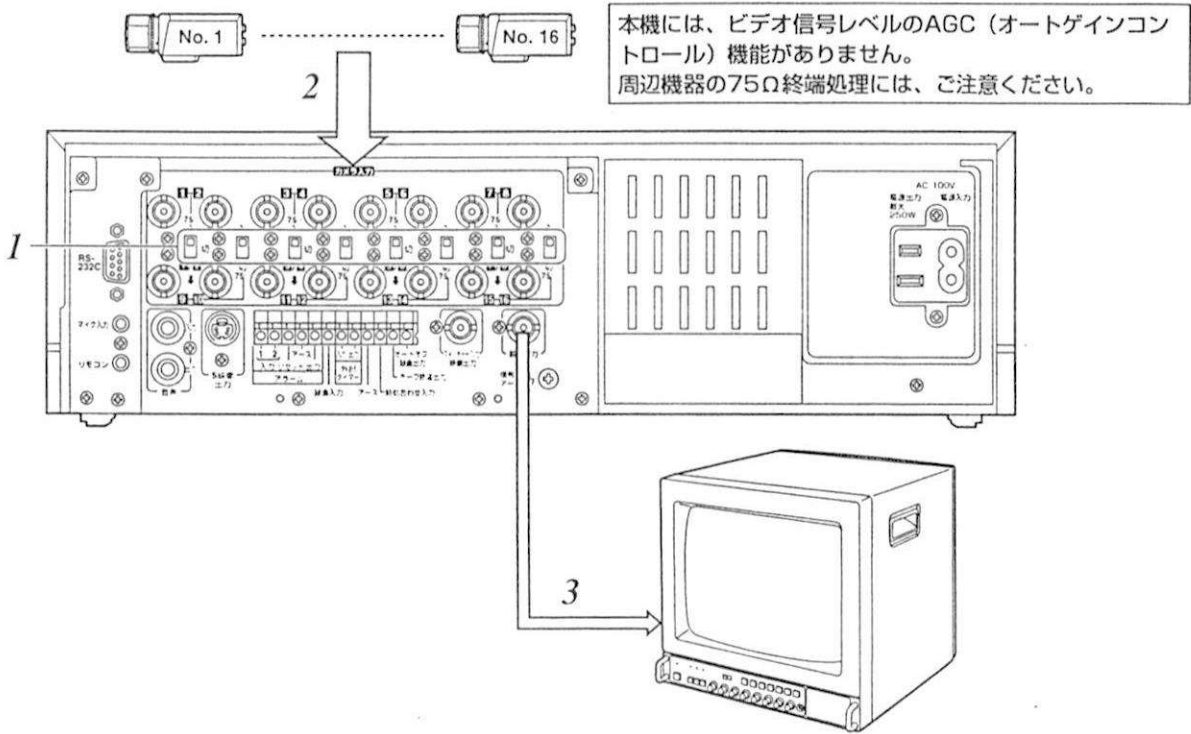
記録映像のつながりが細分化され、フレーム記録の半分の時間でカメラを切り替えることができます。

カメラ1～4の接続例



接続

16台のカメラを切り替えて記録する場合の接続例

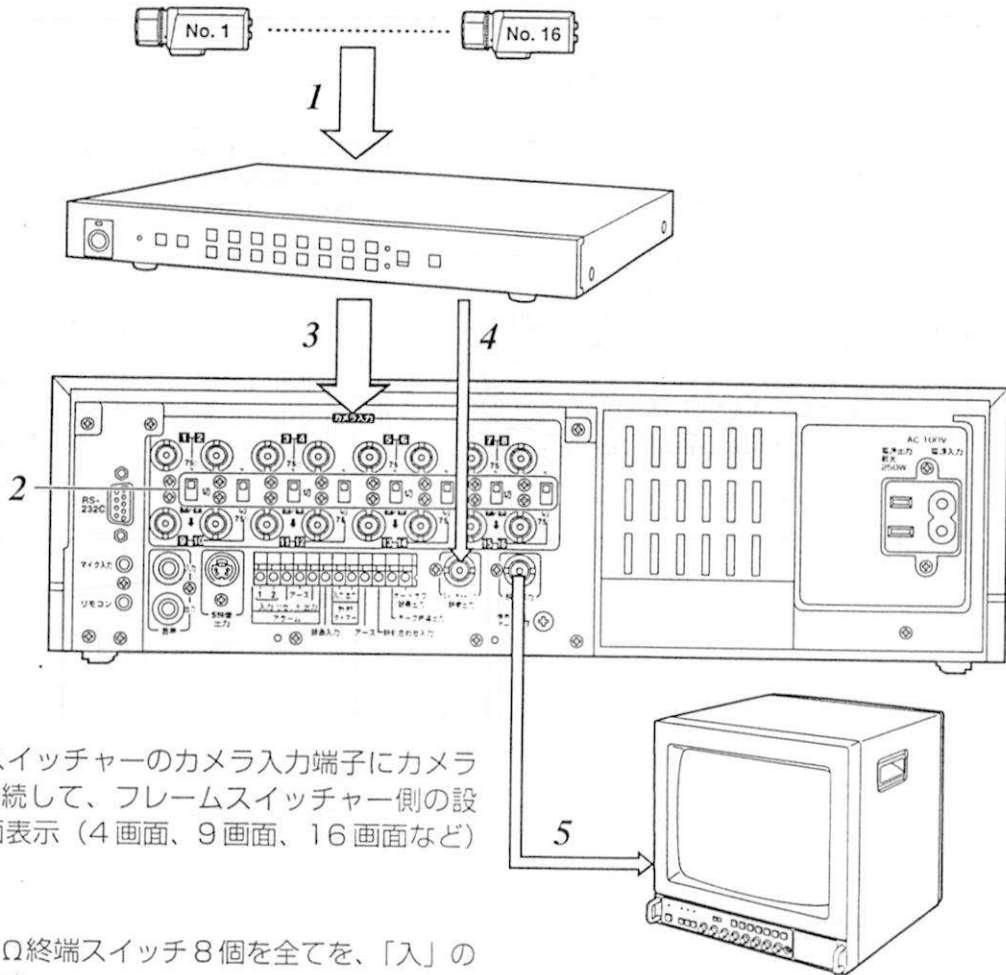


- 1 75Ω終端スイッチ8個を全てを、「入」の位置にします。
- 2 カメラ入力端子 ① ~ ⑯ にカメラ16台を接続します。
- 3 映像出力端子にモニターテレビを接続します。

<ノート>

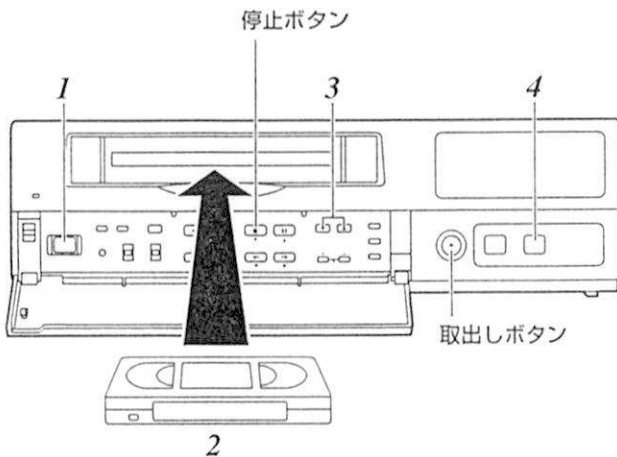
- 本機には、補償回路が内蔵されていません。
カメラとの接続ケーブル (同軸 3C-2V) の長さが200m以上になる場合は、補償機を設置してください。
伝送損失の少ない同軸ケーブル (5C-2V) を使用される場合は、400m程度まで補償機を設置せずに使用可能です。
- 電源同期方式のカメラを接続する場合は、設定メニュー P7 [VIDEO OUT SEQUENCE] 画面の LL CAMERA 項目を ON に設定してください。
モニター映像が、小刻みに震えるような映像になりますが、故障ではありません。

記録中にフレームスイッチャーを使って多画面をモニターテレビに出力する場合



- 1** フレームスイッチャーのカメラ入力端子にカメラ16台を接続して、フレームスイッチャー側の設定を多画面表示（4画面、9画面、16画面など）にします。
- 2** 本機の75Ω終端スイッチ8個を全てを、「入」の位置にします。
- 3** フレームスイッチャーのカメラ出力を、本機のカメラ入力端子①～⑯にカメラ16台を接続します。
- 4** フレームスイッチャーの映像出力を、本機のスイッチャー入力/映像出力端子に接続します。
- 5** 本機の映像出力端子にモニターテレビを接続します。
- 6** 設定メニューP7 [EXT SWITCHER] 画面のMODE項目をEXT SW INに設定します。
再生モード以外のときに、フレームスイッチャーで設定した多画面をモニターテレビで見ることができます。

接続や「日付と時刻の設定 (16 ページ)」、「記録時間モードとカメラ台数の設定 (19 ページ)」が完了すると、記録を行います。



1 電源スイッチを ON にします。
電源が入ると、電源ランプが点灯し、ブザーが 1 回鳴ります。

2 カセットテープを入れます。
カセットテープを取り出すときは、取出しボタンを押します。
しっかり押さないと動作しません。

<ノート>

カセットテープは、S-VHS テープを使用してください。VHS テープを入れた場合、録画ボタンを押すとカセットテープが自動的に排出されます。また、カセットテープの誤消去防止用の爪が折れている場合も、録画ボタンを押すとカセットテープが排出されます。

本機は、監視・保安・観察など、高信頼性を要求される商品として設計されています。
録画の信頼性を確保するため、下記のパナソニックビデオテープを使用されることをおすすめします。
S-VHS テープ：ST-120 シリーズ (120 分テープ)

3 時間モードボタンを押して、記録時間モードを設定します。

4 録画ボタンを押します。
設定された時間モードで、設定されたカメラが自動的に切り替わりながら記録を開始します。
記録が開始されると、録画ランプが点灯します。
記録を終了する場合は、停止ボタンを押します。

使用するカメラの台数が 8 台の場合は、設定メニュー P3 [RECORDING T-MODE & CAMERA] 画面で、RTO カメラ設定 (CAMERA SELECT) の C9 ~ C16 を N:NO に設定します。

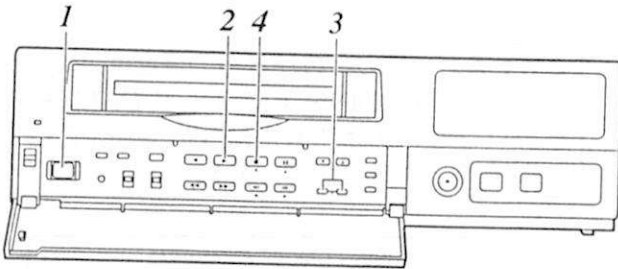
[RECORDING T-MODE & CAMERA]		P3															
REC T-	C	(CAMERA SELECT)															
TYPE	MODE NO	C1	C3	C5	C7	C9	C11	C13	C15	C2	C4	C6	C8	C10	C12	C14	C16
RT0	OFF	8	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N							
RT1	OFF	16	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y							
RT2	OFF	16	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y							
RT3	OFF	16	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y							
RT4	OFF	16	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y							
RT5	OFF	16	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y							
RT6	OFF	16	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y							
RT7	OFF	01	C1														

Y: YES N: NO

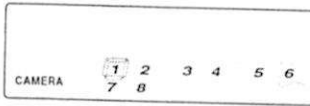
時間モードボタンで記録時間モードを設定せずに、常に固定した記録時間モードで記録を行う場合は、設定メニュー P3 [RECORDING T-MODE & CAMERA] 画面の REC TYPE 項目の RT1 ~ RT7 を設定し、P4 [RECORDING MODE] 画面の REC-TYPE 項目に記録したい REC TYPE (RT1 ~ RT7) を設定します。
1 台のカメラで記録する場合は、RT7 を選択します。
カメラ入力 ① 端子に接続されたカメラの映像を記録することができます。

再生

通常再生



- 1 電源スイッチをONにし、カセットテープを挿入します。
- 2 再生ボタンを押して、再生を開始します。
8台のカメラを使用している場合、表示管のカメラ番号表示に8個のカメラ番号が表示し、再生しているカメラ番号が四角で囲われます。

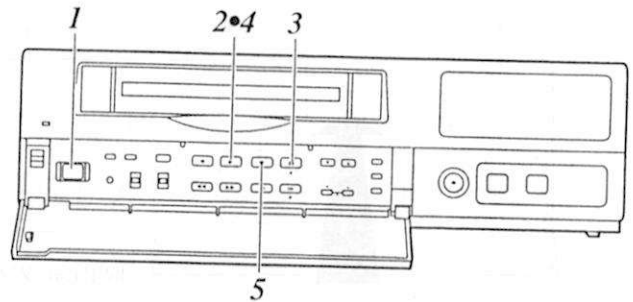


- 3 カメラ選択ボタンを押して、再生するカメラを設定します。
- 4 停止するときには、停止ボタンを押します。

<ノート>

再生中にブロック状の映像ノイズが出た場合は、映像ノイズが無くなるまでトラッキングボタン (+) または (-) を押してください。

静止画再生



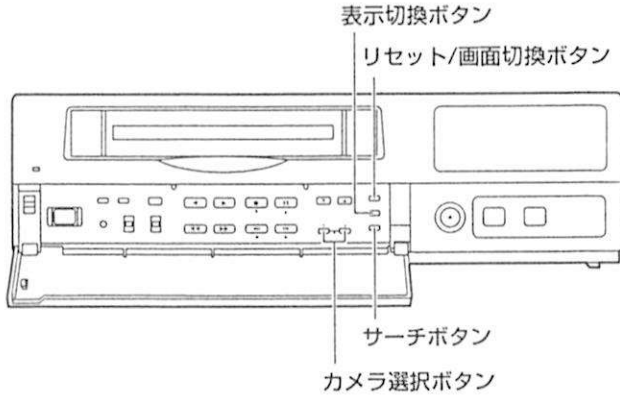
- 1 電源スイッチをONにし、カセットテープを挿入します。
- 2 再生ボタンを押して、再生を開始します。
- 3 一時停止/静止ボタンを押します。
静止画再生状態になります。
(静止画再生状態のときに、コマ送りボタンを押すと、コマ送り再生を行います。)
- 4 再度再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。
- 5 停止するときには、停止ボタンを押します。

<ノート>

No. 13~16のカメラを使ってフレーム記録したテープを静止画再生する場合、静止画再生中にNo. 13~16のカメラに切り替えると、ブルーバック信号が出力されます。

画面表示の切り替え

再生中の画面切り替え



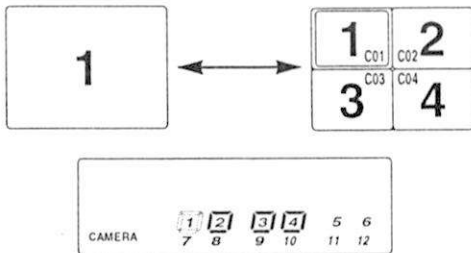
1 画面表示と4画面表示の切り替え

1 再生中、モニターテレビは、1画面の表示になります。



2 表示切換ボタンを押してカメラ番号表示モードにします。

3 リセット/画面切換ボタンを押すと、4画面表示が切り替わります。
リセット/画面切換ボタンを押す毎に、1画面表示と4画面表示が切り替わります。



表示管のカメラ番号表示に、4個のカメラ番号が四角で囲まれ、選択されているカメラ番号の四角が点滅します。また、モニターテレビの中央部分に各カメラの番号 (C01/C02/C03/C04) が表示されます。

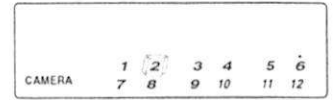
<ノート>

No. 13～16のカメラを使ってフレーム記録したテープを再生する場合、4画面表示に切り替えることはできません。

カメラの切り替え

1 画面表示のとき

再生中にカメラ選択ボタンを押すと、希望するカメラで記録された映像をモニターすることができます。



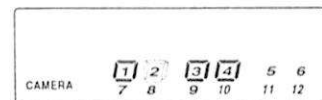
4画面表示のとき

4画面表示のときに、4画面をそれぞれ希望するカメラで記録された映像をモニターする場合

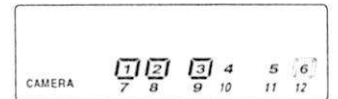
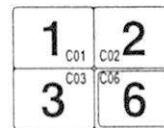
1 サーチボタンを押して、白く縁取られた画面を移動します。



2 カメラ選択ボタンを押してカメラを設定します。



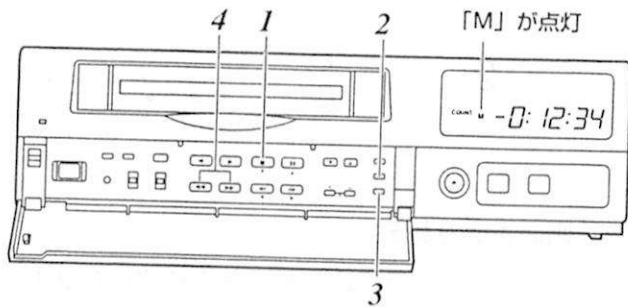
3 他の画面も同様に1・2の操作を繰り返して、カメラを設定します。



便利な機能

メモリーストップ

通常の操作を行っているときに、テープをカウンター値「00:00:00」の位置に巻き戻したり早送りして、自動的に停止状態にする機能です。



- 1 停止ボタンを押して、停止状態にします。
- 2 表示切換ボタンを押して、カウンター表示モードにします。
- 3 サーチボタンを押します。
表示管に「M」が点灯し、メモリーストップモードになったことを確認します。
「AS」が点灯している場合は、再度サーチボタンを押してください。
- 4 カウンター値が「00:00:00」よりも大きい場合は、巻き戻しボタンを押します。
カウンター値が「00:00:00」よりも小さい（マイナスの値）場合は、早送りボタンを押します。
- 5 カウンター値が「00:00:00」の付近になり、自動的に停止状態になります。

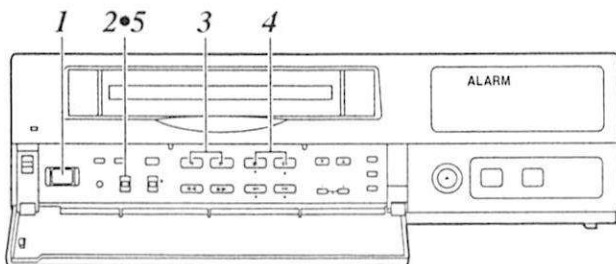
アラーム録画とセンサー（エマージェンシー）録画

アラーム録画

アラーム録画とは、録画時にアラーム入力（アラーム録画の接続、40ページ参照）があると、時間モードや録画するカメラを変えて録画することができます。

センサー（エマージェンシー）録画

センサー（エマージェンシー）録画とは、電源が切れている状態や、本機が停止している状態でもアラーム入力があるとすぐに、時間モードや録画するカメラを変えて録画することができます。



1 電源スイッチをONにし、カセットテープを挿入します。

2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。

3 ページ（+）ボタンまたは、ページ（-）ボタンを押して、P4 [ALARM/SENSOR REC] 画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。

[RECORDING MODE]		P4
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
REC-TYPE	RT0 (OFF・16)	
[ALARM/SENSOR REC]		
MODE	OFF	
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
DURATION	0.5min	
BUZZER	OFF	
REPEAT	OFF	
GROUP ALARM1	RT0 (OFF・16)	
GROUP ALARM2	RT0 (OFF・16)	

4 アラーム入力時の録画モードを、下記の操作で合わせます。

- シフトボタン（▼）（▲）で変更する項目に点滅部分を移動させます。
- セットボタン（+）と（-）を押して、設定を変更します。

<ノート>

- アラーム録画とセンサー録画は、MODEの項目で選択します。
アラーム入力時に録画を行わない場合は、MODEの項目をOFFに設定します。
- 録画間隔（DURATION）の設定は以下のとおりです。
30秒間～10分間、CONTINUE（テープ終端まで）、MANUAL（アラームが入力されている間）

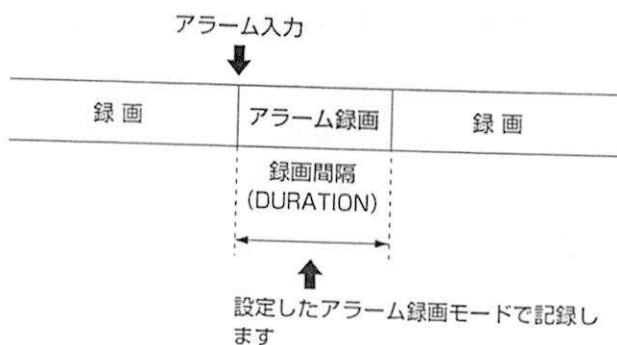
5 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

便利な機能

MODEの項目でALARMを選択した場合

録画ボタンを押して、記録を開始します。
 アラーム入力があると、アラーム録画モードになります。
 一度アラーム録画が行われると、表示管のALARMが点滅します。
 停止ボタンを押すと表示は消灯し、録画が停止します。

- メニュー画面P4 [ALARM/SENSOR REC] のMODEがOFFやSENSORに設定されていると、アラーム録画は動きません。

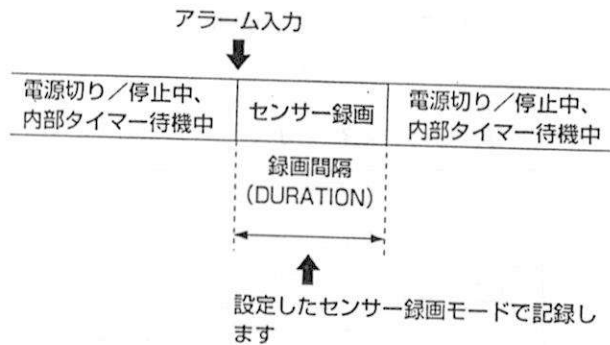


<ノート>
 アラーム録画が終了すると、アラームが入力される前の動作に戻ります。

MODEの項目でSENSORを選択した場合

本機の電源が切れている状態や、停止している状態でもアラーム入力があるとすぐに、センサー録画が開始されます。

- メニュー画面P4 [ALARM/SENSOR REC] のMODEがOFFやALARMに設定されていると、センサー録画は動きません。



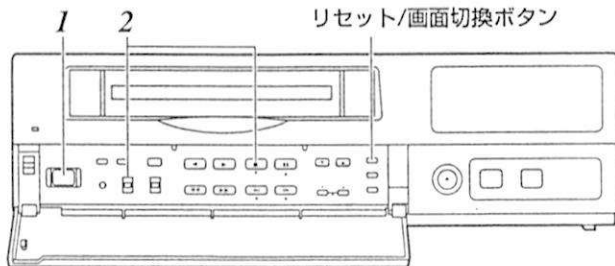
<ノート>
 センサー録画が終了すると、アラームが入力される前の動作モードに戻ります。

MODEの項目でALARM/SENSORを選択した場合

アラーム録画とセンサー録画の両方を行います。
 録画中にアラームが入力されるとアラーム録画モードになり、本機の電源が切れている状態や、停止している状態でもアラーム入力があるとすぐに、センサー録画が開始されます。

アラームメモリーリコールと パワーロスメモリーリコール

アラームメモリーリコールは、アラーム録画やセンサー録画が働いた日時と回数を記憶する機能です。パワーロスメモリーリコールは、停電などにより一次側の電源が遮断された日時と回数を記憶する機能です。



1 電源スイッチをONにします。

2 停止ボタンを押しながら、プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
[ALARM RECALL] 画面と[POWER LOSS MEMORY] 画面が表示されます。

[ALARM RECALL] 画面には、アラーム番号と、アラーム入力のあった日付/時刻を表示します。
[POWER LOSS MEMORY] 画面には、一次側の電源が遮断された回数と日付/時刻を表示します。
(上から順に新しいデータが表示されます。)

[ALARM RECALL]		
29	2000-12-30	3:15
28	2000-12-04	12:10
27	2000-10-25	2:20
26	2000-9-10	2:30
25	2000-8-11	6:55
24	2000-5-10	3:22
23	2000-4-11	6:55
22	2000-3-10	3:22
[POWER LOSS MEMORY]		
14	2000-12-01	12:00
13	2000-10-05	10:30
12	2000-08-10	9:20
11	2000-3-02	7:00

アラーム録画が無かった場合や、一次側の電源が遮断されなかった場合は以下のように表示されます。

[ALARM RECALL]		
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
[POWER LOSS MEMORY]		
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**

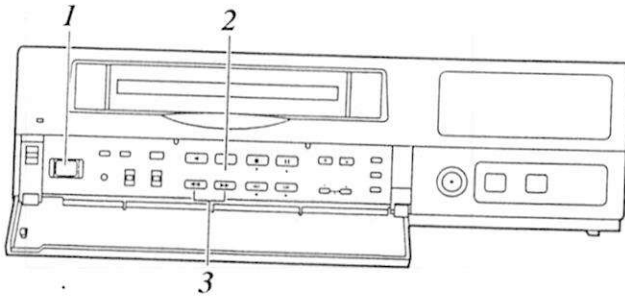
<ノート>

- [ALARM RECALL] 画面では過去8回までのデータを記憶し、[POWER LOSS MEMORY] 画面では過去4回までのデータを記憶します。
- メモリーされる回数は、それぞれ99回までです。99回を越えた場合は、00に戻ります。
- センサー録画もアラーム録画と同様にアラームメモリーデータに記憶されます。
- アラームメモリーデータとパワーロスメモリーデータは、本機内部のメモリー回路に記憶されます。テープ上には記録されません。
- プログラムスイッチを「メニュー」以外の位置に切り替えると、[ALARM RECALL] 画面と[POWER LOSS MEMORY] 画面の表示が消えます。
- [ALARM RECALL] 画面が表示中に、リセット/画面切換ボタンを押すと、メモリーをクリアすることができますが、[POWER LOSS MEMORY] 画面はクリアされません。

[ALARM RECALL]		
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
**	*****-**-**	**:**
[POWER LOSS MEMORY]		
14	2000-12-01	12:00
13	2000-10-05	10:30
12	2000-08-10	9:20
11	2000-3-02	7:00

便利な機能

サーチ再生 (早送り再生 / 巻戻し再生)

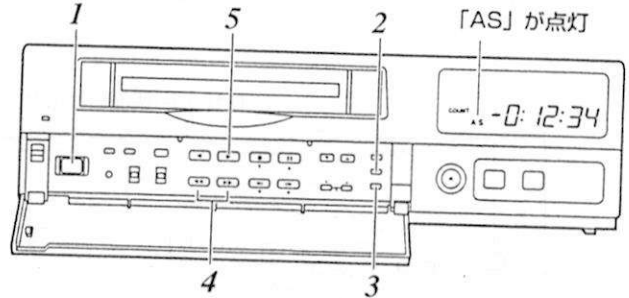


- 1 電源スイッチをONにし、カセットテープを挿入します。
- 2 再生ボタンを押して、再生を開始します。
- 3 早送りボタンまたは、巻戻しボタンを押します。
早送りボタンまたは、巻戻しボタンを押している間、サーチ再生 (早送り再生 / 巻戻し再生) を行います。
早送りボタンまたは、巻戻しボタンを離すと、通常再生に戻ります

<ノート>

- No. 13 ~ 16 のカメラを使ってフレーム記録したテープをサーチ再生する場合、カメラを選択しても、記録されている全てのカメラ映像が混在して出力されます。
- 標準画質モードでフィールド記録されたテープをサーチ再生する場合、かなりぼやけた映像になりますが、故障ではありません。

アラームサーチ (アラーム録画部分の検索)



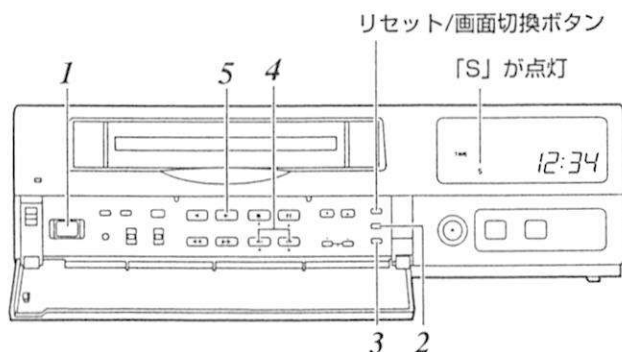
- 1 電源スイッチをONにし、アラーム録画されているカセットテープを挿入します。
- 2 表示切換ボタンを押して、カウンター表示モードにします。
- 3 サーチボタンを押します。
表示管に「AS」が点灯し、アラームサーチモードになったことを確認します。
「M」が点灯している場合は、再度サーチボタンを押してください。
- 4 停止状態や早送り / 巻き戻し状態から、巻戻しボタンまたは、早送りボタンを押します。
押されたボタンの方向で、最初のアラーム録画部分をサーチして、静止画再生になります。
- 5 再生する場合は、再生ボタンを押します。

<ノート>

- アラームサーチモードを解除する場合、再度、サーチボタンを押して、表示管から「AS」表示を消します。
- アラームサーチ機能でサーチできるのは、記録時間モードが3H/9H/12H/18H/24Hモードで30秒間以上録画されたアラーム録画部分だけです。
- 再生中に早送りボタンや巻き戻しボタンを押すと、サーチ再生 (早送り再生 / 巻き戻し再生) を行い、ボタンを離してもアラームサーチモードのときは、サーチ再生を保持します。

タイムデートサーチ

日付と時間を指定して、録画部分を検索する機能です。



1 電源スイッチをONにし、カセットテープを挿入します。

2 表示切換ボタンを押して、時刻表示モードにします。

3 サーチボタンを押します。
表示管に「S」が点灯し、モニターテレビに[TIME DATE SEARCH]画面が表示されます。

[TIME DATE SEARCH]画面には、記録を終了した時刻が表示されます。
また、テープを再生したときは、テープに記録されている日付と時間が表示されます。
この状態で、リセット/画面切換ボタンを押すと、記録を開始した時刻に変わります。



4 検索する日付と時刻を、下記の操作で合わせます。

- シフトボタン (◀) (▶) で変更する項目に点滅部分を移動させます。
- セットボタン (+) と (-) を押して数値を合わせます。

5 再生ボタンまたは、逆再生ボタンを押します。
指定された日付と時間の録画部分を検索します。

<ノート>

- 検索する録画部分が見つからなかった場合は、テープの終端または、始端で停止します。
- 録画中にテープを停止したときは、新しく記録した部分と古い記録部分との境界で停止することになり、テープに記録されている日付や時間情報に連続性が無くなります。

この状態で検索を行うと、正しく検索できないことがあります。

検索する日付や時間が新しく記録した部分にあるときは、逆再生ボタンを押すことをおすすめします。逆再生ボタンを押すことで、テープを逆方向に少し戻して日付と時間のデータを読み込み、このデータを基準に検索を行います。

6 タイムデートサーチモードを解除するときは、何れかの操作ボタンを押してください。

便利な機能

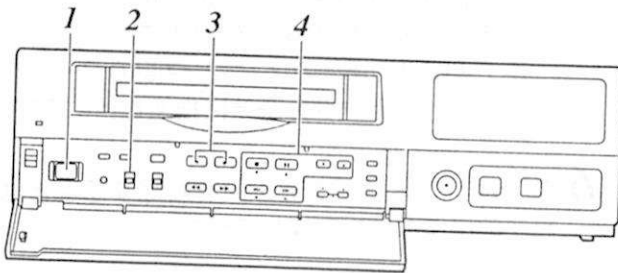
内部タイマー録画

内部タイマーを使用して、任意に設定した時間に、録画の開始・終了を行うことができます。

<ノート>

内部タイマー録画の設定を行う前に、接続や「日付と時刻の設定（16ページ）」、「記録時間モードとカメラ台数の設定（19ページ）」を完了させてください。

内部タイマー録画のプログラムを登録する



- 1 電源スイッチをONにし、カセットテープを挿入します。
- 2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。
- 3 ページ（+）ボタンまたは、ページ（-）ボタンを押して、P8 [PROGRAM TIMER] 画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。

[PROGRAM TIMER]	(TIMER)	START	END	REC-TYPE	P8
PGM1	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)		
PGM2	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)		
PGM3	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)		
PGM4	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)		
PGM5	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)		
PGM6	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)		
PGM7	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)		
PGM8	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)		

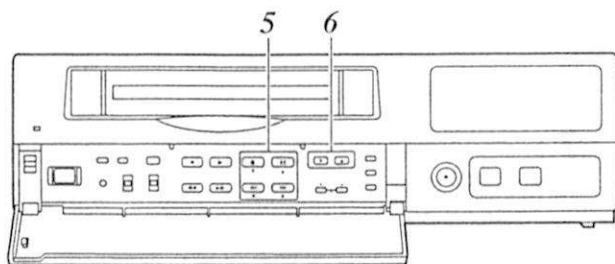
[INTERNAL WEEKLY TIMER]
(SUN MON TUE WED THU FRI SAT DLY)

(TIMER)
内部タイマーを使用して記録する場合のプログラム (PGM1 ~ PGM8) を登録します。
START
記録開始時刻を設定します。
END
記録終了時刻を設定します。
REC-TYPE
記録タイプ (RT0 ~ RT7) を設定します。

- 4 タイマー録画モードを、下記の操作で合わせます。
 - シフトボタン (▼) (▲) (◀) (▶) で変更する項目に点滅部分を移動させます。
 - セットボタン (+) と (-) を押して、設定を変更します。

ウィークリータイマー

各曜日ごとに、プログラムされた時間で記録を行う設定



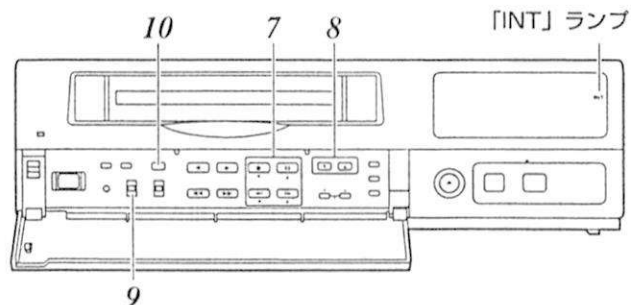
5 シフトボタン (▼) (▲) (◀) (▶) で、[INTERNAL WEEKLY TIMER] 画面の曜日 (SUN～SAT) の項目に点滅部分を移動します。

6 セットボタン (+) と (-) を押して、曜日ごとに [PROGRAM TIMER] 画面で登録したプログラム (PGM1～PGM8) を設定します。

- プログラムは、各曜日ごとに上下2プログラムずつ設定できます。設定しない場合は、***のままにしてください。
- プログラムされた時間帯が、同じ曜日で重なった場合は、上段のプログラムが優先されます。

デイリータイマー

毎日決まった時刻に、プログラムされた時間で記録を行う設定



7 シフトボタン (▼) (▲) (◀) (▶) で、DLYの項目に点滅部分を移動します。

8 ウィークリータイマーと同様に、セットボタン (+) と (-) を押して、[PROGRAM TIMER] 画面で登録したプログラム (PGM1～PGM8) を設定します。

9 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

10 フロントパネルのタイマーモードボタンを押し、内部タイマー録画モード (表示管にINTランプが点灯) にします。

<ノート>

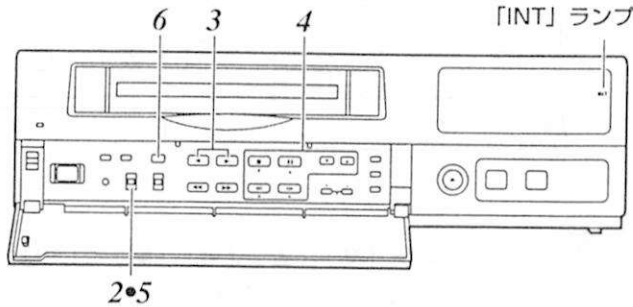
- カセットテープが挿入されていない場合や、カセットテープの誤消去防止用の爪が折れている場合は、ブザーが鳴り、INTランプが点滅します。また、日付と時間の設定やプログラムタイマーが設定されていないときも、ブザーが鳴り、INTランプが点滅します。
- 内部タイマー録画モードを解除する場合は、タイマーモードボタンを押し、表示管のINTランプを消灯させます。

<ノート>

プログラムされた時間帯が、ウィークリータイマーと重なった場合は、ウィークリータイマーが優先されません。

便利な機能

フリーセットタイマー
設定した日付に、プログラムされた時間で記録を行う設定



1 ウィークリータイマーとデイリータイマーの設定を完了します。

2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。

3 ページ (+) ボタンまたは、ページ (-) ボタンを押して、P9 [FREE SET TIMER] 画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。

[FREE SET TIMER] P9			
	MONTH	DAY	SET
1)	** -	**	*****
2)	** -	**	*****
3)	** -	**	*****
4)	** -	**	*****
5)	** -	**	*****
6)	** -	**	*****
7)	** -	**	*****
8)	** -	**	*****
9)	** -	**	*****
10)	** -	**	*****
11)	** -	**	*****
12)	** -	**	*****

MONTH

任意の日付の「月」を設定します。(1～12、**) 登録しない場合は、**を設定します。
MONTH/DAY/SETに「** - ** - *****」が表示されます。

DAY

任意の日付の「日」を設定します。(1～31)

SET

ウィークリータイマーで設定したプログラムを選択します。
SUN～SAT、P_OFF (終日 POWER OFF モード)

<ノート>

フリーセットタイマーに設定できる日付は12日分です。

4 タイマー録画モードを、下記の操作で合わせます。

- シフトボタン (▼) (▲) (◀) (▶) で変更する項目に点滅部分を移動させます。
- セットボタン (+) と (-) を押して、設定を変更します。

5 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

6 フロントパネルのタイマーモードボタンを押し、内部タイマー録画モード (表示管にINTランプが点灯) にします。
フリーセットタイマーが実行されると、フリーセットタイマー番号の右に「*」が表示されます。

<ノート>

- カセットテープが挿入されていない場合や、カセットテープの誤消去防止用の爪が折れている場合は、ブザーが鳴り、INTランプが点滅します。
- 内部タイマー録画モードを解除する場合は、タイマーモードボタンを押し、表示管のINTランプを消灯させます。

[FREE SET TIMER] P9			
	MONTH	DAY	SET
1) *	5 -	3	SUN
1) *	5 -	4	SUN
1) *	5 -	5	SUN
4)	** -	**	*****
5)	** -	**	*****
6)	** -	**	*****
7)	** -	**	*****
8)	** -	**	*****
9)	** -	**	*****
10)	** -	**	*****
11)	** -	**	*****
12)	** -	**	*****

<ノート>

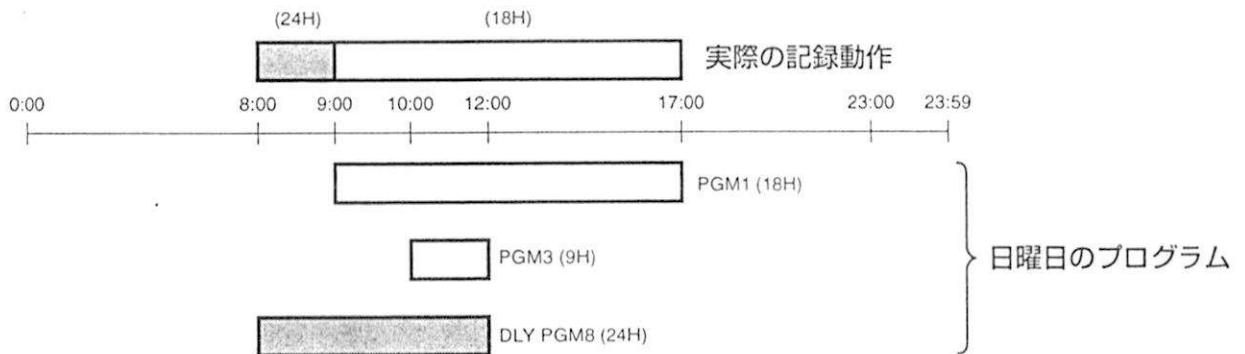
プログラムされた時間帯が、ウィークリータイマーと重なった場合は、フリーセットタイマーが優先されません。

内部タイマー録画のプログラム例

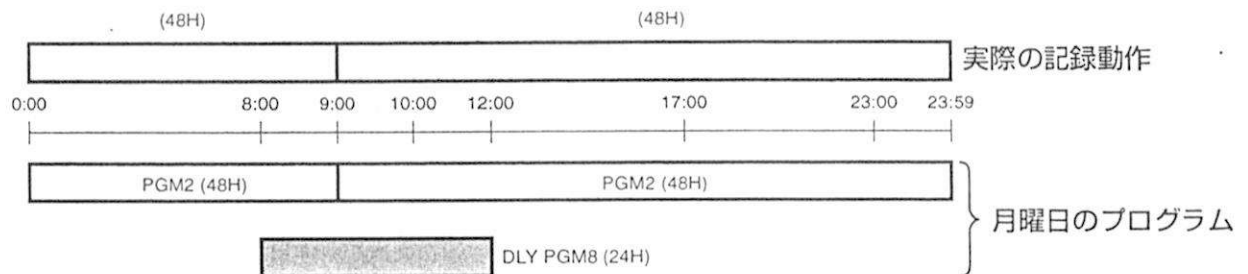
[PROGRAM TIMER]				P8
(TIMER)	START	END	REC-TYPE	
PGM1	9:00	17:00	RT1 (18H+04)	
PGM2	9:00	9:00	RT3 (48H+02)	
PGM3	10:00	12:00	RT2 (9H+06)	
PGM4	0:00	0:00	RT0 (OFF+16)	
PGM5	23:00	6:00	RT4 (72H+04)	
PGM6	10:00	11:00	RT0 (OFF+16)	
PGM7	5:00	6:00	RT7 (120H+01)	
PGM8	8:00	12:00	RT6 (24H+16)	

[INTERNAL WEEKLY TIMER]							
(SUN)	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	DLY
PGM1	PGM2	***	PGM1	PGM6	PGM5	***	PGM8
PGM3	***	***	***	***	***	***	PGM7

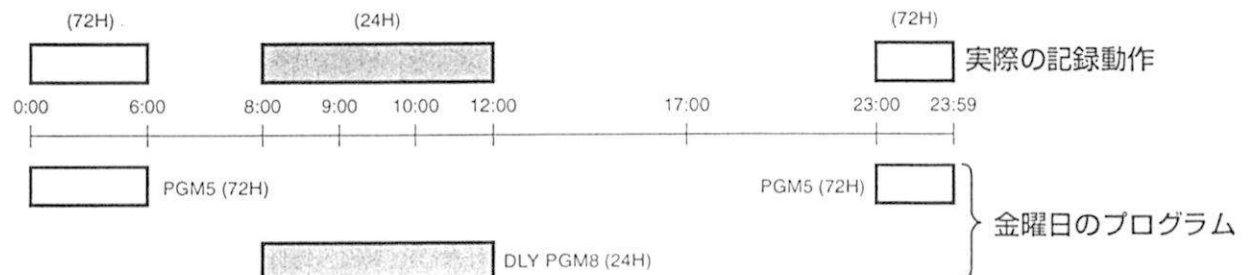
■ 日曜日の記録



■ 月曜日の記録



■ 金曜日の記録



便利な機能

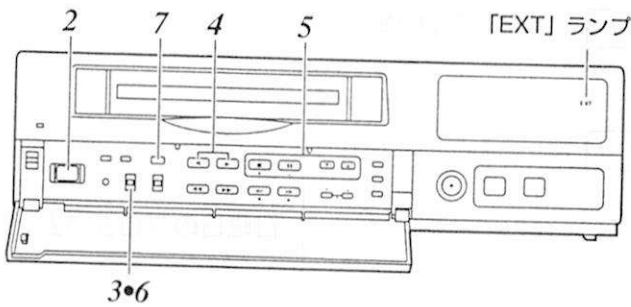
外部タイマー録画

外部タイマーを使用して、任意に設定した時間に、録画の開始・終了を行うことができます。

<ノート>

外部タイマー録画の設定を行う前に、接続や「日付と時刻の設定 (16 ページ)」、「記録時間モードとカメラ台数の設定 (19 ページ)」を完了させてください。

本機の電源コードに接続した外部タイマーを使用する場合 (一次側電源での制御)



- 1 本機の電源コードに外部タイマーを接続し、通電状態にします。
- 2 電源スイッチを ON にし、カセットテープを挿入します。
- 3 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。
- 4 ページ (+) ボタンまたは、ページ (-) ボタンを押して、P7 [TERMINAL INPUT SELECT] 画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。

[TERMINAL INPUT SELECT]		P7
EXT TIMER IN	OFF	
TIME ADJUST IN	9:00	
[TERMINAL OUTPUT SELECT]		
ALARM/SENSOR OUT	CONTINUE	
ERROR WARN/REC OUT	WARNING	
EXT TIMER OUT	START 0:00	
	END 0:00	
[VIDEO OUT SEQUENCE]		
SW INTERVAL	2s	
BYPASS CAMERA	OFF	
BLACK MATTE	OFF	
LL CAMERA	OFF	
[EXT SWITCHER]		
MODE	VIDEO OUT	

5 シフトボタン (▼) (▲) で、EXT TIMER IN の項目に点滅部分を移動し、セットボタン (+) と (-) を押して OFF に設定します。

6 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

7 フロントパネルのタイマーモードボタンを押し、外部タイマー録画モード (表示管に EXT ランプが点灯) にします。

<ノート>

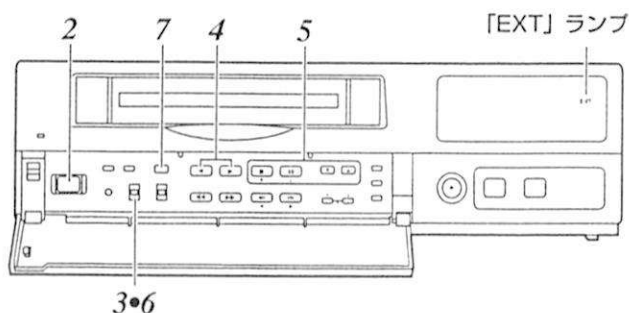
- カセットテープが挿入されていない場合や、カセットテープの誤消去防止用の爪が折れている場合は、ブザーが鳴り、EXT ランプが点滅しません。
- 外部タイマー録画モードを解除する場合は、タイマーモードボタンを押し、表示管の EXT ランプを消灯させます。

8 外部タイマーの設定を行います。
外部タイマーの動作により本機が通電状態になると、自動的に録画を開始します。

<ノート>

外部タイマー録画モードで通電されていない状態のときにアラームが入力されても、センサー録画は行われません。

本機の後面ターミナル部に接続した外部タイマーを使用する場合（外部タイマー入力端子での制御）



- 1 本機の後面ターミナル部に外部タイマーを接続し、通電状態にします。
- 2 電源スイッチをONにし、カセットテープを挿入します。
- 3 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。
- 4 ページ（+）ボタンまたは、ページ（-）ボタンを押して、P7 [TERMINAL INPUT SELECT] 画面を表示させます。設定できる項目が点滅します。

[TERMINAL INPUT SELECT]	P7
EXT TIMER IN	OFF
TIME ADJUST IN	9:00
[TERMINAL OUTPUT SELECT]	
ALARM/SENSOR OUT	CONTINUE
ERROR WARN/REC OUT	WARNING
EXT TIMER OUT	START 0:00
	END 0:00
[VIDEO OUT SEQUENCE]	
SW INTERVAL	2s
BYPASS CAMERA	OFF
BLACK MATTE	OFF
LL CAMERA	OFF
[EXT SWITCHER]	
MODE	VIDEO OUT

- 5 シフトボタン（▼）（▲）で、EXT TIMER INの項目に点滅部分を移動し、セットボタン（+）と（-）を押してONに設定します。
- 6 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

- 7 フロントパネルのタイマーモードボタンを押し、外部タイマー録画モード（表示管にEXTランプが点灯）にします。自動的に電源OFF状態になり、外部タイマーからの制御信号を待ちます。

<ノート>

- カセットテープが挿入されていない場合や、カセットテープの誤消去防止用の爪が折れている場合は、ブザーが鳴り、EXTランプが点滅しません。
- 外部タイマー録画モードを解除する場合は、タイマーモードボタンを押し、表示管のEXTランプを消灯させます。

- 8 外部タイマーの設定を行います。外部タイマーからの制御により本機が通電状態になると、自動的に録画を開始します。

ターミナルの接続

ターミナル部へ接続するコードは、下記のように先端部分をしっかりとよじっておいてください。

しっかりよじるか、ハンダ付けをする



単線：φ 0.4～φ 1.2
 より線：0.3 mm～1.25 mm
 (素線の径はφ 0.18 以上のこと)

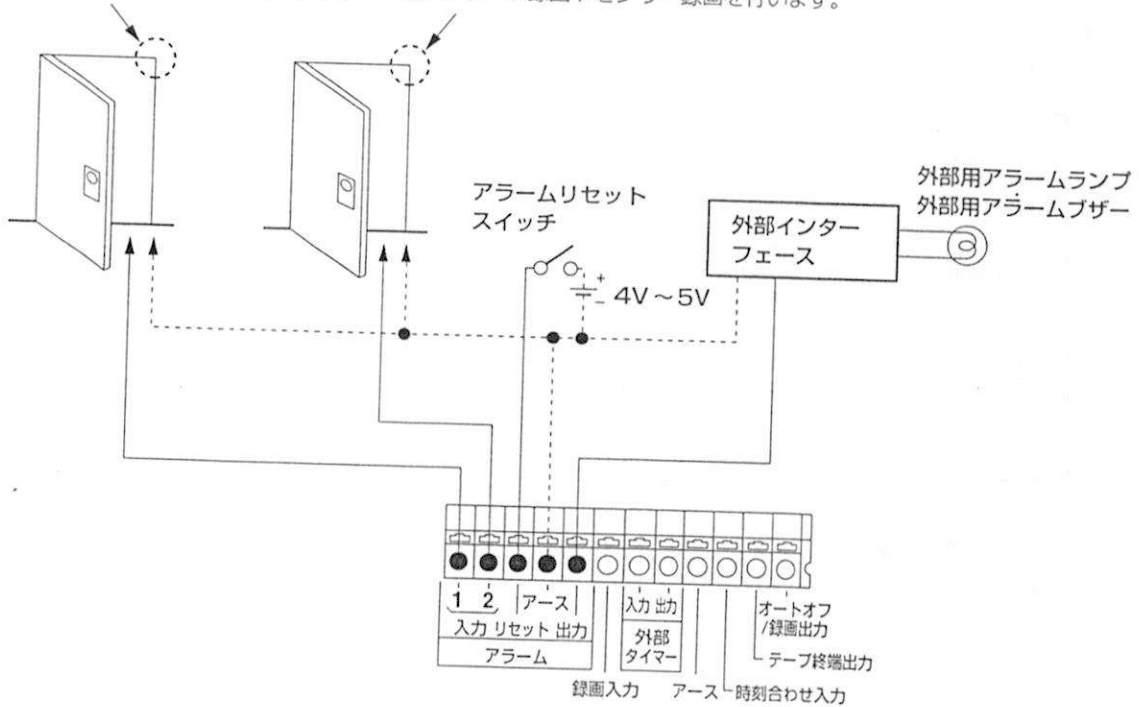
コードを抜き差しするときは、この部分をマイナスドライバーなどで押す

- 先がしっかりよじれていないと、ショートの原因になります。

アラーム録画の接続

アラームスイッチ 1
 アラーム入力 1 にアラームが入力された場合に、アラーム録画やセンサー録画を行います。

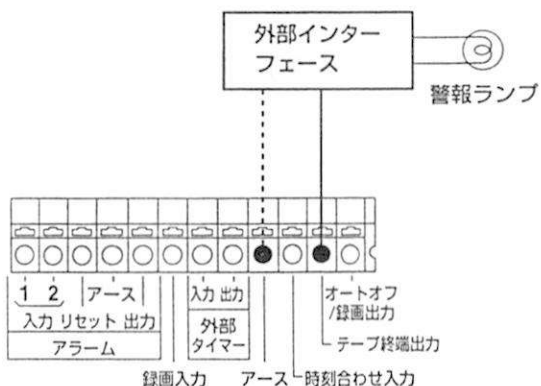
アラームスイッチ 2
 アラーム入力 2 にアラームが入力された場合に、アラーム録画やセンサー録画を行います。



- メニュー画面 P4 [ALARM/SENSOR REC] の MODE でアラーム録画の設定がされている場合、アラームスイッチが入になると、アラーム録画が開始されます。
- アラームリセットスイッチが「入」になると、アラーム録画が解除されます。

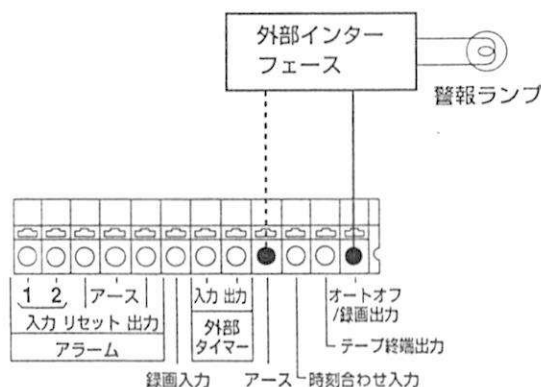
ターミナルの接続

テープ終端出力の接続



録画中に、カセットテープが終端になると、外部に設けた警報装置を作動させます。

オートオフ出力の接続と録画出力の接続



オートオフ出力と録画出力は、同じ接続です。
メニュー画面 P7 [TERMINAL OUTPUT SELECT] の ERROR WARN/REC OUT で切り替えます。

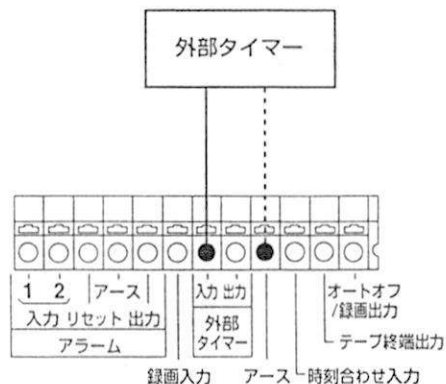
オートオフ出力

本機に異常が生じたとき、外部に設けた警報装置を作動させます。
この場合、ディスプレイにエラーコードが表示されません。(106 ページ参照)

録画出力

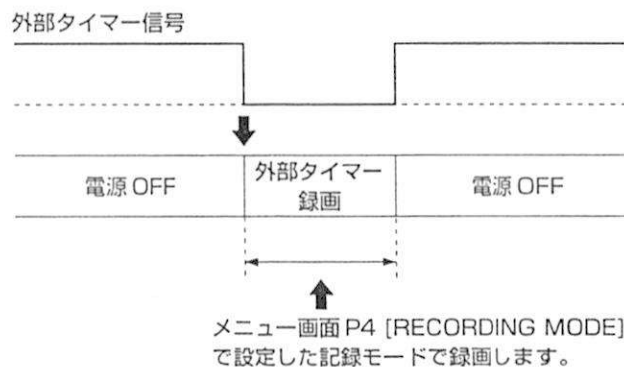
本機が、録画状態になると、外部に設けた警報装置を作動させます。

外部タイマー入力の接続



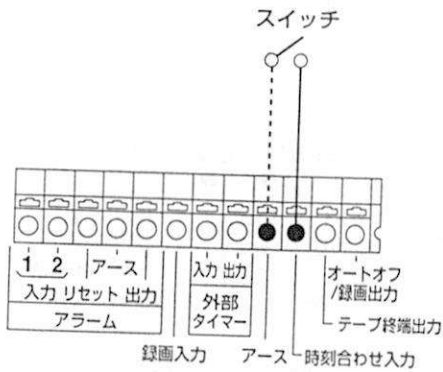
外部タイマーを使って、録画することができます。

- メニュー画面 P7 [TERMINAL INPUT SELECT] の EXT TIMER IN を ON に設定し、フロントパネルのタイマーモードボタンで EXT (外部タイマー録画) に設定します。
本機の電源が OFF になり、外部タイマーの信号で録画を開始します。



ターミナルの接続

時刻合わせの接続



外部スイッチにより本機の時刻を合わせる場合

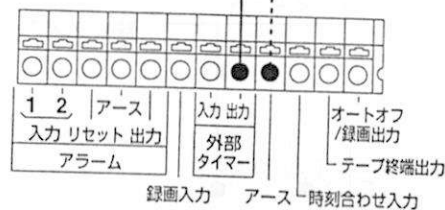
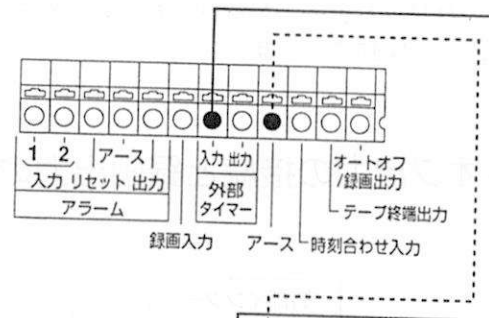
- 本機のメニュー画面 P7 [TERMINAL INPUT SELECT] の TIME ADJUST IN で、外部スイッチから信号が入力されたときに合わせる時刻を設定します。
- 外部スイッチを「入」にすると、設定した時刻になります。

外部タイマー入力の接続

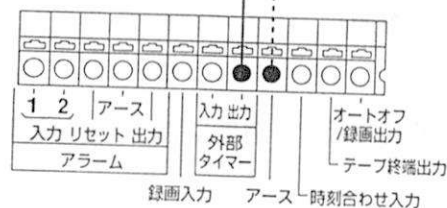
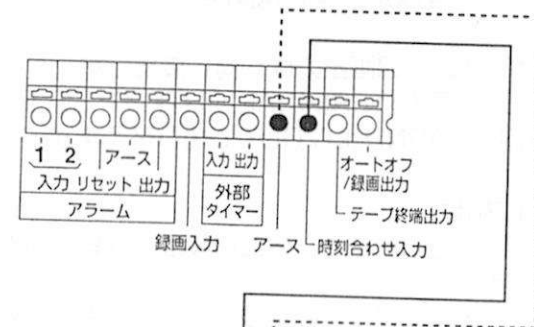
本機をもう 1 台使って、外部タイマーや時刻合わせの外部スイッチとして使用することができます。

- メニュー画面 P7 [TERMINAL OUTPUT SELECT] の EXT TIMER OUT で制御信号を出力する開始時刻 (START) と終了時刻 (END) を設定します。

外部タイマーとして使用する場合



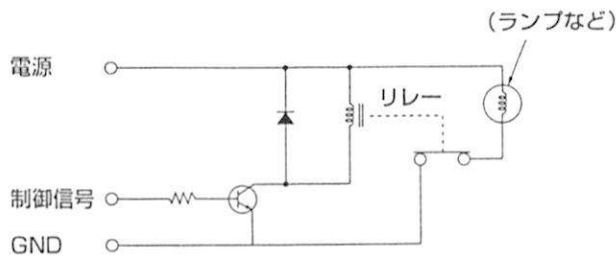
時刻合わせの外部スイッチとして使用する場合



ターミナルの信号レベル

外部インターフェース作成仕様

HIGH 信号にてランプ点灯例

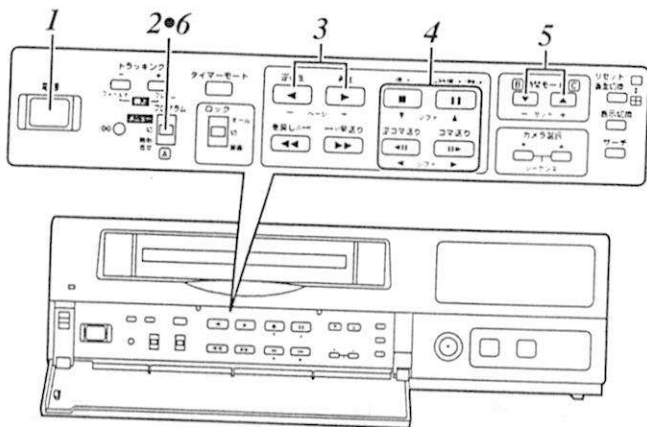


- 各素子は、使用実体に合った定格のものをご使用ください。

ターミナル名	信号レベル	備考	ターミナル名	信号レベル	備考
アラーム入力 1/2	 $V_{IH} = 4.0V \sim 5.0V$ $V_{IL} = 0.0V \sim 0.6V$ $T \geq 100ms$	接地入力	時刻合わせ入力	 $V_{IH} = 4.0V \sim 5.0V$ $V_{IL} = 0.0V \sim 0.6V$ $T \geq 100ms$	接地入力
アラームリセット入力	 $V_{IH} = 4.0V \sim 5.0V$ $V_{IL} = 0.0V \sim 0.6V$ $T \geq 100ms$	High 入力	テープ終端出力	 $V_{OH} = 11.0V \sim 13.0V$ $V_{OL} = 0.0V \sim 0.6V$ 4.7kΩプルアップ (+12V) 出力	接地出力 メニュー画面 P5 [VTR MODE SELECT] の (TAPE END) MODE で REPEAT を設定しているとき、出力時間 T は 2 秒です。REPEAT 以外の設定のときは、何れかの操作ボタンが押されるまで出力し続けます。 メニュー画面 P6 [TAPE REMAIN] の LEVEL で OFF 以外を設定しているときは、何れかの操作ボタンが押されるまで出力し続けます。
アラーム出力	 $V_{OH} = 11.0V \sim 13.0V$ $V_{OL} = 0.0V \sim 0.6V$ 4.7kΩプルアップ (+12V) 出力	接地出力 出力形式は、メニュー画面 P7 [TERMINAL OUTPUT SELECT] の ALARM/SENSOR OUT で設定します。	オートオフ/録画出力	 オープンドレイン出力 $V_{OL} = 0.0V \sim 1.0V$ 最大 200mA 駆動可能	接地出力
録画入力	 $V_{IH} = 4.0V \sim 5.0V$ $V_{IL} = 0.0V \sim 0.6V$ $T \geq 100ms$	接地入力			
外部タイマー入力	 $V_{IH} = 4.0V \sim 5.0V$ $V_{IL} = 0.0V \sim 0.6V$ T : 記録時間	接地入力 V_IL 入力 (T) の間、記録します。			
外部タイマー出力	 $V_{OL} = 0.0V \sim 0.6V$	接地出力 出力時間 T は、メニュー画面 P7 [TERMINAL OUTPUT SELECT] の EXT TIMER OUT で設定します。			

設定メニュー

設定方法



- 1 電源スイッチをONにします。
- 2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。
- 3 ページ (+) ボタンまたは、ページ (-) ボタンを押して、設定する画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。
- 4 シフトボタン (▼) (▲) (◀) (▶) で変更する項目に点滅部分を移動させます。
- 5 セットボタン (+) と (-) を押して、設定を変更します。
- 6 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

設定メニュー

メニューP1

P1	[TIME/DATE PRESET] 2000- 1-01 SAT 00:00:00 [REC LOCK] MODE OFF [HOUR METER] 00000h
----	--

[TIME/DATE PRESET] 画面

項目	機能内容
年 月 日 曜日 時 分 秒	日付と時刻を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 年：2000～2099 月：1～12 日：01～31 曜日：SUN～SAT 秒：00固定 分：00～59 時：00～23

[REC LOCK] 画面

項目	機能内容
MODE	録画中における、操作のロックモードを設定します。 ON：録画中は、録画チェックボタン以外のボタン操作やスイッチの操作が無効になります。 OFF：録画中でも、全てのボタン操作やスイッチの操作ができません。

_____ は、工場出荷モードです。

[HOUR METER] 画面

項目	機能内容
	録画を開始した時点からの録画通算時間を表示します。

設定メニュー

メニュー P2

[DISPLAY]		P2
CHARACTER	WHITE	
POSITION	R-BOTTOM	
TIME SELECT	24HOURS	
DATE	ON	
TIME	ON	
T-MODE	ON	
REC/ALARM	ON	
[REC LOSS INDICATOR]		
VIDEO OUT	CAMERA	

[DISPLAY] 画面

項目	機能内容
CHARACTER	モニター画面に表示される、文字の表示タイプを設定します。 WHITE : 白文字で、黒の縁取りで表示します。 BLACK : 黒文字で、白の縁取りで表示します。
POSITION	モニター画面に表示される、文字の位置を設定します。 L-UPPER : 画面の左上に文字を表示します。 R-UPPER : 画面の右上に文字を表示します。 L-BOTTOM : 画面の左下に文字を表示します。 R-BOTTOM : 画面の右下に文字を表示します。 CENTER : 画面の中央に文字を表示します。
TIME SELECT	時刻の12時間表示と24時間表示を設定します。 24HOURS : 時刻を24時間で表示します。 AM/PM : 時刻を午前と午後の12時間で表示します。
DATE	モニター画面への、日付表示を設定します。 ON : モニター画面に日付を表示します。 OFF : モニター画面に日付を表示しません。
TIME	モニター画面への、時刻表示を設定します。 ON : モニター画面に時刻を表示します。 OFF : モニター画面に時刻を表示しません。
T-MODE	モニター画面への、記録時間モードとカメラ番号の表示を設定します。 ON : モニター画面に記録時間モードとカメラ番号を表示します。 OFF : モニター画面に記録時間モードとカメラ番号を表示しません。
REC/ALARM	モニター画面への、アラーム番号と動作モードの表示を設定します。 ON : モニター画面にアラーム番号と動作モードを表示します。 OFF : モニター画面にアラーム番号と動作モードを表示しません。

_____ は、工場出荷モードです。

[REC LOSS INDICATOR] 画面

項目	機能内容
VIDEO OUT	記録モード以外のときに、モニター画面へ出力される映像を設定します。 CAMERA : モニター画面にカメラからの映像を出力します。 BLUE : モニター画面には、ブルーバック信号が出力されます。

_____ は、工場出荷モードです。

メニューP3

[RECORDING T-MODE & CAMERA]		P3
REC T- C.	(CAMERA SELECT)	
TYPE MODE NO	C1 C3 C5 C7 C9 C11 C13 C15 C2 C4 C6 C8 C10 C12 C14 C16	
RT0	OFF* 16 Y Y Y Y Y Y Y Y	
RT1	OFF* 16 Y Y Y Y Y Y Y Y	
RT2	OFF* 16 Y Y Y Y Y Y Y Y	
RT3	OFF* 16 Y Y Y Y Y Y Y Y	
RT4	OFF* 16 Y Y Y Y Y Y Y Y	
RT5	OFF* 16 Y Y Y Y Y Y Y Y	
RT6	OFF* 16 Y Y Y Y Y Y Y Y	
RT7	OFF* 01 C1	
		Y: YES N: NO

[RECORDING T-MODE & CAMERA] 画面

項目	機能内容
REC TYPE	記録時間モードとカメラ台数の組み合わせを、記録タイプとして登録しておきます。 RT0～RT7 <ノート> ● RT0の記録時間モード (T-MODE) はOFFに固定されています。 ● RT7のカメラ台数 (CAMERA SELECT) は1台 (01) に固定されています。
T-MODE	記録時間モードを設定します。 OFF, 3H, 9H, 12H, 18H, 24H, 48H, 72H, 96H, 120H, 180H, 240H, 360H, 480H, 960H <ノート> OFFに設定した場合の記録時間モードは、時間モードボタン (サブパネル部) の設定に従います。
C. NO	CAMERA SELECT項目で設定したカメラ台数が表示されます。
CAMERA SELECT	使用するカメラ番号をY (YES) /N (NO) で設定します。 Y : 使用するカメラ N : 使用しないカメラ <ノート> 全てのカメラをN (NO) に設定することはできません。

メニューP4

[RECORDING MODE]		P4
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
REC-TYPE	RT0 (OFF * 16)	
[ALARM/SENSOR REC]		
MODE	OFF	
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
DURATION	0.5min	
BUZZER	OFF	
REPEAT	OFF	
GROUP ALARM1	RT0 (OFF * 16)	
GROUP ALARM2	RT0 (OFF * 16)	

[RECORDING MODE] 画面

項目	機能内容
FIELD/FRAME	フィールド記録とフレーム記録を選択します。 FIELD : フィールド記録を行います。 FRAME : フレーム記録を行います。
PICTURE QUALITY	記録する画質を設定します。 HIGH : 高画質で記録します。 NORMAL : 標準画質で記録します。
REC-TYPE	記録タイプを、メニューP3に登録されている中から選択します。 RT0～RT7

_____ は、工場出荷モードです。

<ノート>

REC-TYPEの項目でRT7を選択した場合、FIELD/FRAMEの項目設定に関わらず、強制的にフレーム記録を行います。

設定メニュー

メニューP4

[RECORDING MODE]		P4
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
REC-TYPE	RT0 (OFF・16)	
[ALARM/SENSOR REC]		
MODE	OFF	
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
DURATION	0.5min	
BUZZER	OFF	
REPEAT	OFF	
GROUP ALARM1	RT0 (OFF・16)	
GROUP ALARM2	RT0 (OFF・16)	

[ALARM/SENSOR REC] 画面

項目	機能内容
MODE	アラームが入力された場合の記録を設定します。 OFF : アラーム入力に関係なく通常の動作を行います。 ALARM/SENSOR : アラーム録画やセンサー録画を行います。 ALARM : アラーム録画を行います。 SENSOR : センサー録画を行います。
FIELD/FRAME	アラーム録画やセンサー録画を行うときに、フィールド記録かフレーム記録かを選択します。 FIELD : フィールド記録を行います。 FRAME : フレーム記録を行います。
PICTURE QUALITY	アラーム録画やセンサー録画を行うときの、画質を設定します。 HIGH : 高画質で記録します。 NORMAL : 標準画質で記録します。 NO CHANGE : 現在設定されている画質で記録します。
DURATION	アラーム録画やセンサー録画を行う時間を設定します。 0.5min : 30秒間記録します。 1.0min : 1分間記録します。 1.5min : 1分30秒間記録します。 2.0min : 2分間記録します。 3.0min : 3分間記録します。 6.0min : 6分間記録します。 10.0min : 10分間記録します。 CONTINUE : テープの終端まで記録します。 MANUAL : アラームが入力されている間のみ記録します。
BUZZER	アラーム録画中やセンサー録画中にブザーを鳴らす設定を行います。 ON : ブザーを鳴らします。 何れかの操作ボタンを押すと、ブザーが止まります。 OFF : ブザーを鳴らしません。
REPEAT	リピート録画時、テープを巻き戻しているときに、アラームが入力された場合のアラーム録画やセンサー録画を設定します。 OFF : テープを巻き戻しているときは、アラーム録画やセンサー録画を行いません。 テープの巻き戻しが完了してもアラームが入力されているときは、アラーム録画やセンサー録画を行います。 ON : テープを巻き戻している途中でも、強制的にアラーム録画やセンサー録画を行います。
GROUP ALARM1	アラーム入力1にアラームが入力された場合に、アラーム録画やセンサー録画を行うときの記録タイプを、メニューP3に登録されている中から選択します。 RT0 ~ RT7
GROUP ALARM2	アラーム入力2にアラームが入力された場合に、アラーム録画やセンサー録画を行うときの記録タイプを、メニューP3に登録されている中から選択します。 RT0 ~ RT7

—— は、工場出荷モードです。

<ノート>

REC-TYPEの項目でRT7を選択した場合、FIELD/FRAMEの項目設定に関わらず、強制的にフレーム記録を行います。

メニュー P5

[VTR MODE SELECT]		P5
(TAPE IN)	STOP	
(TAPE END)		
MODE	STOP	
ALARM IN	STOP	
(EJECT OPERATION)	EJECT	
(VIDEO MODE)	AUTO	
[AC OUTLET]		
MODE	LINK	

[VTR MODE SELECT] 画面

項目	機能内容
(TAPE IN)	本機にカセットテープが挿入されたときの、動作モードを設定します。 <u>STOP</u> : 停止状態になります。 <u>REC</u> : 記録を行います。 <u>REW</u> ◆ <u>REC</u> : テープを始端位置まで巻き戻してから、記録を行います。
(TAPE END) MODE	テープ終端位置まできたときの、動作モードを設定します。 <u>STOP</u> : テープ終端位置で、停止状態になります。 <u>BUZZER</u> : テープ終端位置で停止状態になり、ブザーが鳴ります。 <u>REW</u> : テープを始端位置まで巻き戻してから、停止状態になります。 <u>REPEAT</u> : テープを始端位置まで巻き戻してから、記録を行います。 <u>EJECT</u> : テープ終端位置で、テープをイジェクトします。
(TAPE END) ALARM IN	アラーム録画やセンサー録画が行われた後に、テープ終端位置になったときの動作モードを設定します。 <u>STOP</u> : テープ終端位置で、停止状態になります。 (TAPE END) MODE で <u>EJECT</u> が設定されているときは、テープをイジェクトします。 <u>CONTINUE</u> : アラーム入力に関係なく、(TAPE END) MODE で設定されている動作を行います。
(EJECT OPERATION)	取出しボタンの操作を設定します。 <u>EJECT</u> : テープをイジェクトします。 <u>REW</u> ◆ <u>EJECT</u> : テープを始端位置まで巻き戻してから、イジェクトします。
(VIDEO MODE)	映像出力信号のカラーを設定します。 <u>AUTO</u> : 入力信号に応じて自動的に切り替えます。 <u>B/W</u> : 強制的にモノクロにします。

_____ は、工場出荷モードです。

[AC OUTLET] 画面

項目	機能内容
MODE	電源出力端子からの電源供給と、本機の電源スイッチとの関係を設定します。 <u>LINK</u> : 本機の電源スイッチと連動させます。 <u>NON-LINK</u> : 本機の電源スイッチには関係なく、常に電源を供給します。

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニュー P6

[TAPE REMAIN]		P6
LEVEL	OFF	
BUZZER	OFF	
[REC REVIEW]		
AUTO	OFF	
ERROR BUZZER	OFF	
[ERROR WARN BUZZER]		
MODE	OFF	
[REC WARNING]		
REC LOSS BUZZER	OFF	

[TAPE REMAIN] 画面

項目	機能内容
LEVEL	テープ終端位置が間近にきたときに、表示管に REMAIN を点滅させ警告表示する設定を行います。(120分テープを使用時) REMAIN の点滅は、何れかのボタンを押すと消灯します。 <u>OFF</u> : 警告表示を行いません。 2% : テープ残量が、約 2% 以下になったときに警告表示を行います。 10% : テープ残量が、約 10% 以下になったときに警告表示を行います。 20% : テープ残量が、約 20% 以下になったときに警告表示を行います。 30% : テープ残量が、約 30% 以下になったときに警告表示を行います。
BUZZER	テープ終端位置が間近にきたときに、ブザーを鳴らす設定を行います。 ブザーは、何れかのボタンを押すと止まります。 <u>ON</u> : LEVEL の項目で設定された位置でブザーを鳴らします。 <u>OFF</u> : ブザーは鳴らしません。

_____ は、工場出荷モードです。

[REC REVIEW] 画面

項目	機能内容
AUTO	自動録画チェックを設定します。 (記録時に、適正なビデオレベルが確保されているかを検出するために、一定時間記録を行った後に、その部分を再生する機能) <u>ON</u> : 自動的に録画チェックを行います。 NG の場合、ローディングとアンローディングを 3 回行い、再度自動的に録画チェックを行います。その後、NG の場合でも、記録を行います。 <u>OFF</u> : 自動的に、録画チェックを行いません。
ERROR BUZZER	録画チェックを行って、適正なビデオレベルが確保されていなかった場合にブザーを鳴らす設定を行います。 <u>ON</u> : ブザーを鳴らします。 何れかの操作ボタンを押すと、ブザーが止まります。 <u>OFF</u> : ブザーを鳴らしません。

_____ は、工場出荷モードです。

メニュー P6

[TAPE REMAIN]		P6
LEVEL	OFF	
BUZZER	OFF	
[REC REVIEW]		
AUTO	OFF	
ERROR BUZZER	OFF	
[ERROR WARN BUZZER]		
MODE	OFF	
[REC WARNING]		
REC LOSS BUZZER	OFF	

[ERROR WARN BUZZER] 画面

項目	機能内容
MODE	本機に異常が発生し、自動的に電源がOFFになるときにブザーを鳴らす設定を行います。 ON : ブザーを鳴らします。 OFF : ブザーを鳴らしません。

_____ は、工場出荷モードです。

[REC WARNING] 画面

項目	機能内容
REC LOSS BUZZER	停止状態が長く続いた場合に、ブザーを鳴らす設定を行います。何れかの操作ボタンを押すと、ブザーが止まります。 OFF : ブザーを鳴らしません。 5min : 停止状態が5分間続いた場合に、ブザーを鳴らします。 10min : 停止状態が10分間続いた場合に、ブザーを鳴らします。 20min : 停止状態が20分間続いた場合に、ブザーを鳴らします。 30min : 停止状態が30分間続いた場合に、ブザーを鳴らします。

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニュー P7

[TERMINAL INPUT SELECT]		P7
EXT TIMER IN	OFF	
TIME ADJUST IN	9:00	
[TERMINAL OUTPUT SELECT]		
ALARM/SENSOR OUT	CONTINUE	
ERROR WARN/REC OUT	WARNING	
EXT TIMER OUT	START 0:00	
	END 0:00	
[VIDEO OUT SEQUENCE]		
SW INTERVAL	2s	
BYPASS CAMERA	OFF	
BLACK MATTE	OFF	
LL CAMERA	OFF	
[EXT SWITCHER]		
MODE	VIDEO OUT	

[TERMINAL INPUT SELECT] 画面

項目	機能内容
EXT TIMER IN	外部タイマー録画モードときに、後面のターミナル部に接続された外部タイマーからの信号を受け付ける設定を行います。 ON : 外部タイマーからの信号を受け付けます。 OFF : 外部タイマーからの信号を受け付けません。 電源コードに接続した外部タイマーを使用するときは、OFF に設定してください。
TIME ADJUST IN	後面のターミナル部の「時刻合わせ入力」に接続された機器から、信号が入力されたときに合わせる時刻を設定します。 00:00 ~ 23:59、RESET 工場出荷モード (9:00) <ノート> • 秒の位は、00 に固定されます。 • RESET に設定した場合、信号が入力されると、時刻の分の位を「00」にします。 0 ~ 15 分の間に信号が入力されると、「00」に戻します。 45 ~ 59 分の間に信号が入力されると、時間を繰り上げて「00」にします。

_____ は、工場出荷モードです。

[TERMINAL OUTPUT SELECT] 画面

項目	機能内容
ALARM/SENSOR OUT	アラーム録画やセンサー録画を行ったときに、後面のターミナル部の「アラーム出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を行います。 CONTINUE : 制御信号を、録画後も出力し続けます。 ALARM REC : 制御信号を、アラーム録画中やセンサー録画中のみ出力します。
ERROR WARN/REC OUT	本機に異常が発生したときに、後面のターミナル部の「オートオフ/録画出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を行います。 WARNING : 制御信号を、出力し続けます。 REC : 制御信号を、録画中のみ出力します。
EXT TIMER OUT	後面のターミナル部の「外部タイマー出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する開始時刻 (START) と終了時刻 (END) を設定します。 0:00 ~ 23:59 <ノート> 開始時刻 (START) と終了時刻 (END) が同じ時刻に設定された場合、制御信号は出力されません。

_____ は、工場出荷モードです。

メニューP7

[TERMINAL INPUT SELECT]		P7
EXT TIMER IN	OFF	
TIME ADJUST IN	9:00	
[TERMINAL OUTPUT SELECT]		
ALARM/SENSOR OUT	CONTINUE	
ERROR WARN/REC OUT	WARNING	
EXT TIMER OUT	START 0:00	
	END 0:00	
[VIDEO OUT SEQUENCE]		
SW INTERVAL	2s	
BYPASS CAMERA	OFF	
BLACK MATTE	OFF	
LL CAMERA	OFF	
[EXT SWITCHER]		
MODE	VIDEO OUT	

[VIDEO OUT SEQUENCE] 画面

項目	機能内容
SW INTERVAL	後面の映像出力端子から出力される、カメラからの映像信号を切り替えるタイミングを設定を行います。 1s (1秒)、1.5s (1.5秒)、2s (2秒)、2.5s (2.5秒)、3s (3秒)、4s (4秒)、5s (5秒)、10s (10秒)
BYPASS CAMERA	特定のカメラの映像信号を、映像出力端子から出力しないようにする設定を行います。 OFF : 全てのカメラの映像信号を出力します。 C1～C16 : 指定したカメラの映像信号を出力しません。
BLACK MATTE	映像信号出力端子から出力される映像信号が切り替わるときの、ブラックバースト信号の処理を設定します。 ON : 映像信号が切り替わるときに、瞬間的にブラックバースト信号を出力します。 OFF : 映像信号が切り替わるときに、ブラックバースト信号を出力しません。
LL CAMERA	接続するカメラの同期方式を設定します。 ON : 電源同期方式のカメラ OFF : 内部同期方式および、外部同期方式のカメラ <ノート> • 内部同期方式のカメラを使用されることをおすすめします。 • 1台でも電源同期方式のカメラを使用されている場合は、ONに設定してください。

_____ は、工場出荷モードです。

[EXT SWITCHER] 画面

項目	機能内容
MODE	後面のスイッチャー入力/映像出力端子の機能を切り替えます。 VIDEO OUT : 映像信号を出力する端子として使用します。 EXT SW IN : 外部シーケンシャルスイッチャーの信号を入力する端子として使用します。

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニュー P8

[PROGRAM TIMER]				P8
(TIMER)	START	END	REC-TYPE	
PGM1	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)	
PGM2	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)	
PGM3	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)	
PGM4	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)	
PGM5	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)	
PGM6	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)	
PGM7	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)	
PGM8	0:00	0:00	RT0 (OFF・16)	

[INTERNAL WEEKLY TIMER]							
(SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	DLY)
***	***	***	***	***	***	***	***
***	***	***	***	***	***	***	***

[PROGRAM TIMER] 画面

項目	機能内容
(TIMER)	本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録開始時刻と記録終了時刻とメニュー P3 [REC TYPE] で設定した記録タイプの、3項目を組み合わせてプログラムを登録しておきます。 PGM1 ~ PGM8
START	本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録開始時刻を設定します。 0:00 ~ 23:59
END	本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録終了時刻を設定します。 0:00 ~ 23:59
REC-TYPE	本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録タイプを設定します。 RT0 ~ RT7

_____ は、工場出荷モードです。

[INTERNAL WEEKLY TIMER] 画面

項目	機能内容
	[PROGRAM TIMER] 画面の (TIMER) で登録したプログラム (最大2プログラム) を、各曜日ごとに設定しておきます。 毎日決まったプログラムで記録する場合は、DLYに設定します。 ***、PGM1 ~ PGM8 <ノート> <ul style="list-style-type: none"> 登録しない場合は、「***」を設定します。 上段に登録されたプログラムが優先されます。

_____ は、工場出荷モードです。

メニューP9

[FREE SET TIMER]				P9
	MONTH	DAY	SET	
1)	**	-	**	*****
2)	**	-	**	*****
3)	**	-	**	*****
4)	**	-	**	*****
5)	**	-	**	*****
6)	**	-	**	*****
7)	**	-	**	*****
8)	**	-	**	*****
9)	**	-	**	*****
10)	**	-	**	*****
11)	**	-	**	*****
12)	**	-	**	*****

[FREE SET TIMER] 画面

[PROGRAM TIMER] 画面の (TIMER) で登録したプログラムや、
[INTERNAL WEEKLY TIMER] 画面で設定した曜日のプログラムを、
任意の日付 (12 日分) に設定します。

項目	機能内容
MONTH	任意の日付の「月」を設定します。 1~12、** <ノート> 登録しない場合は、**を設定します。 MONTH/DAY/SETに「** - ** - *****」が表示されます。
DAY	任意の日付の「日」を設定します。 1~31
SET	ウィークリータイマーで設定したプログラムを選択します。 SUN~SAT、P_OFF (終日 POWER OFF モード)

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニューP10

[RS-232C PARAMETERS]	P10
BIT LENGTH	7bit
STOP BIT	STOP-1
PARITY	ODD
BAUD RATE	9600
[USER ID REC]	

[RS-232C PARAMETERS] 画面
RS-232Cパラメータを設定します。

項目	機能内容
BIT LENGTH	ビット長を設定します。 7bit、8bit
STOP BIT	ストップビットを設定します。 STOP-1、STOP-2
PARITY	パリティを設定します。 ODD、EVEN、NON
BAUD RATE	通信速度を設定します。(bps) 1200、2400、4800、9600、19200

_____ は、工場出荷モードです。

[USER ID REC] 画面

項目	機能内容
	ユーザーID (8文字まで) を設定します。 ユーザーIDを設定することにより、記録するテープにユーザーIDが記録されます。 <ノート> 使用する文字は16種類です。 0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、A、B、C、D、E、F

RS-232C インターフェイスを使用することにより、以下の機能が制御可能になります。

- **基本動作**
本機のボタン操作やスイッチの操作と同等の基本動作を行うことができます。
- **ステータスの確認**
現在の本機動作モードを確認することができます。
- **設定メニュー**
設定メニューの検出や設定を行うことができます。
- **サーチ機能**
指定フレーム位置の検索が可能です。

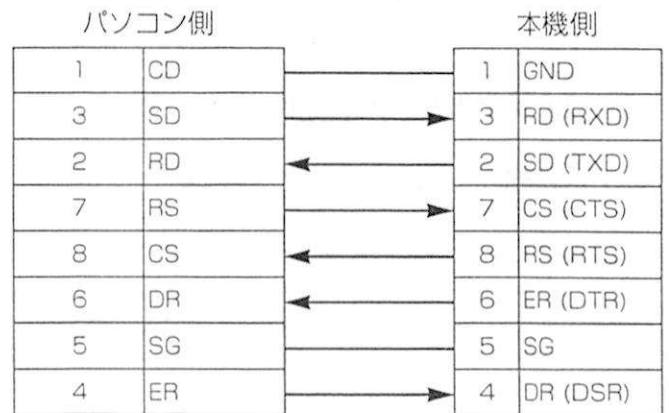
1. ハードウェア仕様

(1) インターフェイス仕様

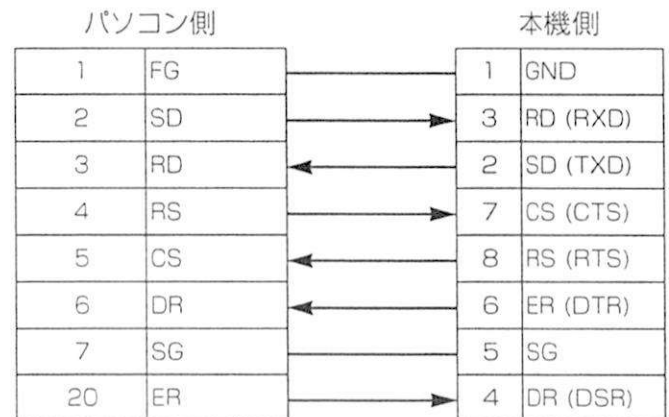
コネクタ： D-SUB 9ピン
DCE仕様 (ストレートケーブル対応)

ピン番号	信号	内容
1	GND	GND
2	SD (TXD)	Transmitted Data
3	RD (RXD)	Received Data
4	ER (DTR)	Data Terminal Ready
5	SG	Signal GND
6	DR (DSR)	Data Set Ready
7	CS (CTS)	Clear to Send
8	RS (RTS)	Request to Send
9	N.C	—————

結線例 (9P)



結線例 (25P)



(2) 通信条件について

本機の通信条件は下記のとおりになっています。通信条件を変更する場合は、メニューにて変更してください。

Baud Rate : 9600 bps
 Bit Length : 7 bit
 Stop Bit : 1 bit
 Parity : ODD

2. ソフトウェア仕様

(1) 外部インターフェイス仕様

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	1200/2400/4800/9600/19200
ビット長	8 bit/7 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティ	NONE/ODD/EVEN

<ノート>

- 工場出荷時の設定は、9600 bps、7 bit、1 STOP bit、ODD PARITY となっています。
- 本機の受信バッファは 127 バイトです。

(2) 送信フォーマット (パソコン → 本機)

■ データフォーマット

[STX] [discrimination] [:] [data] [ETX]
 02H XX XX XX 3AH XX……XX 03H

20H<XX<7FH (XX=16進キャラクターコード)

- discrimination : コマンド識別子 (3 バイト) です。
- : : コマンドとデータの区切りを意味するコードです。
- data : 必要に応じてデータコードを追加します。

1. 送信コマンドは、必ず STX (キャラクターコード 02H) で始まります。
次に続く discrimination がコマンドの識別です。
必要に応じて : (コロン) の後に data をつけ加えます。最後は、ETX (キャラクターコード 03H) で終了します。
2. ETX を送信する前に STX を再度送信すると、本機側の内部受信バッファはクリア (今まで受信したデータは破棄) され、再受信した STX を先頭にして新たにデータ処理をします。

(3) 受信フォーマット (本機 → パソコン)

1 個の送信コマンドに対して本機は、下記のフォーマットデータを応答してきます。

1. 最初に本機は、パソコンからのコマンドが正しく受信されたかどうかのデータを返信します。

1) 通信が正常な場合本機は、ACK (Acknowledge) データを返信してきます。

[ACK]
06H

2) 通信に異常がある場合、本機は NAK (Negative Acknowledge キャラクターコード 15H) で始まるデータを返信してきます。本機が、データを送信中の場合は、データ送信後に NAK を返信してきます。このとき本機は、エラーがあった受信データを全て破棄しています。

[NAK] □
15H (XX)

- □の内容
- 1 (31H) : パリティエラー
- 2 (32H) : データオーバーフローエラー
- 3 (33H) : フレーミングエラー
- 4 (34H) : オーバーランエラー

2. 次に、通信が正常なとき [ACK] を返信した後、本機の動作により次のフォーマットでデータを返信します。

1) パソコンからのコマンドが、正しく本機で受信された場合の応答データ (返信データ) フォーマットは、次のとおりです。

[STX] [data] [ETX]
02H XX……XX 03H

example:

送信コマンド 返信データ=受信データ

[STX] QOP [ETX] → [ACK] [STX] OEJ [ETX]

[STX] QCD [ETX] → [ACK] [STX] CD □□□□□□□□ [ETX]

2) 間違ったデータであったり、本機の異常時は、受け取れない理由を示す内容を以下のフォーマットで返してきます。

[STX] E R □ [ETX]
02H 45H 52H XX 03H

- □の内容
- 2 (32H) : カセットアップ/ダウンエラー
- 3 (33H) : ローディングエラー
- 4 (34H) : ドラム・キャブスタン系エラー
- 5 (35H) : リール系エラー
- 6 (36H) : テンション系エラー
- 7 (37H) : ソレノイドエラー
- D (44H) : DEW エラー
- E (45H) : コマンドエラーやパラメーターエラー
- M (4DH) : コマンド実行不可 (設定メニューモードや時間調整モード)
- P (50H) : サーチエラー (始端)
- F (46H) : サーチエラー (フロントパネル操作による中断)
- T (54H) : サーチエラー (目標位置なし)
- I (49H) : サーチエラー (コマンドによる中断)
- O (4FH) : 受信バッファオーバーフロー

<ノート>

パソコンなどを使用して本機を制御する場合、十分動作を確認してご使用ください。本機のステータス情報を確認しながら、制御することをお勧めします。

RS-232C

(4) コマンドリスト

■ COMMAND一覧表

下の表はパソコン側から見た各モードに対する送信コマンド、動作の一覧表です。

なお、[STX]は16進コード02H

[ETX]は16進コード03H

:は16進コード3AH

discrimination部とdata部はその記号に対応するASCIIコードを意味します。

● 通信 (Communication) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] RAF [ETX]	[STX] RAF [ETX]	ACK (Acknowledge) コード返信機能 OFF
[STX] RAN [ETX]	[STX] RAN [ETX]	ACK (Acknowledge) コード返信機能 ON
[STX] RCK [ETX]	[STX] RCK [ETX]	通信ラインのチェック
[STX] RSE:m [ETX]	[STX] RSE [ETX]	サーチエンドモードの設定

● カウンター (Counter) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] CCP:data [ETX]	[STX] CCP [ETX]	CTL カウンターデータのプリセット (CLPと同様)
[STX] CLP:data [ETX]	[STX] CLP [ETX]	CTL カウンターデータのプリセット (CCPと同様)
[STX] CRT [ETX]	[STX] CRT [ETX]	CTL カウンターデータのリセット

● 表示 (Display) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] DBB [ETX]	[STX] DBB [ETX]	キャラクター文字を黒に設定
[STX] DBW [ETX]	[STX] DBW [ETX]	キャラクター文字を白に設定
[STX] DDS:d:t:m:r [ETX]	[STX] DDS [ETX]	モニター画面への表示項目設定
[STX] DFC:m [ETX]	[STX] DFC [ETX]	表示管の表示モード設定
[STX] DMS:d:m:n [ETX]	[STX] DMS [ETX]	時間表示モード (12時間/24時間) 設定
[STX] DPP:mm [ETX]	[STX] DPP [ETX]	モニター画面への表示位置の設定

●メディア (Media) 操作制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] HEA [ETX]	[STX] HEA [ETX]	EJECT ボタンを押したときの動作を REW↕EJECT に設定
[STX] HEE [ETX]	[STX] HEE [ETX]	EJECT ボタンを押したときの動作を EJECT に設定
[STX] HRE:m [ETX]	[STX] HRE [ETX]	記録時におけるテープ終端位置での動作モード設定
[STX] HRL:m [ETX]	[STX] HRL [ETX]	記録中における操作のロックモードを設定
[STX] HTI:m [ETX]	[STX] HTI [ETX]	テープが挿入されたときの動作モード設定
[STX] HTR:m:b [ETX]	[STX] HTR [ETX]	テープ終端位置が間近にきたときの、警告を設定

●動作 (Operation) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] OAC [ETX]	[STX] OAC [ETX]	アラーム入力解除
[STX] OAF [ETX]	[STX] OAF [ETX]	Forward 方向へコマ送り
[STX] OAI:n [ETX]	[STX] OAI [ETX]	アラーム入力
[STX] OAR [ETX]	[STX] OAR [ETX]	Reverse 方向へコマ送り
[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	EJECT
[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	FAST FORWARD
[STX] OPA [ETX]	[STX] OPA [ETX]	PAUSE
[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	PLAY
[STX] OPR [ETX]	[STX] OPR [ETX]	REVERSE PLAY
[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	RECORD
[STX] ORR [ETX]	[STX] ORR [ETX]	REC CHECK
[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	REWIND
[STX] OSF:n [ETX]	[STX] OSF [ETX]	FORWARD SEARCH
[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	STOP
[STX] OSR:n [ETX]	[STX] OSR [ETX]	REVERSE SEARCH

RS-232C

● 電源 (Power) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] PAL [ETX]	[STX] PAL [ETX]	電源出力端子からの電源供給を、本機の電源スイッチと連動させる。
[STX] PAU [ETX]	[STX] PAU [ETX]	本機の電源スイッチと関係なく、電源出力端子から常に電源を供給する。
[STX] POF [ETX]	[STX] POF [ETX]	電源スイッチ OFF
[STX] PON [ETX]	[STX] PON [ETX]	電源スイッチ ON

● 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] SAS:data [ETX]	[STX] SAS [ETX]	アラーム番号のサーチと STILL
[STX] SCP:data [ETX]	[STX] SCP [ETX]	カウンター値のサーチと再生
[STX] SCS:data [ETX]	[STX] SCS [ETX]	カウンター値のサーチと STILL
[STX] SPT:data [ETX]	[STX] SPT [ETX]	指定位置までの再生 (OPT と同様)
[STX] STS:data [ETX]	[STX] STS [ETX]	日付と時刻のサーチと STILL

● タイマー (Timer) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] TAT:data [ETX]	[STX] TAT [ETX]	後面のターミナル部の「時刻合わせ入力」に接続された機器から、信号が入力されたときに合わせる時刻の設定
[STX] TCS:data [ETX]	[STX] TCS [ETX]	現在の日付設定
[STX] TTS:data [ETX]	[STX] TTS [ETX]	現在の時刻設定

● ビデオ (Video) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] VMD:m [ETX]	[STX] VMD [ETX]	映像出力信号のカラーを設定
[STX] VNR:m [ETX]	[STX] VNR [ETX]	記録モード以外有的时候に、モニター画面へ出力される映像を設定
[STX] VVC [ETX]	[STX] VVC [ETX]	映像信号入力有無の検出

● タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LAD:m [ETX]	[STX] LAD [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行う時間を設定
[STX] LAI:m [ETX]	[STX] LAI [ETX]	テープ終端位置でアラームが入力されたときの、動作モードを設定
[STX] LAR [ETX]	[STX] LAR [ETX]	ALARM RECALL データの消去
[STX] LBM:m [ETX]	[STX] LBM [ETX]	映像信号が切り替わるときの、ブラックバースト信号の処理を設定
[STX] LBP:m [ETX]	[STX] LBP [ETX]	指定したカメラの映像信号を出力しない設定
[STX] LBR:m [ETX]	[STX] LBR [ETX]	REC REVIEW を行った結果が NG の場合のブザーを設定
[STX] LBZ:m [ETX]	[STX] LBZ [ETX]	アラーム録画中やセンサー録画中のブザーを設定
[STX] LCT:m [ETX]	[STX] LCT [ETX]	映像出力端子から出力される、カメラからの映像信号を切り替えるタイミングを設定
[STX] LDA:m [ETX]	[STX] LDA [ETX]	アラーム出力ターミナルに接続された機器への制御信号出力を設定
[STX] LDF:m [ETX]	[STX] LDF [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行うときの記録モードを設定
[STX] LDM:m [ETX]	[STX] LDM [ETX]	アラームが入力された場合の記録を設定
[STX] LDO:data1:data2 [ETX]	[STX] LDO [ETX]	外部タイマー出力ターミナルに接続された機器へ制御信号を出力する開始時刻と終了時刻を設定
[STX] LDP:m [ETX]	[STX] LDP [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行うときの画質設定
[STX] LDS:m [ETX]	[STX] LDS [ETX]	スチル再生時のモード (フィールド/フレーム) を選択
[STX] LDT:m:n [ETX]	[STX] LDT [ETX]	アラーム入力 1/2 にアラームが入力された場合の記録タイプを設定
[STX] LDW:m [ETX]	[STX] LDW [ETX]	オートオフ/録画出力ターミナルに接続された機器への制御信号出力を設定
[STX] LDX:m [ETX]	[STX] LDX [ETX]	スイッチャー入力/映像出力端子の機能切り替え
[STX] LFS:nn:mmdd:p [ETX]	[STX] LFS [ETX]	フリーセットタイマーの設定
[STX] LIP:n:data1:data2:t [ETX]	[STX] LIP [ETX]	内部タイマー録画を設定
[STX] LIW:abcdefghijklmnop [ETX]	[STX] LIW [ETX]	ウィークリータイマーとデイリータイマーの設定
[STX] LLL:m [ETX]	[STX] LLL [ETX]	接続するカメラの同期方式を設定
[STX] LMA:m [ETX]	[STX] LMA [ETX]	検索モードの切り替え
[STX] LMP:p:n [ETX]	[STX] LMP [ETX]	画面の切り替え (4 画面と 1 画面) とカメラ番号を設定
[STX] LNR:f:p:t [ETX]	[STX] LNR [ETX]	記録モード、画質、記録タイプの設定
[STX] LRB:m [ETX]	[STX] LRB [ETX]	停止状態が長く続いた場合のブザーを設定

RS-232C

• タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LRI:m [ETX]	[STX] LRI [ETX]	リビート録画時、テープを巻き戻しているときに、アラームが入力された場合のアラーム録画やセンサー録画を設定
[STX] LRM:m [ETX]	[STX] LRM [ETX]	タイマー録画モードの設定
[STX] LRR:m [ETX]	[STX] LRR [ETX]	REC REVIEWの設定
[STX] LSQ:m:t [ETX]	[STX] LSQ [ETX]	カメラ番号とシーケンスモードを設定
[STX] LTM:m [ETX]	[STX] LTM [ETX]	記録時間モードの設定
[STX] LTY:n:t:abcdefgh [ETX]	[STX] LTY [ETX]	記録時間モードとカメラ台数の組み合わせを設定
[STX] LUI:data [ETX]	[STX] LUI [ETX]	記録ユーザーIDの設定
[STX] LWB:m [ETX]	[STX] LWB [ETX]	オートオフ時のブザーを設定
[STX] LWR [ETX]	[STX] LWR [ETX]	POWER LOSS MEMORY データの消去
[STX] LXT:m [ETX]	[STX] LXT [ETX]	外部タイマー信号の入力受け付けを設定

● 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QAL [ETX]	[STX] ALV0 [ETX]	アドレスレベルを問い合わせる
[STX] QAM:m [ETX]	[STX] LDmdata [ETX]	アラーム録画とセンサー録画の設定を問い合わせる
[STX] QBM [ETX]	[STX] LBMm [ETX]	映像信号が切り替わる時の、ブラックバースト信号処理の設定を問い合わせる
[STX] QBP [ETX]	[STX] LBPm [ETX]	映像信号を出力しないカメラを問い合わせる
[STX] QBR [ETX]	[STX] LBRm [ETX]	REC REVIEW を行った結果のプザー設定を問い合わせる
[STX] QCC [ETX]	[STX] CCPdata [ETX]	カウンターデータを問い合わせる (QCD と同様)
[STX] QCD [ETX]	[STX] CDdata [ETX]	カウンターデータを問い合わせる (QCC と同様)
[STX] QDA [ETX]	[STX] LDAm [ETX]	アラーム出力ターミナルに接続された機器への制御信号出力の設定を問い合わせる
[STX] QDB [ETX]	[STX] DBm [ETX]	キャラクター文字の色設定を問い合わせる
[STX] QDD [ETX]	[STX] DDSd:t:m:r [ETX]	モニター画面への表示項目設定を問い合わせる
[STX] QDF [ETX]	[STX] DFCm [ETX]	表示管の表示モードを問い合わせる
[STX] QDM [ETX]	[STX] DMSd:m:n [ETX]	時間表示モードの設定を問い合わせる
[STX] QDO [ETX]	[STX] LDOdata1:data2 [ETX]	外部タイマー出力ターミナルに接続された機器へ制御信号を出力する開始時刻と終了時刻の設定を問い合わせる
[STX] QDP [ETX]	[STX] DPPmm [ETX]	モニター画面への表示位置の設定を問い合わせる
[STX] QDS [ETX]	[STX] LDSm [ETX]	スチル再生時のモード (フィールド/フレーム) 選択を問い合わせる
[STX] QDW [ETX]	[STX] LDWm [ETX]	オートオフ/録画出力ターミナルに接続された機器への制御信号出力の設定を問い合わせる
[STX] QDX [ETX]	[STX] LDXm [ETX]	スイッチャー入力/映像出力端子の機能切り替えの設定を問い合わせる
[STX] QFS:nn [ETX]	[STX] LFSnn:mmdd:p [ETX]	フリーセットタイマーの設定を問い合わせる
[STX] QHI [ETX]	[STX] HTIm [ETX]	テープが挿入されたときの動作モードを問い合わせる
[STX] QHJ [ETX]	[STX] HEm [ETX]	EJECT ボタンを押したときの動作設定を問い合わせる
[STX] QHL [ETX]	[STX] HRLm [ETX]	記録中における操作のロックモード設定を問い合わせる
[STX] QHR:H [ETX]	[STX] HTRdata [ETX]	テープ残量を問い合わせる
[STX] QHT [ETX]	[STX] HREm [ETX]	テープ終端位置での動作モード設定 (記録時) を問い合わせる
[STX] QIC [ETX]	[STX] 1 [ETX]	製品分野別コードを問い合わせる
[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX]	機器の ID コードを問い合わせる

● 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QIP:n [ETX]	[STX] LIPn:data1:data2:t [ETX]	内部タイマー録画の設定を問い合わせる
[STX] QIR [ETX]	[STX] LUIImdata [ETX]	再生テープのユーザー ID を問い合わせる
[STX] QIW [ETX]	[STX] LIWabcdehgh:ijklmnop [ETX]	ウィークリータイマーとデイリータイマーの設定を問い合わせる
[STX] QLA:m [ETX]	[STX] LAMn [ETX]	テープ終端位置でアラームが入力されたときの動作モードの設定と、アラーム録画やセンサー録画を行う時間の設定を問い合わせる
[STX] QLC [ETX]	[STX] LCTm [ETX]	映像出力端子から出力される、カメラからの映像信号を切り替えるタイミングの設定を問い合わせる
[STX] QLD:n [ETX]	[STX] LANnn:data1:data2 [ETX]	ALARM RECALL データを問い合わせる
[STX] QLE [ETX]	[STX] LRIIm [ETX]	リピート録画時、テープを巻き戻しているときに、アラームが入力された場合のアラーム録画やセンサー録画の設定を問い合わせる
[STX] QLH [ETX]	[STX] LHRhhhh [ETX]	アワーメーターの現在値を問い合わせる
[STX] QLM [ETX]	[STX] LRMm [ETX]	タイマー録画モードの設定を問い合わせる
[STX] QLP:n [ETX]	[STX] LPLnn:data1:data2 [ETX]	POWER LOSS MEMORY データを問い合わせる
[STX] QLT [ETX]	[STX] LTMm [ETX]	記録/再生時間モードの設定を問い合わせる
[STX] QLZ [ETX]	[STX] LBZm [ETX]	アラーム録画中やセンサー録画中のブザーの設定を問い合わせる
[STX] QMA [ETX]	[STX] LMAm [ETX]	検索モードを問い合わせる
[STX] QMP [ETX]	[STX] LMPp:c0c1c2c3 [ETX]	画面の切り替え (4 画面と 1 画面) とカメラ番号の設定を問い合わせる
[STX] QNL [ETX]	[STX] LLLm [ETX]	接続するカメラの同期方式の設定を問い合わせる
[STX] QNR [ETX]	[STX] VNRm [ETX]	記録モード以外の場合に、モニター画面へ出力される映像の設定を問い合わせる
[STX] QOP [ETX]	[STX] data [ETX]	本機の動作モードを問い合わせる
[STX] QOR [ETX]	[STX] ORm [ETX]	REC REVIEW を行った結果を問い合わせる
[STX] QOS [ETX]	[STX] OPSdata [ETX]	各種動作モードを問い合わせる
[STX] QPB:m [ETX]	[STX] LPBm:r:data [ETX]	再生テープの情報を問い合わせる
[STX] QPL [ETX]	[STX] PAm [ETX]	電源出力端子からの電源供給設定を問い合わせる
[STX] QRA [ETX]	[STX] RAm [ETX]	ACK (Acknowledge) コード応答設定を問い合わせる
[STX] QRB [ETX]	[STX] LRBm [ETX]	停止状態が長く続いた場合のブザーの設定を問い合わせる
[STX] QRN [ETX]	[STX] LNRf:p:t [ETX]	記録モード、画質、記録タイプの設定を問い合わせる

● 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QRR [ETX]	[STX] LRRm [ETX]	REC REVIEW の設定を問い合わせる
[STX] QRS [ETX]	[STX] RSEm [ETX]	サーチエンドモードの設定を問い合わせる
[STX] QRV:m [ETX]	[STX] VERdata [ETX]	ソフトウェアのバージョンを問い合わせる
[STX] QSQ [ETX]	[STX] LSQm:t [ETX]	カメラ番号とシーケンスモードの設定を問い合わせる
[STX] QTA [ETX]	[STX] TATmm:S [ETX]	後面のターミナル部の「時刻合わせ入力」に接続された機器から、信号が入力されたときに合わせる時刻の設定を問い合わせる
[STX] QTC [ETX]	[STX] TTSdata [ETX]	現在の時刻設定を問い合わせる
[STX] QTL [ETX]	[STX] TCSdata [ETX]	現在の日付設定を問い合わせる
[STX] QTR [ETX]	[STX] HTRm:b [ETX]	テープ終端位置が間近にきたときの警告の設定を問い合わせる
[STX] QTY:n [ETX]	[STX] LTYn:t:abcdefgh [ETX]	記録時間モードとカメラ台数の組み合わせの設定を問い合わせる
[STX] QUI [ETX]	[STX] LUISdata [ETX]	記録ユーザーIDの設定を問い合わせる
[STX] QVC [ETX]	[STX] VVCm:data [ETX]	映像信号入力有無の検索結果を問い合わせる
[STX] QVM [ETX]	[STX] VMDm [ETX]	映像出力信号のカラー設定を問い合わせる
[STX] QWB [ETX]	[STX] LWBm [ETX]	オートオフ時のブザー設定を問い合わせる
[STX] QXT [ETX]	[STX] LXTm [ETX]	外部タイマー信号の入力受け付けの設定を問い合わせる

■ 通信 (Communication) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] RAF [ETX]	[STX] RAF [ETX]	ACK (Acknowledge) コードの返信を無効にします。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] RAN [ETX]	[STX] RAN [ETX]	ACK (Acknowledge) コードの返信を有効にします。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] RCK [ETX]	[STX] RCK [ETX]	通信が成立しているかをチェックします。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] RSE:m [ETX] パラメータ m = 0: ノーマル 1: 完了時コマンド無し 2: 完了時/エラー時コマンド無し	[STX] RSE [ETX]	サーチ完了コマンドの送信タイミングと送信の可/不可を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● ノーマルに設定 サーチ開始時: ACK コードを返信 サーチ完了時: [STX]□□□[ETX]を返信 サーチ中断時: [STX]ER□□□[ETX]を返信 ● 完了時コマンド無しに設定 サーチ開始時: ACK コードを返信後に、 [STX]□□□[ETX]を返信 サーチ完了時: 返信しない サーチ中断時: [STX]ER□□□[ETX]を返信 ● 完了時/エラー時コマンド無しに設定 サーチ開始時: ACK コードを返信後に、 [STX]□□□[ETX]を返信 サーチ完了時: 返信しない サーチ中断時: 返信しない <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■ カウンター (Counter) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] CCP:data [ETX] パラメータ data = ghmmssff g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0~9: 時 (12時間モード) mm = 00~59: 分 ss = 00~59: 秒 ff = 00~29: フレーム	[STX] CCP [ETX]	CTL カウンターに指定のカウンター値をプリセットします。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中と EJECT 中は、受け付けません。
[STX] CLP:data [ETX] パラメータ data = ghmmssff g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0~9: 時 (12時間モード) mm = 00~59: 分 ss = 00~59: 秒 ff = 00~29: フレーム	[STX] CLP [ETX]	CTL カウンターに指定のカウンター値をプリセットします。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中と EJECT 中は、受け付けません。
[STX] CRT [ETX]	[STX] CRT [ETX]	CTL カウンターデータをリセットします。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■表示 (Display) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] DBB [ETX]	[STX] DBB [ETX]	モニター画面に表示される、文字の表示色を黒に設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] DBW [ETX]	[STX] DBW [ETX]	モニター画面に表示される、文字の表示色を白に設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] DDS:d:t:m:r [ETX] パラメータ d = N または F (日付) t = N または F (時間) m = N または F (記録時間モード) r = N または F (REC/ALARM) N: ON (表示) F: OFF (非表示)	[STX] DDS [ETX]	モニター画面への表示項目を設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] DFC:m [ETX] パラメータ m = C: (COUNT) カウンター表示 I: (TIME) 時計表示 M: (CAMERA) カメラ番号表示 P: (PASS) パス表示	[STX] DFC [ETX]	表示管の表示モードを設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] DMS:d:m:n [ETX] パラメータ d = T (固定) m = M: AM/PM 表示 H: 24 時間表示 n = 0~9: VTR 識別 No. 本機では、VTR 識別 No. を表示する機能がありませんので、0~9 何れの番号を送信しても問題ありません。	[STX] DMS [ETX]	時間表示モード (12 時間/24 時間) を設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] DPP:mm [ETX] パラメータ mm = C: 中央 LB: 左下 LT: 左上 RB: 右下 RT: 右上	[STX] DPP [ETX]	モニター画面に表示される、文字の表示位置を設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■ メディア (Media) 操作制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] HEA [ETX]	[STX] HEA [ETX]	EJECT ボタンを押したときの動作を、REW◆EJECT (テープを始端位置まで巻き戻してから、イジェクト) に設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] HEE [ETX]	[STX] HEE [ETX]	EJECT ボタンを押したときの動作を、通常のEJECT に設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] HRE:m [ETX] パラメータ m = B: BUZZER E: EJECT P: REPRAT R: REWIND S: STOP	[STX] HRE [ETX]	記録中に、テープ終端位置になったときの本機動作モードを設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] HRL:m [ETX] パラメータ m = F: 記録可能 N: 記録禁止	[STX] HRL [ETX]	記録中における操作のロックモードを設定します。
[STX] HTI:m [ETX] パラメータ m = A: REWIND◆REC R: REC S: STOP	[STX] HTI [ETX]	テープが挿入されたときの本機動作モードを設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] HTR:m:b [ETX] パラメータ m = 0: 2%の残量 1: 10%の残量 2: 20%の残量 3: 30%の残量 F: (OFF) 警告しない b = N: ブザーで警告する F: (OFF) ブザーで警告しない	[STX] HTR [ETX]	表示管に REMAIN を点滅させ警告表示するテープ残量と、テープ終端位置が間近にきたときに、ブザーを鳴らす設定を行います。(120分テープを使用時)

RS-232C

■動作 (Operation) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] OAC [ETX]	[STX] OAC [ETX]	アラーム入力を解除します。
[STX] OAF [ETX]	[STX] OAF [ETX]	テープを Forward 方向へコマ送りします。
[STX] OAI:n [ETX] パラメータ n = 1: アラーム入力1 2: アラーム入力2 パラメータなし: アラーム入力1	[STX] OAI [ETX]	アラームを入力します。
[STX] OAR [ETX]	[STX] OAR [ETX]	テープを Reverse 方向へコマ送りします。
[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	カセットテープを EJECT します。
[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	テープを早送りします。
[STX] OPA [ETX]	[STX] OPA [ETX]	本機を一時停止モード (REC PAUSE、PLAY PAUSE) または、一時停止解除モード (REC、PLAY) にします。
[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	テープを再生します。
[STX] OPR [ETX]	[STX] OPR [ETX]	テープ Reverse 方向へ再生します。
[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	本機を記録モードにします。 本機が REC INHIBIT のときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。
[STX] ORR [ETX]	[STX] ORR [ETX]	録画チェックを行います。
[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	テープを巻き戻します。
[STX] OSF:n [ETX] パラメータ n = 1: ×1 倍速 4: ×4 倍速 7: ×7 倍速	[STX] OSF [ETX]	Forward 方向のテープ再生速度を設定します。
[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	本機を STOP モードにします。
[STX] OSR:n [ETX] パラメータ n = 1: ×1 倍速 4: ×4 倍速 7: ×7 倍速	[STX] OSR [ETX]	Reverse 方向のテープ再生速度を設定します。

<ノート>

動作制御コマンドの受け付け条件は、RS-232C モード遷移表を参照してください。(105 ページ)

■ 電源 (Power) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] PAL [ETX]	[STX] PAL [ETX]	電源出力端子からの電源供給を、本機の電源スイッチと連動させます。
[STX] PAU [ETX]	[STX] PAU [ETX]	本機の電源スイッチと関係なく、電源出力端子から常に電源を供給させます。
[STX] POF [ETX]	[STX] POF [ETX]	本機の電源スイッチを OFF にします。
[STX] PON [ETX]	[STX] PON [ETX]	本機の電源スイッチを ON にします。

■ 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] SAS:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = nn:d nn = 0~9: アラーム番号 d = F: Forward 方向 N: Reverse 方向</p>	<p>[STX] SAS [ETX]</p>	<p>パラメータで指定されたアラーム番号を、パラメータで指定された方向に検索します。 検索が終了すると、STILL モードになります。 指定された位置が、不正規な位置 (目標位置がない) の場合は、本機からエラーコード ERT が返信され STOP モードになります。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、本機からエラーコード ERI が返信されます。 本機のフロントパネル操作により、本機の動作モードが変更された場合は、本機からエラーコード ERF が返信されます。 動作中にテープの始端や終端になった場合は、本機からエラーコード ERP が返信されます。 基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>EJECT、REC、REC PAUSE、REC CHECK、POWER OFF</p> </div>
<p>[STX] SCP:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = ghmmssff (CTL データを基準) g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0~9: 時 mm = 00~59: 分 ss = 00~59: 秒 ff = 00 (固定): フレーム</p>	<p>[STX] SCP [ETX]</p>	<p>パラメータで指定されたカウンター値を検索します。 検索が終了すると、再生を開始します。 指定された位置が、不正規な位置 (目標位置がない) の場合は、本機からエラーコード ERT が返信され STOP モードになります。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、本機からエラーコード ERI が返信されます。 本機のフロントパネル操作により、本機の動作モードが変更された場合は、本機からエラーコード ERF が返信されます。 動作中にテープの始端や終端になった場合は、本機からエラーコード ERP が返信されます。 基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>EJECT、REC、REC PAUSE、REC CHECK、POWER OFF</p> </div>

■ 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] SCS:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = ghmmssff (CTL データを基準)</p> <p>g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時</p> <p>h = 0~9: 時</p> <p>mm = 00~59: 分</p> <p>ss = 00~59: 秒</p> <p>ff = 00 (固定): フレーム</p>	<p>[STX] SCS [ETX]</p>	<p>パラメータで指定されたカウンター値を検索します。 検索が終了すると、STILL モードになります。 指定された位置が、不正規な位置 (目標位置がない) の場合は、本機からエラーコード ERT が返信され STOP モードになります。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、本機からエラーコード ERI が返信されます。 本機のフロントパネル操作により、本機の動作モードが変更された場合は、本機からエラーコード ERF が返信されます。 動作中にテープの始端や終端になった場合は、本機からエラーコード ERP が返信されます。 基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。</p> <p><ノート> 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>EJECT、REC、REC PAUSE、REC CHECK、POWER OFF</p> </div>
<p>[STX] SPT:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = ghmmssff (CTL データを基準)</p> <p>g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時</p> <p>h = 0~9: 時</p> <p>mm = 00~59: 分</p> <p>ss = 00~59: 秒</p> <p>ff = 00~29: フレーム</p>	<p>[STX] SPT [ETX]</p>	<p>パラメータで指定された位置まで再生します。 再生終了後は、本機が STILL モードになります。 指定された位置が、現在の位置よりも以前の場合は、再生せずに STILL モードになります。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、本機からエラーコード ERI が返信されます。 本機のフロントパネル操作により、本機の動作モードが変更された場合は、本機からエラーコード ERF が返信されます。 動作中にテープの始端や終端になった場合は、本機からエラーコード ERP が返信されます。 基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。</p> <p><ノート> 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>EJECT、REC、REC PAUSE、REC CHECK、POWER OFF</p> </div>

■ 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] STS:data [ETX]</p> <p>パラメータ data = mmddhhtt:d mm = 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日 hh = 00 ~ 23: 時 tt = 00 ~ 59: 分 d = F: Forward 方向 N: Reverse 方向</p>	<p>[STX] STS [ETX]</p>	<p>パラメータで指定された日時を、パラメータで指定された方向に検索します。</p> <p>検索が終了すると、STILLモードになります。</p> <p>指定された位置が、不正規な位置 (目標位置がない) の場合は、本機からエラーコードERTが返信されSTOPモードになります。</p> <p>動作中にOSP (STOP) コマンドやOEJ (テープEJECT) コマンドが指示された場合は、本機からエラーコードERIが返信されます。</p> <p>本機のフロントパネル操作により、本機の動作モードが変更された場合は、本機からエラーコードERFが返信されません。</p> <p>動作中にテープの始端や終端になった場合は、本機からエラーコードERPが返信されます。</p> <p>基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、本機からエラーコードEREが返信されます。</p> <p><ノート> 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> EJECT、REC、REC PAUSE、REC CHECK、POWER OFF </div>

■ タイマー (Timer) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] TAT:data [ETX] パラメータ data = mm:n mm = 00 ~ 23: 合わせる時の位 FF: 分の位を00にする る n = S (固定)	[STX] TAT [ETX]	後面のターミナル部の「時刻合わせ入力」に接続された機器から、信号が入力されたときに合わせる時刻を設定します。
[STX] TCS:data [ETX] パラメータ data = yyyyymmdd yyyy = 2000 ~ 2099: 西暦 mm = 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日	[STX] TCS [ETX]	現在の日付を設定します。 閏年や月に対してあり得ない日を設定した場合は、本機からエラーコードEREが返信されます。
[STX] TTS:data [ETX] パラメータ data = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 (24時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒	[STX] TTS [ETX]	現在の時刻を設定します。

RS-232C

■ビデオ (Video) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] VMD:m [ETX] パラメータ m = A: AUTO 入力信号に応じて自動的に切り替えます。 B: B/W 強制的にモノクロにします。	[STX] VMD [ETX]	映像出力信号のカラーを設定します。
[STX] VNR:m [ETX] パラメータ m = C: CAMERA カメラからの映像 B: BLUE BACK ブルーバック信号	[STX] VNR [ETX]	記録モード以外のときに、モニター画面へ出力される映像 (カメラからの映像とブルーバック信号) を設定します。
[STX] VVC [ETX]	[STX] VVC [ETX]	各カメラ入力端子 ①～④の映像信号入力の有無を、各カメラを順に切り替えて検出していきます。 電源スイッチがOFFのときは、検出できません。 検出結果は、QVC コマンドで確認します。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LAD:m [ETX] パラメータ m = 0: 30秒 1: 1分 2: 1分30秒 3: 2分 4: 3分 5: 6分 6: 10分 7: CONTINUE テープの終端まで 8: MANUAL アラームが入力されている間	[STX] LAD [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行う時間を設定します。
[STX] LAI:m [ETX] パラメータ m = S: STOP テープ終端位置で、停止状態 C: CONTINUE アラーム入力を無視	[STX] LAI [ETX]	テープ終端位置でアラームが入力されたときの、動作モードを設定します。
[STX] LAR [ETX]	[STX] LAR [ETX]	ALARM RECALL データを消去します。
[STX] LBM:m [ETX] パラメータ m = N: ON ブラックバースト信号を出力する F: OFF ブラックバースト信号を出力しない	[STX] LBM [ETX]	映像信号出力端子から出力される映像信号が切り替わる時の、ブラックバースト信号の処理を設定します。
[STX] LBP:m [ETX] パラメータ m = *: 全てのカメラの映像信号を出力する 0: カメラ1 1: カメラ2 2: カメラ3 3: カメラ4 4: カメラ5 5: カメラ6 6: カメラ7 7: カメラ8 8: カメラ9 9: カメラ10 A: カメラ11 B: カメラ12 C: カメラ13 D: カメラ14 E: カメラ15 F: カメラ16	[STX] LBP [ETX]	パラメータで指定されたカメラの映像信号を、映像出力端子から出力しないようにします。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LBR:m [ETX] パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF	[STX] LBR [ETX]	REC REVIEW を行って、適正なビデオレベルが確保されていなかった場合にブザーを鳴らす設定を行います。
[STX] LBZ:m [ETX] パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF	[STX] LBZ [ETX]	アラーム録画中やセンサー録画中にブザーを鳴らす設定を行います。
[STX] LCT:m [ETX] パラメータ m = 0: 1 秒 1: 1.5 秒 2: 2 秒 3: 2.5 秒 4: 3 秒 5: 4 秒 6: 5 秒 7: 10 秒	[STX] LCT [ETX]	後面の映像出力端子から出力される、カメラからの映像信号を切り替えるタイミングの設定を行います。
[STX] LDA:m [ETX] パラメータ m = C: CONTINUE 制御信号を、録画後も出力し続ける A: ALARM REC 制御信号を、アラーム録画 中やセンサー録画のみ出力する	[STX] LDA [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行ったときに、後面のターミナル部の「アラーム出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を行います。
[STX] LDF:m [ETX] パラメータ m = I: フィールド記録 R: フレーム記録	[STX] LDF [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行うときに、フィールド記録かフレーム記録かを選択します。
[STX] LDM:m [ETX] パラメータ m = F: OFF アラーム入力を無視 M: ALARM/SENSOR アラーム録画やセンサー録画を行う A: ALARM アラーム録画を行う S: SENSOR センサー録画を行う	[STX] LDM [ETX]	アラームが入力された場合の記録を設定します。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LDO:data1:data2 [ETX] パラメータ data1 = hhmm (開始時刻) data2 = hhmm (終了時刻) hh = 00 ~ 23: 時 (24時間モード) mm = 00 ~ 59: 分	[STX] LDO [ETX]	後面のターミナル部の「外部タイマー出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する開始時刻 (START) と終了時刻 (END) を設定します。 <ノート> 開始時刻 (START) と終了時刻 (END) が同じ時刻に設定された場合、制御信号は出力されません。
[STX] LDP:m [ETX] パラメータ m = H: HIGH 高画質で記録する N: NORMAL 標準画質で記録する F: NO CHANGE 現在設定されている画質で記録する	[STX] LDP [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行うときの、画質を設定します。
[STX] LDS:m [ETX] パラメータ m = l: フィールド再生 R: フレーム再生	[STX] LDS [ETX]	スチル再生を行うときに、フィールド再生かフレーム再生かを選択します。
[STX] LDT:m:n [ETX] パラメータ m = 0 ~ 7: アラーム入力 1 の記録タイプ n = 0 ~ 7: アラーム入力 2 の記録タイプ	[STX] LDT [ETX]	アラーム入力 1/2 にアラームが入力された場合の記録タイプを設定します。
[STX] LDW:m [ETX] パラメータ m = W: WARNING 制御信号を、出力し続ける R: REC 制御信号を、録画中のみ出力する	[STX] LDW [ETX]	本機に異常が発生したときに、後面のターミナル部の「オートオフ/録画出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を行います。
[STX] LDX:m [ETX] パラメータ m = V: VIDEO OUT 映像信号出力端子 E: EXT SW IN 外部シーケンシャルスイッチャー信号入力端子	[STX] LDX [ETX]	後面のスイッチャー入力/映像出力端子の機能を切り替えます。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] LFS:nn:mmdd:p [ETX]</p> <p>パラメータ</p> <p>nn = 00: フリーセットタイマーを設定しない 01~12: フリーセットタイマー番号</p> <p>mm = 01~12: 月</p> <p>dd = 01~31: 日</p> <p>p = 0: 日曜日 1: 月曜日 2: 火曜日 3: 水曜日 4: 木曜日 5: 金曜日 6: 土曜日 F: 終日 POWER OFF モード</p>	[STX] LFS [ETX]	フリーセットタイマーの設定を行います。 月に対してあり得ない日を設定した場合は、本機からエラーコード ERT が返信されます。
<p>[STX] LIP:n:data1:data2:t [ETX]</p> <p>パラメータ</p> <p>n = 1~8: プログラム登録番号 (PGM1~PGM8)</p> <p>data1 = hhmm (開始時刻)</p> <p>data2 = hhmm (終了時刻)</p> <p>hh = 00~23: 時 (24時間モード)</p> <p>mm = 00~59: 分</p> <p>t = 0~6: 記録タイプ (RT0~RT6)</p>	[STX] LIP [ETX]	本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録開始時刻と記録終了時刻、記録タイプの、3項目を組み合わせ、プログラムを登録しておきます。
<p>[STX] LIW:abcdefgh:ijklmnop [ETX]</p> <p>パラメータ</p> <p>a~p = 1~8: プログラム登録番号 (PGM1~PGM8)</p> <p>F: タイマーを設定しない</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>a = 日曜日のプログラム 1 b = 月曜日のプログラム 1 c = 火曜日のプログラム 1 d = 水曜日のプログラム 1 e = 木曜日のプログラム 1 f = 金曜日のプログラム 1 g = 土曜日のプログラム 1 h = デイリープログラム 1 i = 日曜日のプログラム 2 j = 月曜日のプログラム 2 k = 火曜日のプログラム 2 l = 水曜日のプログラム 2 m = 木曜日のプログラム 2 n = 金曜日のプログラム 2 o = 土曜日のプログラム 2 p = デイリープログラム 2</p> </div>	[STX] LIW [ETX]	ウィークリータイマーとデイリータイマーを設定します。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LLL:m [ETX] パラメータ m = N: 電源同期方式 F: 内部同期方式および、外部同期方式	[STX] LLL [ETX]	接続するカメラの同期方式を設定します。 <ノート> ● 内部同期方式のカメラを使用されることをおすすめします。 ● 1台でも電源同期方式のカメラを使用されている場合は、ONに設定してください。
[STX] LMA:m [ETX] パラメータ m = F: 検索モード OFF M: メモリーストップモード A: アラーム検索モード	[STX] LMA [ETX]	検索モードを切り替えます。
[STX] LMP:p:n [ETX] パラメータ p = S: 1画面表示 0: 4画面表示、 選択画面 No. 0 1: 4画面表示、 選択画面 No. 1 2: 4画面表示、 選択画面 No. 2 3: 4画面表示、 選択画面 No. 3 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 2px;">0</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 2px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 2px;">2</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 2px;">3</div> </div> n = -: カメラ No. を変更しない 0~F: カメラ No. 1 ~ 16 パラメータ p で選択した画面 No. に指定するカメラ No.	[STX] LMP [ETX]	画面の切り替え (4画面と1画面) とカメラ番号を設定します。
[STX] LNR:f:p:t [ETX] パラメータ f = I: フィールド記録 R: フレーム記録 p = H: HIGH 高画質で記録する N: NORMAL 標準画質で記録する t = 0~7: 記録タイプ (RTO~7)	[STX] LNR [ETX]	記録モードと画質、記録タイプを設定します。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LRB:m [ETX] パラメータ m = F: プザー OFF 0: 5分間 1: 10分間 2: 20分間 3: 30分間	[STX] LRB [ETX]	パラメータで指定された時間、停止状態が続いた場合に、プザーで警告する設定を行います。
[STX] LRI:m [ETX] パラメータ m = A: アラーム入力を受け付ける F: アラーム入力を無視	[STX] LRI [ETX]	リピート録画時、テープを巻き戻しているときに、アラームが入力された場合のアラーム録画やセンサー録画を設定します。
[STX] LRM:m [ETX] パラメータ m = E: 外部タイマー録画 I: 内部タイマー録画 N: 通常録画	[STX] LRM [ETX]	タイマー録画モードを設定します。
[STX] LRR:m [ETX] パラメータ m = N: 自動的に REC REVIEW を行う F: REC REVIEW OFF	[STX] LRR [ETX]	REC REVIEW を設定します。 記録時に、適正なビデオレベルが確保されているかを検出するために、一定時間記録を行った後に、その部分を再生します。
[STX] LSQ:m:t [ETX] パラメータ m = 0~F: カメラ No. 1 ~ 16 t = A: オートシーケンスモード M: マニュアルシーケンスモード	[STX] LSQ [ETX]	カメラ番号の選択とシーケンスモードを設定します。
[STX] LTM:m [ETX] パラメータ m = 0: 3時間記録 1: 9時間記録 2: 12時間記録 3: 18時間記録 4: 24時間記録 5: 48時間記録 6: 72時間記録 7: 96時間記録 8: 120時間記録 9: 180時間記録 A: 240時間記録 B: 360時間記録 C: 480時間記録 D: 960時間記録	[STX] LTM [ETX]	記録時間モードを設定します。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] LTY:n:t:abcdefgh [ETX]</p> <p>パラメータ</p> <p>n = 1~6: 記録タイプ (RT1~6)</p> <p>t = 0: 3時間記録 1: 9時間記録 2: 12時間記録 3: 18時間記録 4: 24時間記録 5: 48時間記録 6: 72時間記録 7: 96時間記録 8: 120時間記録 9: 180時間記録 A: 240時間記録 B: 360時間記録 C: 480時間記録 D: 960時間記録 F: OFF (時間モードボタンの設定に従う)</p> <p>a = YまたはN: カメラNo. 1/2の設定</p> <p>b = YまたはN: カメラNo. 3/4の設定</p> <p>c = YまたはN: カメラNo. 5/6の設定</p> <p>d = YまたはN: カメラNo. 7/8の設定</p> <p>e = YまたはN: カメラNo. 9/10の設定</p> <p>f = YまたはN: カメラNo. 11/12の設定</p> <p>a = YまたはN: カメラNo. 13/14の設定</p> <p>h = YまたはN: カメラNo. 15/16の設定</p> <p>Y: 使用する N: 使用しない</p>	[STX] LTY [ETX]	記録時間モードとカメラ台数の組み合わせを設定します。
<p>[STX] LUI:data [ETX]</p> <p>パラメータ</p> <p>data = U7U6U5U4U3U2U1U0</p> <p>書き込むユーザーIDをASCIIコードで設定します。</p> <p>Binary 4BIT×8</p> <p>↓</p> <p>ASCII code: 0~9, A~F</p>	[STX] LUI [ETX]	<p>ユーザーID (8文字まで) を設定します。</p> <p>ユーザーIDを設定することにより、記録するテープにユーザーIDが記録されます。</p> <p><ノート></p> <p>使用する文字は16種類です。</p> <p>0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、A、B、C、D、E、F</p>
<p>[STX] LWB:m [ETX]</p> <p>パラメータ</p> <p>m = N: ブザー ON F: ブザー OFF</p>	[STX] LWB [ETX]	本機に異常が発生し、自動的に電源がOFFになるときにブザーを鳴らす設定を行います。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LWR [ETX]	[STX] LWR [ETX]	POWER LOSS MEMORY データを消去します。
[STX] LXT:m [ETX] パラメータ m = N: 信号を受け付ける F: 信号を受け付けない	[STX] LXT [ETX]	外部タイマー録画モードときに、後面のターミナル部に接続された外部タイマーからの信号を受け付ける設定を行います。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QAL [ETX]	[STX] ALV0 [ETX]	アドレスレベルを問い合わせます。 MIS規格のアドレスレベル0のみに対応します。
<p>[STX] QAM:m [ETX]</p> <p>パラメータ m = M: MODE アラームが入力された場合の記録モードを問い合わせる</p> <p>F: FIELD/FRAME アラーム録画やセンサー録画を行うときの記録モードを問い合わせる</p> <p>P: PICTURE QUALITY アラーム録画やセンサー録画を行うときの画質設定を問い合わせる</p> <p>T: ALARM 1/2 REC-TYPE アラーム入力1/2にアラームが入力された場合の記録タイプ問い合わせる</p>	<p>[STX] LDmdata [ETX]</p> <p>パラメータ m = M: MODE</p> <div data-bbox="596 439 927 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>data = F: OFF アラーム入力を無視 M: ALARM/SENSOR アラーム録画やセンサー録画を行う A: ALARM アラーム録画を行う S: SENSOR センサー録画を行う</p> </div> <p>m = F: FIELD/FRAME</p> <div data-bbox="596 797 927 887" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>data = I: フィールド記録 R: フレーム記録</p> </div> <p>m = P: PICTURE QUALITY</p> <div data-bbox="596 943 927 1178" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>data = H: HIGH 高画質で記録する N: NORMAL 標準画質で記録する F: NO CHANGE 現在設定されている画質で記録する</p> </div> <p>m = T: ALARM 1/2 REC-TYPE</p> <div data-bbox="596 1234 927 1379" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>data =m:n m = 0~7: アラーム入力1の記録タイプ n = 0~7: アラーム入力2の記録タイプ</p> </div>	アラーム録画とセンサー録画の設定を問い合わせます。
[STX] QBm [ETX]	<p>[STX] LBMm [ETX]</p> <p>パラメータ m = N: ON ブラックバースト信号を出力する F: OFF ブラックバースト信号を出力しない</p>	映像信号出力端子から出力される映像信号が切り替わるときの、ブラックバースト信号の処理を問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QBP [ETX]	[STX] LBPm [ETX] パラメータ m = *: 全てのカメラの映像信号を出力する 0: カメラ 1 1: カメラ 2 2: カメラ 3 3: カメラ 4 4: カメラ 5 5: カメラ 6 6: カメラ 7 7: カメラ 8 8: カメラ 9 9: カメラ 10 A: カメラ 11 B: カメラ 12 C: カメラ 13 D: カメラ 14 E: カメラ 15 F: カメラ 16	映像信号を映像出力端子から出力しないカメラを問い合わせます。
[STX] QBR [ETX]	[STX] LBRm [ETX] パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF	REC REVIEW を行って、適正なビデオレベルが確保されていなかった場合にブザーを鳴らす設定を問い合わせます。
[STX] QCC [ETX]	[STX] CCPdata [ETX] パラメータ data = ghmmssff g = ブランク: プラス時 -符号: マイナス時 h = 0~9: 時 (12時間モード) mm = 00~59: 分 ss = 00~59: 秒	現在の CTL カウンターデータ (秒単位) を問い合わせます。
[STX] QCD [ETX]	[STX] CDdata [ETX] パラメータ data = fwghmmssff f = F: Fine C: Coarse w = S: Search STILL P: Search PLAY g = ブランク: プラス時 -符号: マイナス時 h = 0~9: 時 (12時間モード) mm = 00~59: 分 ss = 00~59: 秒 ff = 00 (固定): フレーム	現在の CTL カウンターデータを問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QDA [ETX]	[STX] LDAm [ETX] パラメータ m = C: CONTINUE 制御信号を、録画後も出力し続ける A: ALARM REC 制御信号を、アラーム録画中やセンサー録画中のみ出力する	アラーム録画やセンサー録画を行ったときに、後面のターミナル部の「アラーム出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を問い合わせます。
[STX] QDB [ETX]	[STX] DBm [ETX] パラメータ m = B: BLACK (黒) W: WHITE (白)	モニター画面に表示される、文字の表示色を問い合わせます。
[STX] QDD [ETX]	[STX] DDSd:t:m:r [ETX] パラメータ d = NまたはF (日付) t = NまたはF (時間) m = NまたはF (記録時間モード) r = NまたはF (REC/ALARM) N: ON (表示) F: OFF (非表示)	モニター画面への表示項目を問い合わせます。
[STX] QDF [ETX]	[STX] DFCm [ETX] パラメータ m = C: (COUNT) カウンター表示 I: (TIME) 時計表示 M: (CAMERA) カメラ番号表示 P: (PASS) パス表示	表示管の表示モードを問い合わせます。
[STX] QDM [ETX]	[STX] DMSt:m:n [ETX] パラメータ d = T (固定) m = M: AM/PM 表示 H: 24 時間表示 n = 0~9: VTR 識別 No. 本機では、VTR 識別 No. を表示する機能がありませんので、0~9 何れかの番号 (不定) を返信します。	時間表示モード (12 時間/24 時間) を問い合わせます。
[STX] QDO [ETX]	[STX] LDOdata1:data2 [ETX] パラメータ data1 = hhmm (開始時刻) data2 = hhmm (終了時刻) hh = 00~23: 時 (24 時間モード) mm = 00~59: 分	後面のターミナル部の「外部タイマー出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する開始時刻 (START) と終了時刻 (END) を問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QDP [ETX]	[STX] DPPmm [ETX] パラメータ mm = C: 中央 LB: 左下 LT: 左上 RB: 右下 RT: 右上	モニター画面に表示される、文字の表示位置を問い合わせます。
[STX] QDS [ETX]	[STX] LDSm [ETX] パラメータ m = l: フィールド再生 R: フレーム再生	スチル再生を行うときに、フィールド再生かフレーム再生かを問い合わせます。
[STX] QDW [ETX]	[STX] LDWm [ETX] パラメータ m = W: WARNING 制御信号を、出力し続ける R: REC 制御信号を、録画中のみ出力する	本機に異常が発生したときに、後面のターミナル部の「オートオフ/録画出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を問い合わせます。
[STX] QDX [ETX]	[STX] LDXm [ETX] パラメータ m = V: VIDEO OUT 映像信号出力端子 E: EXT SW IN 外部シーケンシャルスイッチャー信号入力端子	後面のスイッチャー入力/映像出力端子の機能を問い合わせます。
[STX] QFS:nn [ETX] パラメータ nn = 01~12: フリーセットタイマー番号	[STX] LFSnn:mmdd:p [ETX] パラメータ nn = 00: フリーセットタイマーを設定しない 01~12: フリーセットタイマー番号 mm = 01~12: 月 dd = 01~31: 日 p = 0: 日曜日 1: 月曜日 2: 火曜日 3: 水曜日 4: 木曜日 5: 金曜日 6: 土曜日 F: 終日 POWER OFF モード	フリーセットタイマーの設定を問い合わせます。
[STX] QHI [ETX]	[STX] HTIm [ETX] パラメータ m = A: REWIND → REC R: REC S: STOP	テープが挿入されたときの本機動作モードを問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QHJ [ETX]	[STX] HEm [ETX] パラメータ m = E: EJECT A: REWIND → EJECT	EJECT ボタンを押したときの動作設定を問い合わせます。
[STX] QHL [ETX]	[STX] HRLm [ETX] パラメータ m = F: 記録可能 N: 記録禁止	記録中における操作のロックモードを問い合わせます。
[STX] QHR:H [ETX]	[STX] HTRdata [ETX] パラメータ data = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 固定: 秒	テープ残量を問い合わせます。 未確定時やテープが EJECT されている場合は、data = FFFFFFFF が返信されます。 <ノート> 120分テープを使用して3時間記録モードに設定された場合に有効です。
[STX] QHR:H [ETX]	[STX] HTRdata [ETX] パラメータ data = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 固定: 秒	テープ残量を問い合わせます。 未確定時やテープが EJECT されている場合は、data = FFFFFFFF が返信されます。 <ノート> 120分テープを使用して3時間記録モードに設定された場合に有効です。
[STX] QHT [ETX]	[STX] HREm [ETX] パラメータ m = B: BUZZER E: EJECT P: REPRAT R: REWIND S: STOP	記録中にテープ終端位置になったときの、本機動作モードを問い合わせます。
[STX] QIC [ETX]	[STX] 1 [ETX]	製品分野別コードを問い合わせます。 本機はテープ機器の「1」を返信します。
[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX] パラメータ data = AG-DTL1T	機器のIDコードを問い合わせます。
[STX] QIP:n [ETX] パラメータ n = 1 ~ 8: プログラム登録番号 (PGM1 ~ PGM8)	[STX] LIPn:data1:data2:t [ETX] パラメータ n = 1 ~ 8: プログラム登録番号 (PGM1 ~ PGM8) data1 = hhmm (開始時刻) data2 = hhmm (終了時刻) hh = 00 ~ 23: 時 (24時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 t = 0 ~ 6: 記録タイプ (RT0 ~ RT6)	本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録開始時刻と記録終了時刻、記録タイプの、3項目を組み合わせたプログラムを問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] QIR [ETX]</p>	<p>[STX] LUI mdata [ETX]</p> <p>パラメータ m = R: READ OK E: READ NG</p> <p>data = U7U6U5U4U7U3U2U1U0 ユーザーIDをASCIIコード8文字で返信します。 Binary 4BIT×8 ↓ ASCII code: 0~9, A~F</p>	<p>再生テープに記録されているユーザーIDを問い合わせます。</p>
<p>[STX] QIW [ETX]</p>	<p>[STX] LIW abcdefgh:ijklmnop [ETX]</p> <p>パラメータ a~p = 1~8: プログラム登録番号 (PGM1~PGM8) F: タイマーを設定しない</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>a = 日曜日のプログラム 1 b = 月曜日のプログラム 1 c = 火曜日のプログラム 1 d = 水曜日のプログラム 1 e = 木曜日のプログラム 1 f = 金曜日のプログラム 1 g = 土曜日のプログラム 1 h = デイリープログラム 1 i = 日曜日のプログラム 2 j = 月曜日のプログラム 2 k = 火曜日のプログラム 2 l = 水曜日のプログラム 2 m = 木曜日のプログラム 2 n = 金曜日のプログラム 2 o = 土曜日のプログラム 2 p = デイリープログラム 2</p> </div>	<p>ウィークリータイマーとデイリータイマーの設定を問い合わせます。</p>
<p>[STX] QLA:m [ETX]</p> <p>パラメータ m = I: 動作モード D: 時間設定</p>	<p>[STX] LAmn [ETX]</p> <p>パラメータ m = I: 動作モード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>n = S: STOP テープ終端位置で、停止状態 C: CONTINUE アラーム入力を無視</p> </div> <p>m = D: 時間設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>n = 0: 30秒 1: 1分 2: 1分30秒 3: 2分 4: 3分 5: 6分 6: 10分 7: CONTINUE テープの終端まで 8: MANUAL アラームが入力されている間</p> </div>	<p>テープ終端位置でアラームが入力されたときの動作モードと、アラーム録画やセンサー録画を行う時間を問い合わせます。</p>

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QLC [ETX]	[STX] LCTm [ETX] パラメータ m = 0: 1秒 1: 1.5秒 2: 2秒 3: 2.5秒 4: 3秒 5: 4秒 6: 5秒 7: 10秒	映像出力端子から出力される、カメラからの映像信号を切り替えるタイミングを問い合わせます。
[STX] QLD:n [ETX] パラメータ n = 0~7 0を最新のデータとして、過去8回までをパラメータで指定します。	[STX] LANnn:data1:data2 [ETX] パラメータ nn = 00~99: アラーム番号 data1 = yyyyymmdd yyyy = 2000~2099: 西暦 mm = 01~12: 月 dd = 01~31: 日 data2 = hhmmss hh = 00~23: 時 (24時間モード) mm = 00~59: 分 ss = 00~59: 秒	ALARM RECALL データを問い合わせます。
[STX] QLE [ETX]	[STX] LRIm [ETX] パラメータ m = A: アラーム入力を受け付ける F: アラーム入力を無視	リピート録画時、テープを巻き戻しているときに、アラームが入力された場合のアラーム録画やセンサー録画の設定を問い合わせます。
[STX] QLH [ETX]	[STX] LHRhhhh [ETX] パラメータ hhhh = 0000~9999 ドラムの回転積算時間を4桁で返信します。	アワーメーターの現在値を問い合わせます。
[STX] QLM [ETX]	[STX] LRMm [ETX] パラメータ m = E: 外部タイマー録画 I: 内部タイマー録画 N: 通常録画	タイマー録画モードの設定を問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] QLP:n [ETX]</p> <p>パラメータ n = 0 ~ 3 0 を最新のデータとして、過去 4 回までをパラメータで指定します。</p>	<p>[STX] LPLnn:data1:data2 [ETX]</p> <p>パラメータ nn = 00 ~ 99: アラーム番号</p> <p>data1 = yyyymmdd yyyy = 2000 ~ 2099: 西暦 mm: 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日</p> <p>data2 = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 (24 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒</p>	<p>POWER LOSS MEMORY データを問い合わせます。</p>
<p>[STX] QLT [ETX]</p>	<p>[STX] LTMm [ETX]</p> <p>パラメータ t = 0: 3 時間記録 1: 9 時間記録 2: 12 時間記録 3: 18 時間記録 4: 24 時間記録 5: 48 時間記録 6: 72 時間記録 7: 96 時間記録 8: 120 時間記録 9: 180 時間記録 A: 240 時間記録 B: 360 時間記録 C: 480 時間記録 D: 960 時間記録</p>	<p>記録/再生時間モードの設定を問い合わせます。</p>
<p>[STX] QLZ [ETX]</p>	<p>[STX] LBZm [ETX]</p> <p>パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF</p>	<p>アラーム録画中やセンサー録画中のブザーの設定を問い合わせます。</p>
<p>[STX] QMA [ETX]</p>	<p>[STX] LMAm [ETX]</p> <p>パラメータ m = F: 検索モード OFF M: メモリーストップモード A: アラーム検索モード</p>	<p>検索モードを問い合わせます。</p>

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容				
[STX] QMP [ETX]	[STX] LMPp:c0c1c2c3 [ETX] パラメータ p = S: 1画面表示 0: 4画面表示、 選択画面 No. 0 1: 4画面表示、 選択画面 No. 1 2: 4画面表示、 選択画面 No. 2 3: 4画面表示、 選択画面 No. 3 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: 60px; margin: 10px auto;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">0</td> <td style="padding: 5px;">1</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2</td> <td style="padding: 5px;">3</td> </tr> </table> </div> c0 = 0 ~ F: 選択画面 No. 0 に指定する カメラ No. c1 = 0 ~ F: 選択画面 No. 1 に指定する カメラ No. c2 = 0 ~ F: 選択画面 No. 2 に指定する カメラ No. c3 = 0 ~ F: 選択画面 No. 3 に指定する カメラ No.	0	1	2	3	画面の切り替え (4画面と1画面) とカメラ番号の設定を問い合わせます。
0	1					
2	3					
[STX] QNL [ETX]	[STX] LLLm [ETX] パラメータ m = N: 電源同期方式 F: 内部同期方式および、外部同 期方式	接続するカメラの同期方式の設定を問い合わせます。				
[STX] QNR [ETX]	[STX] VNRm [ETX] パラメータ m = C: CAMERA カメラからの映像 B: BLUE BACK ブルーバック信号	記録モード以外のときに、モニター画面へ出力される映像の設定を問い合わせます。				

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QOP [ETX]	[STX] data [ETX] data = LIT: INTERNAL TIEMER RECORDING OSP: STOP OEJ: EJECT OFF: FAST FORWARD ORW:REWIND OSF: FORWARD SEARCH OSR: REVERSE SEARCH OPL: FORWARD PLAY OPP: PLAY PAUSE OPR: REVERSE PLAY ORC: REC ORP: REC PAUSE ORR: REC REVIEW POF: POWER OFF SAS: ALARM RECALL PLAY SCS: COUNTER SEARCH (STILL) SCP: COUNTER SEARCH (PLAY) SPT: PLAY to	本機の動作モードを問い合わせます。 現在の本機の状態を検出し、ステータスコマンドを返信します。
[STX] QOR [ETX]	[STX] ORm [ETX] パラメータ m = O: REC REVIEW OK N: REC REVIEW NG	REC REVIEWを行った結果を問い合わせます。
[STX] QOR [ETX]	[STX] ORm [ETX] パラメータ m = O: REC REVIEW OK N: REC REVIEW NG	REC REVIEWを行った結果を問い合わせます。
[STX] QOS [ETX]	[STX] OPSdata [ETX] data = AD0AD1AD2AD3AD4 <ノート> AD*の詳細は、ビットマップ一覧 (A) を参照してください。	各種動作モードを問い合わせます。 現在の本機の状態を検出し、ビットマップの情報で送信します。本機は、ビットマップの情報をASCIIコードに変換して返信します。

● ビットマップ一覧 (A)

ADDRESS	BIT7	BIT6	BIT5	BIT4	BIT3	BIT2	BIT1	BIT0
AD 0	0	0	0	0	0	0	0	0
AD 1	0	0	0	0	0	0	0	0
AD 2	REC INHIBIT TAB	CASSETTE IN/OUT	0	VTR STATUS				
AD 3	0	0	0	0	0	0	0	0
AD 4	0	0	0	0	0	0	0	0

VTR STATUS DATA

BIT4 ~ BIT0	VTR STATUS	BIT4 ~ BIT0	VTR STATUS
0, 1, 1, 1, 1	FORWARD SEARCH (7 倍速)	0, 0, 1, 1, 1	PLAY PAUSE
0, 1, 1, 1, 0	REVERSE SEARCH (7 倍速)	0, 0, 1, 1, 0	PLAY
0, 1, 1, 0, 1	FORWARD SEARCH (4 倍速)	0, 0, 1, 0, 1	FORWARD SEARCH (1 倍速)
0, 1, 1, 0, 0	REVERSE SEARCH (4 倍速)	0, 0, 1, 0, 0	POWER OFF
0, 1, 0, 1, 1	REVERSE SEARCH (1 倍速)	0, 0, 0, 1, 1	FAST FORWARD
0, 1, 0, 1, 0	REC REVIEW	0, 0, 0, 1, 0	REWIND
0, 1, 0, 0, 1	REC PAUSE	0, 0, 0, 0, 1	EJECT
0, 1, 0, 0, 0	RECORDING	0, 0, 0, 0, 0	STOP

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	コマンドの内容	
<p>[STX] QPB:m [ETX]</p> <p>パラメータ</p> <ul style="list-style-type: none"> m = D: 日付情報 T: 時間情報 C: カメラ接続情報 R: 記録時間モード情報 A: アラーム番号情報 O: モニター画面表示情報 	<p>再生テープの情報を問い合わせます。</p>	
<p>本機から応答してくる返信データ</p>		
<p>[STX] LPBm:r:data [ETX]</p>		
<p>パラメータ</p> <p>m = D: 日付情報</p> <p>r = O: READ OK N: READ NG</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>data = yyyyymmdd yyyy = 2000 ~ 2099: 西暦 mm = 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日</p> </div> <p>m = T: 時間情報</p> <p>r = O: READ OK N: READ NG</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>data = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒</p> </div> <p>m = C: カメラ接続情報</p> <p>r = O: READ OK N: READ NG</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>data = c13-16c9-12c5-8c1-4 c13-16 = 1 ~ F: カメラNo. 13 ~ 16 の接続情報 c9-12 = 1 ~ F: カメラNo. 9 ~ 12の 接続情報 c5-8 = 1 ~ F: カメラNo. 5 ~ 8の接 続情報 c1-4 = 1 ~ F: カメラNo. 1 ~ 4の接 続情報</p> <p><ノート> C: の詳細は、カメラ接続情報 一覧を参照してください。</p> </div>	<p>m = R: 記録時間モード情報</p> <p>r = O: READ OK N: READ NG</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>data = t t = 0: 3 時間記録 1: 9 時間記録 2: 12 時間記録 3: 18 時間記録 4: 24 時間記録 5: 48 時間記録 6: 72 時間記録 7: 96 時間記録 8: 120 時間記録 9: 180 時間記録 A: 240 時間記録 B: 360 時間記録 C: 480 時間記録 D: 960 時間記録</p> </div> <p>m = A: アラーム番号情報</p> <p>r = O: READ OK N: READ NG</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>data = nn nn = 00 ~ 99: アラーム番号 FF: アラームデータ無し</p> </div>	<p>m = O: モニター画面表示情報</p> <p>r = O: READ OK N: READ NG</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>data = xx:yy:d1d2 xx = 00 ~ 22: 先頭文字の位置 (横方向) モニター画面を横方向に 22 分 割した左からの位置</p> <p>yy = 00 ~ 14: 先頭文字の位置 (縦方向) モニター画面を縦方向に 14 分 割した上からの位置</p> <p>d1d2 = 00 ~ FF: モニター画面表示の ON/OFF</p> <p><ノート> d1d2の詳細は、モニター画面表 示情報一覧を参照してくださ い。</p> </div>

● カメラ接続情報一覧

返信コマンド	カメラNo. と接続 ON (O) /OFF (X)			
	No. 1 (5, 9, 13)	No. 2 (6, 10, 14)	No. 3 (7, 11, 15)	No. 4 (8, 12, 16)
1	O	X	X	X
2	X	O	X	X
3	O	O	X	X
4	X	X	O	X
5	O	X	O	X
6	X	O	O	X
7	O	O	O	X
8	X	X	X	O
9	O	X	X	O
A	X	O	X	O
B	O	O	X	O
C	X	X	O	O
D	O	X	O	O
E	X	O	O	O
F	O	O	O	O

● モニター画面表示情報一覧

返信 コマンド (d1)	モニター画面表示情報 ON (O) /OFF (X)			
	カメラNo.	時間	日付	アラーム 番号
0	X	X	X	X
1	O	X	X	X
2	X	O	X	X
3	O	O	X	X
4	X	X	O	X
5	O	X	O	X
6	X	O	O	X
7	O	O	O	X
8	X	X	X	O
9	O	X	X	O
A	X	O	X	O
B	O	O	X	O
C	X	X	O	O
D	O	X	O	O
E	X	O	O	O
F	O	O	O	O

返信 コマンド (d2)	モニター画面表示情報 ON (O) /OFF (X)			
	記録時間 モード	24/12時間 表示	—	—
0	X	X	X	X
1	O	X	X	X
2	X	O	X	X
3	O	O	X	X
4	X	X	O	X
5	O	X	O	X
6	X	O	O	X
7	O	O	O	X
8	X	X	X	O
9	O	X	X	O
A	X	O	X	O
B	O	O	X	O
C	X	X	O	O
D	O	X	O	O
E	X	O	O	O
F	O	O	O	O

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QPL [ETX]	[STX] PAm [ETX] m = L: 電源スイッチと連動させる U: 常に電源を供給する	電源出力端子からの電源供給設定を問い合わせます。
[STX] QRA [ETX]	[STX] RAm [ETX] m = N: ACK ON F: ACK OFF	ACK (Acknowledge) コードの応答設定を問い合わせます。
[STX] QRB [ETX]	[STX] LRBm [ETX] パラメータ m = F: ブザー OFF 0: 5分間 1: 10分間 2: 20分間 3: 30分間	停止状態が長く続いた場合に、ブザーで警告する設定を問い合わせます。
[STX] QRN [ETX]	[STX] LNRf:p:t [ETX] パラメータ f = I: フィールド記録 R: フレーム記録 p = H: HIGH 高画質で記録する N: NORMAL 標準画質で記録する t = 0~7: 記録タイプ (RTO~7)	記録モード、画質、記録タイプの設定を問い合わせます。
[STX] QRR [ETX]	[STX] LRRm [ETX] パラメータ m = N: 自動的に REC REVIEW を行う F: REC REVIEW OFF	REC REVIEW の設定を問い合わせます。
[STX] QRS [ETX]	[STX] RSEm [ETX] パラメータ m = 0: ノーマル 1: 完了時コマンド無し 2: 完了時/エラー時コマンド無し	サーチエンドモードの設定を問い合わせます。
[STX] QRV:m [ETX] パラメータ m = D: DIGITAL VIDEO マイコンの ROM バージョン S: SERVO SYSCON マイコンのバージョン I: INTERFACE の ROM バージョン パラメータなし: INTERFACE の ROM バージョン	[STX] VERdata [ETX] パラメータ data = d1d2.d3d4-d5d6-d7.d8d9 d1~d9: ソフトウェアのバージョン	各マイコンに使用されているソフトウェアのバージョンを問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QSQ [ETX]	[STX] LSQm:t [ETX] パラメータ m = 0~F: カメラNo. 1~16 t = A: オートシーケンスモード M: マニュアルシーケンスモード	カメラ番号の選択とシーケンスモードを問い合わせます。
[STX] QTA [ETX]	[STX] TATmm:S [ETX] パラメータ data = mm:n mm = 00~23: 合わせる時の位 FF: 分の位を00にする n = S (固定)	後面のターミナル部の「時刻合わせ入力」に接続された機器から、信号が入力されたときに合わせる時刻の設定を問い合わせます。
[STX] QTC [ETX]	[STX] TTSdata [ETX] パラメータ data = hhmmss hh = 00~23: 時 (24時間モード) mm = 00~59: 分 ss = 00~59: 秒	現在の時刻設定を問い合わせます。
[STX] QTL [ETX]	[STX] TCSdata [ETX] パラメータ data = yyyyymmdd yyyy = 2000~2099: 西暦 mm = 01~12: 月 dd = 01~31: 日	現在の日付設定を問い合わせます。
[STX] QTR [ETX]	[STX] HTRm:b [ETX] パラメータ m = 0: 2%の残量 1: 10%の残量 2: 20%の残量 3: 30%の残量 F: (OFF) 警告しない b = N: ブザーで警告する F: (OFF) ブザーで警告しない	表示管にREMAINを点滅させ警告表示するテープ残量と、テープ終端位置が間近にきたときに、ブザーを鳴らす設定を問い合わせます。(120分テープを使用時)

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
<p>[STX] QTY:n [ETX] パラメータ n = 1~6: 記録タイプ (RT1~6)</p>	<p>[STX] LTYn:t:abcdefgh [ETX] パラメータ n = 1~6: 記録タイプ (RT1~6) t = 0: 3時間記録 1: 9時間記録 2: 12時間記録 3: 18時間記録 4: 24時間記録 5: 48時間記録 6: 72時間記録 7: 96時間記録 8: 120時間記録 9: 180時間記録 A: 240時間記録 B: 360時間記録 C: 480時間記録 D: 960時間記録 F: OFF (時間モードボタンの設定に従う) a = YまたはN: カメラ No. 1/2の設定 b = YまたはN: カメラ No. 3/4の設定 c = YまたはN: カメラ No. 5/6の設定 d = YまたはN: カメラ No. 7/8の設定 e = YまたはN: カメラ No. 9/10の設定 f = YまたはN: カメラ No. 11/12の設定 a = YまたはN: カメラ No. 13/14の設定 h = YまたはN: カメラ No. 15/16の設定 Y: 使用する N: 使用しない</p>	<p>記録時間モードとカメラ台数の組み合わせの設定を問い合わせます。</p>

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QUI [ETX]	[STX] LUISdata [ETX] パラメータ data = U7U6U5U4U7U3U2U1U0 書き込むユーザーIDをASCIIコードで 設定します。 Binary 4BIT×8 ↓ ASCII code: 0~9, A~F	記録するユーザーIDの設定を問い合わせます。
[STX] QVC [ETX]	[STX] VVCm:data [ETX] パラメータ m = A: VCC コマンドによる検出処理 を実行中 S: VCC コマンドによる検出処理 を終了または、検出停止 data = C13-16C9-12C5-8C1-4 C13-16 = 1~F: カメラNo. 13~16の接続情報 C9-12 = 1~F: カメラNo. 9~12の接続情報 C5-8 = 1~F: カメラNo. 5~8の接続情報 C1-4 = 1~F: カメラNo. 1~4の接続情報 <ノート> C×の詳細は、カメラ接続情報一覧を 参照してください。	映像信号入力有無の検出結果を問い合わせます。 <ノート> 電源スイッチがOFFのときは、検出できずにエラーになります。 QVC コマンドを実行するまえに、VVC コマンドで検出処 理を行ってください。 VVC コマンド処理が終了していない場合、正しい結果が得 られません。
[STX] QVM [ETX]	[STX] VMDm [ETX] パラメータ m = A: AUTO 入力信号に応じて自動的に切 り替えます。 B: B/W モノクロ	映像出力信号のカラー設定を問い合わせます。
[STX] QWB [ETX]	[STX] LWBm [ETX] パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF	本機に異常が発生し、自動的に電源がOFFになるときにブ ザーを鳴らす設定を問い合わせます。
[STX] QXT [ETX]	[STX] LXTm [ETX] パラメータ m = N: 信号を受け付ける F: 信号を受け付けない	外部タイマー録画モードときに、後面のターミナル部に接 続された外部タイマーからの信号を受け付ける設定を問 い合わせます。

■ モード遷移表

返信 コマンド	VTR STATUS												
	STOP	FF	REW	PLAY	REV PLAY	STILL/ PAUSE	CUE	REVIE W	REC PAUSE	REC	REC CHECK	EJECT	POWER OFF
OPR	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
OPL	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	×	×	×
OSP	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
OPA	○	○	○	○	○	PLAY	○	○	REC	REC PAUSE	×	×	×
ORW	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
OAF	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
OAR	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
OEJ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×
ORR	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	—	×	×
ORC	○	○	○	○	○	REC PAUSE	○	○	○	—	○	×	×
PON	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
POF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
検索 コマンド	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×

<ノート>



- : 返信コマンドのモードに、動作が変化します。
 - ×
- × : エラーコード ERE を返信し、実行不可能になります。
- : 動作状態を維持します。

OPA コマンド: OPA コマンドは、現在の動作モードから別の動作モードになる場合があります。

検索コマンド: OPT、SCP、SCS、SMS、SPT、SRS、SUB

エラーメッセージ

本機に異常が発生した場合には、カウンター表示部に下記のエラーメッセージが表示されます。
 下記の対処を行ってもエラーが解除されない場合は、電源スイッチをOFFにし、電源コードを外してお買い上げの販売店にご相談ください。

エラー番号	内 容	対 処
— d —	結露が発生しています。 取出しボタンのみの操作が有効になります。 カセットテープが挿入されているときは、ローディング動作を行いません。 カセットテープが挿入されていないときは、シリンダーが回転します。	電源を入れた状態でエラーメッセージが消えるまでお待ちください。
E-2	カセットテープが正しく挿入されていないときや、取出しボタンを押した後2～5秒経過してもカセットが出てこないときに表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	再度電源を入れ直してください。
E-3	ローディング動作やアンローディング動作が、2～5秒経過しても完了しないときに表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	
E-4	シリンダーモーターの回転数が異常に低いときに表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	カセットテープの劣化が考えられます。 再度電源を入れ直して、カセットテープを交換してください。
E-5	リールモーターに、異常なトルクがかかっていること等を検出したときに表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	
E-6	テープ走行が不安定な場合に表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	
E-7	リール台を制御するソレノイドに異常がある場合に表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	再度電源を入れ直してください。
 点減	録画チェック後、適正なビデオレベルが得られなかった場合に  が点減します。	ヘッドの汚れやカセットテープの劣化が考えられます。 ヘッドクリーニングを行うか、カセットテープを交換してください。

ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために適時ビデオヘッドを清掃することをお薦めいたします。
なお、具体的なクリーニング方法についてはサービス会社または販売会社にご相談ください。

結露

露付きが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同一原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこめる湿度の高いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから、急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したままお待ちください。もし、本機に結露が発生したときは、カウンター表示部にエラーメッセージ（-d-）が点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま電源を入れた状態で、エラーメッセージが消えるまでお待ちください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れをふき取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。シンナー、ベンジンはご使用にならないでください。

アフターサービスについて

1. 保証書…内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間…お買い上げ日から1年間

取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
- (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
- (ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
- (ヘ) 別に指定する* 磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷

3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

4. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「エラーメッセージ」の項を点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。

5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

* 磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- | | |
|-----------|----------|
| ● ビデオヘッド | ● 各種ベルト |
| ● ピンチローラー | ● ゴムブリー類 |
| ● 各種ブレーキ | ● ローラー類 |
| ● モーター類 | ● ヘッド類 |

定期保守のおすすめ

ビデオは


- 複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

定 格

【総合】

電源電圧	AC100V、50 Hz/60 Hz
消費電力	35W

 は安全項目です。

動作周囲温度

5℃～40℃

動作周囲湿度

35%～80% (結露無し)

外形寸法

380 (幅) × 110 (高さ) × 340 (奥行) mm

重量

7.2kg

記録方式

D-TL 記録方式 (DV 圧縮マルチセグメント記録)

記録トラック

オーディオ信号、リニア：1トラック

テープスピード

20.84mm/sec (3時間モード)

使用テープ

S-VHS 規格テープ (120分テープ推奨)

記録時間モード

3/9/12/18/24/48/72/96/120/180/
240/360/480/960 時間

早送り/巻き戻し時間

約3分以内 (120分テープ使用時)

【映像】

水平解像度

HIGH : 520本以上 (BW/COLOR)
NORMAL : 380本以上 (BW/COLOR)

S/N

HIGH : 50dB 以上 (BW/COLOR)
NORMAL : 50dB 以上 (BW/COLOR)

カメラ入力 (BNC) × 16

1.0V [P-P]、75Ω
(ループスルー、75Ω ON/OFF) 不平衡

S 映像出力 (4P)

輝度信号 : 1.0V [P-P]
色信号 : 0.286V [P-P] (バーストレベル)
75Ω、不平衡

外部スイッチャー入力/映像出力 (BNC)

1.0V [P-P]、75Ω、不平衡

映像出力 (BNC)

1.0V [P-P]、75Ω、不平衡

【音声】

S/N

42dB (3時間モード、“A” weighted)

周波数特性

70Hz～7kHz (3時間モード)

記録/再生時間モード

3/9/12/18/24 時間

音声入力 (ピンジャック)

– 10dBV、47kΩ、不平衡

マイク入力

– 60dBV、600Ω～4.7kΩ、不平衡

音声出力 (ピンジャック)

– 8dBV、600Ω、不平衡

【ターミナル部】

入力

アラーム入力1、アラーム入力2、アラームリセット入力、録画入力、外部タイマー入力、時刻合わせ入力

出力

アラーム出力、外部タイマー出力、テープ終端出力、オートオフ/録画出力

【その他】

リモコン端子

リモートコントローラ AG-A11 (別売品) 専用端子

RS-232C 端子

D-sub 9ピン、RS-232C インターフェース

【付属品】

電源コード

1本

松下電器産業株式会社 放送システム事業部

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06) 6901-1161